

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

特別養護老人ホーム サンシャインビラ

短期入所生活介護 (ショートステイ)

目 次

1、事業報告（総括）	1
2、職員構成	3
3、主な会議・委員会等開催状況報告	4
4、職員健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理	4
5、利用者外出・外泊・面会状況	5
6、保険者別入退所状況	6
7、看護	7
8、生活相談員	8
9、介護支援専門員	9
10、1階・2階・3階フロアー	10
11、リハビリ	15
12、栄養	16
13、職員外部研修参加状況	17
14、内部研修	18
15、苦情・事故・排泄・委員会報告	19
16、忘年会・職員旅行報告	21
17、クラブ活動	22
18、防災・使用物品等	25
19、シーツ等リネン類の発注管理・おむつ等管理	26
20、年間行事の実施状況	27
21、ボランティア・実習生・研修生受け入れ	28
22、地域交流参加等の状況	28
令和4年度短期入所生活介護事業報告	29

事業報告（総括）

理事長、統括施設長の作りあげてこられた法人理念は変わることなく、例えコロナ禍であっても「その人らしく生活できる環境づくり」により「笑顔の絶えない大きな家庭」を実現できるように職員一同「よりよいチームワークで令和4年度の暮らしをつくる」という合言葉で一丸となって取り組みを行いました。

コロナ感染症に関しては、施設顧問医師の指導により、毎月感染対策委員会と衛生委員会を行っていますので職員は感染症の予防対策を強化して実行し、毎日の仕事にあたる事が出来ました。

また、自分自身だけでなく自分の家族も含めての健康管理を行い、その上で発熱等の体調不良時には勤務開始前に施設に連絡をして相談し合う等の対策を講じていました。また、常に感染症の蔓延防止策の徹底を実行しながら対応いたしました。

毎年目標に掲げている稼働率の高位安定については、コロナ感染症の発生時には新規入所者をお受けすることができなかった事が大きな原因ですが、例年 99%以上の利用率でしたが、今年は 98, 51%という結果になりました。平均要介護度については 4, 36 でした。

看取り介護(ターミナルケア)については、施設顧問医師からの指導助言により職員の気持ちを一つにすることができました。今年は 21 名の利用者を看取らせて頂きました。ご家族様からも感謝の言葉をたくさん頂きました。

職員のやる気向上ということについて振り返りますと、コロナ発生時には職員の中にも陽性者が出る等により日常の仕事の中で疲労感と人員の不足感がありました。

職員の退職者もあり、副理事長が職員の採用をして下さいましたが、新しい職員が定着しないという現状で人員の不足感を感じながらの一年となりました。

職員それぞれの資質の向上を図るべく、内部研修を 1 ヶ月に 2 回定期的に行い知識と技術の向上に努めました。

新しく採用になった職員に対してのオリエンテーション時には必ず統括施設長の書かれた文章を読み、法人理念の浸透に取り組み、施設開設以来変わることのない理事長、統括施設長、施設顧問医師、副理事長が示されている福陽会の理念を理解し心に収めて介護という仕事をしていくように職員に伝えて参りました。

その理念の下、利用者様が笑顔多く大きな家庭の中で過ごしていただけるようコロナ禍であっても職員皆で創意工夫をこらして季節感のある行事を実施出来たことにより、利用者様も職員も共に楽しい時間を持つことができました。

地域との交流については、コロナ感染症の収束後になり、中学生の職場体験や介護福祉士養成校の実習を感染予防策の徹底を図りながら受けることができました。

施設が選ばれる施設であり続けるために、綺麗な施設であるようにという理事長、統括施設長、施設顧問医師、副理事長のお考えで外壁の塗装をはじめとして各所の修繕をしていただき、施設がとてもきれいになりました。

各月の利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2989	3112	3009	3075	3042	2948	3079	2994	3050	2907	2753	3057	35958

1年間の延利用者数は35958人で、1日平均98,5人の利用者様にケアを提供させていただいた結果となりました。

令和5年3月31日時点での要介護度については要介護度3の方が18名・要介護4の方が28名・要介護5の方が54名ということで、要介護5の利用者様の割合は約半数を占めていることにより利用者様の重度化は今年度においてもみられ、平均要介護度は4,36でした。

入所時に施設顧問医師からターミナルケアについての説明と医療行為についての意向の確認時に、最期まで施設でというターミナルケアを希望される方がほとんどです。

施設で最期を迎えたいという希望に添い、今年度は21名の方を看取らせていただきました。

お一人お一人の最期に寄り添い、多職種協働での手厚い介護サービスの提供により、利用者様とご家族様が望むかたちの「その方らしい最期」が支援できたと思います。

ターミナルケアにより看取らせていただいた利用者様のご家族様等からは感謝の言葉や満足の言葉を沢山いただき、職員一同の励みになり、看取り介護に対する職員の精神的負担の軽減にもなりました。

職員構成

令和5年3月31日現在

担当職	職名	職員	非常勤	
運営管理	設顧問医	—	1	
	産業医	—	1 (外部委託)	
	施設長	1	—	
	副施設長	1	—	
経理	事務主任	1	—	
	事務員	1	1	
保守管理	介助員	—	2	
介護	生活相談員	1 2 (兼務)	1 (兼務)	
	ケアマネージャー	1 1 (兼務)	1 (兼務)	
	1 F	リーダー	1	7
		サブリーダー	1	
		担当者	5	
	2 F	リーダー	1	4
		サブリーダー	1	
		担当者	6	
	3 F	リーダー	1	6
		サブリーダー	1	
担当者		6		
医務	医師	—	1 (施設顧問医師) 2 (外部委託医師)	
	看護リーダー	1	—	
	看護師	1	—	
	准看護師	1	2	
調理	管理栄養士	1	—	
	調理リーダー	1	2	
	調理員	3		
機能訓練	柔道整復師	1	—	
	理学療法士	—	1	

主な会議・委員会等開催状況報告

○運営会議	12回	○衛生委員会	12回
○行事計画会議	12回	○褥そう防止委員会	12回
○感染症対策会議	18回	○厨房委員会	12回
○ケアプラン会議	98回	○排泄委員会	1回
○全体会議	12回	○利用者懇談会	6回
○入所判定会議	10回	○サービスマナー委員会	11回
○事故防止会議	46回	○看護と介護の連携委員会	12回
○看取り介護会議	63回	○業務継続委員会	12回
○虐待防止会議	12回	○科学的介護推進委員会	12回
○苦情対策会議	12回	○拘束廃止委員会	12回
○栄養会議	41回		
○防災会議	12回		

職員の健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理

(1) 定期健康診断の実施

従前より、対象となる全職員に対し、労働安全衛生法上の定期健康診断を行っています。

令和4年度は7月に66名、8月に3名、9月に4名、令和5年1月に夜勤業務を行う職員等29名でした。

(2) 定期健康診断後の面接と結果に基づく保健指導等

定期健康診断の結果が明らかになる時期に、日本医師会認定産業医 高妻雅和医師により 有所見者を対象に面接を行い、個別に健康教育・保健指導等が実施されました。

(3) 衛生会議の実施

月に一度、施設顧問医師の指導・助言により、衛生管理者が有所見の改善に向けた食生活等に関するものや感染症の防止に関する情報・食中毒やストレスに関する情報等のプリントを配布し、健康管理に関する情報の提供を継続的に実施していただいています。

(4) 館内の労働環境整備

① 年間を通じて空調整備を行い、コロナ感染症等の感染症対策・利用者及び職員の体調管理の為に、温湿度管理やカビ対策を行っています。感染症が発生した場合は、蔓延防止の為に指針やマニュアルを踏まえ各職員が「即」行動できるように取り組みました。

インフルエンザ予防接種はアレルギーで接種の出来ない職員と65歳以上の職員以外、48名行いました。

② 労働災害について対策を立て、職員全員で努力を継続し、職員に危険が及ぶ状態にあると思われる備品・設備は、早めの報告により事故発生の防止に努めています。職員の事故防止の為に設備備品の点検を行い不備や不具合の改善にできる限り迅速に対応しました。

また、施設内の巡視を定期的に行いました。

(5) メンタルヘルスについて

外部委託により、対象となる職員全員にストレスチェックを実施し、結果を集計しました。今後も産業医からの指導を全職員に周知する為の努力をはじめとし、職員一人一人が施設内の変化を拾い上げる視野で状態を把握し、先見性を持った対応による労働環境改善ができるよう、実践的な労働衛生管理計画の作成をしていきます。ストレスチェックは61名実施しました。

利用者外出・外泊・面会状況

	外 出		外 泊		面 会		
	人 数	延回数	人 数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4	3	1	0	0	25	76	2,5
5	0	0	0	0	27	43	1,4
6	5	1	0	0	23	44	1,5
7	0	0	0	0	26	69	2,2
8	1	1	0	0	13	34	1,1
9	18	2	0	0	20	52	1,7
10	0	0	0	0	28	56	1,8
11	6	1	0	0	16	33	1,1
12	0	0	0	0	23	46	1,5
1	0	0	0	0	18	48	1,5
2	0	0	0	0	19	49	1,8
3	44	4	0	0	28	65	2,1
合 計	58	7	0	0	266	615	1,7

コロナ感染症の感染防止の観点から面会方法を工夫したりとしながらの面会でした。
 面会時に施設の状況を理解していただき面会方法に協力していただいたことに感謝
 いたします。

保険者別入退所状況

市区町村	入 所		退 所 (含死亡)		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
昭島市		2		2	2	2
あきる野市	1			2	1	2
青梅市			1		0	1
東大和市		1			1	0
国分寺市		1			1	0
大田区				1	0	1
調布市		1			1	0
日野市		1			1	0
八王子市				1	0	1
立川市		1		1	1	1
江戸川区			1		0	1
福生市	5	6	5	6	11	11
羽村市	1			1	1	1
神奈川県横須賀市		1			1	0
中央区				1	0	1
世田谷区				1	0	1
東久留米市	1		1		1	1
東村山市		1			1	0
合計	8	15	8	16	23	24

看 護

1、医務診察 定期的な医務診察時、医師の診療を補助し健康管理・内服管理・処置等を迅速かつ適正に処理しました。

- ① 内科 金曜日 青山美穂医師 内科（施設顧問医師） 木曜日 宗岡雅子医師 内科
- ② 精神科 月曜日 高妻雅和医師 精神科
- ③ 歯科 火・金曜日 若林偵子歯科医師 歯科

2、利用者の健康管理

- ① 月 1 回は医師の診察を受け、バイタルサインを測定し、経過報告をしました。
- ② 年一回の利用者健康診断を 101 名の利用者様が受けました。
- ③ 新入所の利用者様には入所時健診を、ご家族様等に説明し同意のもとで受けていただきました。

健康診断の結果は施設顧問医師がご家族等へ説明していただきました。

また、入所時にご家族様等は「緊急時・看取り介護時の医療行為等に関する意思確認書」「看取り介護についての同意書」の説明を施設顧問医師から受け、同意の書類を作成しました。

- ④ 外部の医療機関受診や入院等は、ご家族様等の意向を尊重し相談しながら進めました。
- ⑤ 利用者様・ご家族等の希望を確認し、インフルエンザ予防接種を実施しました。(97名)
- ⑥ 利用者様・ご家族様の希望を確認し、新型コロナウイルス予防接種を実施しました。
(4回目 91名、5 回目 94名)
- ⑦ 利用者様の薬の管理と内服薬の服薬介助を行い、ナース不在時の朝薬等の服薬介助は介護職員に指導し依頼しています。
- ⑧ 職員一同緊張感を持ち公私ともに感染予防に努めましたが、残念ながら本年度は利用者様の各フロアでのクラスター発生がありました。

1階 発生 令和 4 年 11 月 22 日 1 人目陽性

最終 令和 4 年 11 月 27 日 19 人目陽性 合計 19 名 感染対応期間 6 日間

2階 発生 令和 4 年 11 月 29 日 1 人目陽性

最終 令和 5 年 1 月 3 日 28 人目陽性 合計 28 名 感染対応期間 40 日間

3階 発生 令和 4 年 12 月 22 日 1 人目陽性

最終 令和 5 年 1 月 10 日 21 人目陽性 合計 21 名 感染対応期間 20 日間

サンシャインビラ 利用者合計 68 名 感染

入院 3 名 コロナ感染による死亡 2 名。

3、口腔ケアの実施 利用者様の健康を保持増進するため、歯科医師・歯科衛生士と連携を図りました。

歯科医師・歯科衛生士・看護師・看護職員・管理栄養士・ケアマネ・生活相談員・介護職員等多職種協働での実施により誤嚥の防止に役立ちました。

新型コロナウイルスの防止対策の実施によりアイデンタルでの口腔ケアについては その時々で状況を見ながら相談しながら進めました。

4、職員定期健康診断

- ① 職員は健康診断を受けました。健診結果は安全衛生会議で施設顧問医師の青山美穂医師より全体指導があるとともに、異常所見に対しては、あきる台病院に委託している産業医の高妻雅和医師から個人面談指導がありました。
- ② 職員のインフルエンザ予防接種は体質的に接種が出来ない者以外は接種しました。

5、感染症対策

- ① 施設顧問医師の指導助言のもと、感染症に対する内部研修の実施とマニュアルの厳守により、全職員の意識を高め確実な対応実施と自己管理の強化に努めました。
- ② 感染症を持ち込まない、運ばないという意識をもち、全職員が感染対策の基本をしっかりと行っていました。
今後においても標準感染予防策の徹底と意識の向上に努めていきます。

6、看取り介護の充実

- ① 手厚い看取り介護の実施が出来ました。
- ② 医師の診断のもと宣言にて利用者様・ご家族様等の希望により看取り介護を行いました。
令和4年度は21名の方を施設で看取らせていただきました。
利用者様及びご家族等の意向を尊重し多職種で連携して日々変化する様子をご家族様等へ密に連絡し、記録しました。
- ③ 看取り介護の終了後には、多職種で振り返りを行い、利用者様を偲ぶとともに、職員の精神的負担の軽減につながりました。ご家族様等からは、多くの感謝の言葉をいただきました。

7、褥そう予防

- ① 施設での褥そう発生がありました（1名対象利用者様は継続処置しています）
- ② DESIGN-Rによりアセスメントし、計画的に対策を実施しました。
- ③ 急な状態の変化と繰り返しの方があり、来年度の課題として状態を予測して早期に対策を立て予防するようにします。

8、その他

- ① 利用者様の心変化時等はご家族等に連絡し、その内容等は生活相談員が同席し記録に残しました。
- ② 長谷川式簡易スケールを用いて認知症を確認して、医師に報告し概ね3ヶ月毎に確認しました。
- ③ 医療ニーズの高い利用者様も施設顧問医師を中心とする連携により生活していただくことが出来ました。
- ④ バイタルサインや日々の状態変化は個人記録に入力して各部署との連携を強化しました。

生活相談員

令和4年度は「より良いチームワークで令和4年度の暮らしを作る」という全体目標の実現に向けて生活相談員の業務に取り組んできました。

新型コロナウイルス感染症は新規感染者数が減少し、状況が落ち着くように見えた時期もありました。その時期には、利用者様に施設近くの散歩やドライブに行っていただきました。行事に関しては昨年令和3年度は各階ダイルームで行いましたが、令和4年度は三人行事とその他の行事の一部を、2階ホールを使用して行うことができました。各階ごとの入れ替え制で、楽しんでいただきました。

しかし、第7波、第8波の期間には、利用者様の生活に多大な影響がありました。特に11月末から、施設内感染が始まり、それぞれの階で感染が拡大しました。利用者様にも職員にも感染者が多数出たため、生活相談員も各階での介護業務に携わり、施設全体でその状況を乗り越えることができました。私たち生活相談員は、年間を通して他部署と連携を図り、また生活相談員同士でも「報告・連絡・相談」を常に意識し、連携強化に努めました。

- ・入所の問い合わせや相談には誠意を持って対応し、施設入所について伝えると同時に施設の限界についても十分説明しました。入所希望者の情報は申込み関連書類に加え、電話等で細かな点も確認し入所

判定会議を開催しました。会議では施設顧問医師を中心に多職種連携により可否を検討、入所へとつなげることができました。年度の終盤、入院者や亡なる方が増え、待機者の減少と相まって稼働率が低下した時期がありましたが、年間を通して見るとほぼ例年通りの稼働率を維持することができました。

- ・令和4年度は新しく23名の方が入所されました。介護老人保健施設より9名、医療機関より5名居宅より5名、その他の施設等から4名（グループホーム・小規模多機能・ケアハウス他）でした。また、退所者は24名、その内、21名の方が施設にてご逝去され、3名は入院後退所されました。
- ・利用者様、ご家族様・代理人様への相談援助は生活相談員の主要な業務と心得、力を入れて取り組みました。利用者様が話やすい、相談しやすい存在になれるよう努力しました。相談や苦情の内容を記録に残し、苦情対策会議でも取り上げました。
- ・今年度はご家族（代理人）様への連絡が多くありました。福生市の「シニアお買物券」や敬老のお祝いに関するお知らせ、新型コロナワクチン、インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンの接種に関する連絡の他、衣類や物品の補充の連絡等もありました。面会はリモート面会、窓越し面会を行ってきました。新型コロナウイルス感染症が落ち着いた2月の終わり頃から、人数と時間を制限しながら施設の中でアクリル板越しの面会を再開しました。電話連絡の際に生活の様子や変化をお話し、面会時にも日頃の様子を伝え、ご家族のお気持ちを伺うことができました。
- ・リスクマネジメントに関しては、各種会議に参加し「虐待防止」「身体拘束適正化」「事故防止」「感染症対策」「苦情対策」に取り組みました。常に利用者様の思いに寄り添い、自分たち相談員のあり方も見直しつつ、利用者本意の介護を目指して様々な発信をしてきました。新型コロナウイルス感染症の施設内感染拡大については、それぞれの保険者である行政への事故(感染症)報告が必要でした。10市、5区、1町に対して電話での報告と書面（あるいはメール）での報告を行いました。
- ・地域交流も徐々に再開し、中学生の職場体験・高校生のインターンシップ・専門学校の介護福祉士実習生を受け入れることができました。

介護支援専門員

本年度の合言葉である「よりよいチームワークで令和4年度の暮らしをつくる」という事を念頭に置きをケアプランの作成に反映できるよう意識しました。

利用者様のお話を傾聴する姿勢を崩さずにそのうえ感染予防にも配慮して会話時には必ずフェイスシールドを着用しました。

- ・コロナ禍でしたが、多職種で協力しその方らしい生活を重点に考えてプランを作成しました。
- ・三ヶ月毎の見直しは漏れなく行えました。状態変化に伴う変更も随時実施しました。
- ・コロナの感染状況が落ち着き始めたころより、区分変更申請を行い調査員の方に手指の消毒と体温測定と全身の健康状態の聞き取り等を行い、認定調査をしていただきました。
- ・ターミナルケア（看取り介護）、褥瘡ケア、適宜プラン作成が行えました。ターミナルケアの振り返りは、ひとつひとつのケースにつき検討が必要であり、今後も取り組んでいきたいと思っております。
（令和5年3月31日現在ターミナルケア対象者31名、令和4年度のお看取り17名）
- ・褥瘡ケアについては、モニタリング指標を用い、生活の様子も鑑み、褥瘡を作らない事を前提に予防対策を設定し実施しました。万が一出来てしまった褥瘡については創部改善に各部署連携して取り組むというプランを作成します。

- ・ショートステイの受け入れについても、可能な限り、柔軟に対応を行えるように努めましたが収束を迎えるまでの期間はご利用していただけないという状況があり、マイナス面になり稼働率の低下につながりました。
- ・介護保険の更新申請と認定調査への立ち合いもコロナ禍での感染予防を強化して、調査に立ち合いました。近隣での感染拡大時には窓越しで利用者様に会っていただく等工夫して実施しました。
- ・ケアプラン会議へのご家族様等の参加は、感染予防のため実施せずご意見やご要望は事前に聞き取り、プラン作成後には電話で説明し、書類は郵送でのやり取りになりました。

令和4年度 計画書作成件数

月	定期	見直し	看取り	入所	ショート	退院	振返り	合計
4	20	13	6	1	1	—	—	45
5	19	18	5	—	1	3	—	51
6	14	15	1	1	—	—	1	38
7	13	20	7	1	1	—	—	49
8	19	16	7	2	1	1	3	57
9	17	12	3	2	1	—	1	45
10	15	16	6	2	1	—	1	51
11	16	14	6	1	—	1	2	51
12	17	18	7	—	—	1	2	57
1	9	13	8	—	—	1	1	33
2	15	16	8	6	—	—	1	48
3	16	15	11	4	1	—	4	54
総数	190	186	75	20	7	7	16	501

1 階 フロア

「よりよいチームワークで令和4年度の暮らしをつくる」を合言葉に利用者様が安心・安全に楽しく生活が送れるよう職員一同協力し合い取り組みを行いました。

しかし、コロナ感染症を経験し、利用者様に居室での生活をして頂かなければならない期間が発生してしまいました。

一部の利用者様においてADLの低下等見られましたが、コロナ収束後から徐々に日常の生活に戻るにより利用者様の心身の状況も戻ってきています。

① 介護の基本的に忠実なサービス提供

職員に各担当を配置して役割分担を行いました。忙しい業務の中で一人ひとりの担当役割は残念ながらほとんど機能はしませんでした。

しかし、フロア全体として取り組みを行い、基本を徹底できるよう各サービス提供を確認しながら統一したサービス提供に努めました。

② 基本的な感染予防対策

新型コロナウイルスに限らず、様々な感染症に対して一人ひとりが感染予防対策を徹底するように

定期的に確認を行い施設内に感染症を持ち込まないように日々取り組みました。

一ケア毎の手洗い・手指消毒・利用者様同士の間隔を空けるソーシャルディスタンス・職員はマスク・フェイスシールド着用する・こまめに換気を行う・職員は自分が感染源にならないように体調の自己管理をし、自身が体調不良時はもちろんのこと同居家族が体調不良の際にも出勤せず施設に連絡し医療機関を受診すること。

利用者様の毎朝の体温測定の継続と様子観察により発熱等の体調変化が見られた際には、ナースに速やかに報告すると共に医務との連携を図りました。

コロナ感染症の収束後も感染予防の意識を緩めることなく職員一同更なる徹底を行いました。

2 階 フ ロ ア

「より良いチームワークで令和4年度の暮らしをつくる」を目標に、職員間で協力し合い取り組みを行いました。

朝の挨拶を大切にされている方が多く、職員間だけでなくご利用者様も求めている事を意識して行う事の大切さを伝え実施しました。

フロアーや他部署の職員が目標を意識し気持ちの良い挨拶を行っていた事でとても良い雰囲気の中で働けていると感じました。

・自立と尊厳の保持（その方らしさを大切に）

利用者様と少しの時間でも関わる時間を大切にし、不満や要望を聞いた際は職員みんなで聞き取る意識を持ち、その内容を記録に inputs する事、そして生活の中での問題は出来るだけ早期に報告し多職種間で対応する事を行いました、また内容によっては叶えられない事もある為、納得していたできるように丁寧な説明を行いました。

職員間で利用者様の情報を共有し、その方らしさを重視して行う事が出来ました。

コロナ禍であり制限される事も多い中利用者様の不満は例年に比べて多く感じました、その中でも職員が訴えを受け止め傾聴している姿が多く見られフロアーの成長と利用者様との関りがより深くなったと思いました。

年間を通して業務が優先になる事がないように利用者目線での業務改善や「その方らしい生活」を第一に考え取り組みました。

サービスマナー、プライバシー、個人情報の取り扱いに重点を置きフロアー内職員の意識を高めました。

・レクリエーションの充実

各種行事の際は工作等や出し物をレクリエーション担当と工作クラブが主となり、フロアー職員、利用者様とが一緒に楽しく作る事が出来ました。

春と秋の天気の良い日には施設の周りを散歩したり、ドライブも徐々に開始し生活の活性化に繋げる事が出来ました。

コロナ禍もあり限られた人員の中で安定的に充実したレクリエーションを継続して行う事が出来なかったが全体的に一人で出来る塗り絵や数独等を行う機会が多く体を動かすようなレクが少なかった、レクに偏りがないように行っていく必要がある。

レクリエーション担当者が主になり取り組みも少なく積極的な行動がもう少し欲しかったと感じました、今後はレクリエーション担当が主となり発信し他の職員と共に利用者様の笑顔や楽しみ・生きがいに繋がっていけるよう支援する。

週報の中に担当者を組み込み安定的に行っていけるよう実施する。

- ・感染症予防（現在おこなっている事を継続する）

新型コロナウイルス感染症対応についても 11/29～コロナ陽性者が発生しフロア全体がレッドゾーンとなり、発生から収束までの間、多職種間で細かく情報共有し感染防止に努め 1/7 収束となりました。感染期間中も副理事長をはじめとしフロア内の視察や見直しそして助言を頂きそれをもとに改善しその後、早期の収束に繋げる事が出来ました。

感染期間中もフロア全ての職員が大変な状況の中で柔軟に対応し時には多少の混乱もみられましたがそれぞれの職員がお互いを励まし合いながら役割を果たした事が利用者様の生活や命を守る事に繋がったと思います、みなさんの力に感謝しています。

感染期間中の良かった点・悪かった点それぞれありましたが収束後に改めて新しいマニュアルを作成し次回に繋がる感染予防を行いました。

コロナ以外の感染症についても細かく気を配り、ナースとの連携を強化しました。

新しい職員も増えて不安がないように感染を防止する為に施設マニュアルをもとに説明し利用者様にも職員にも体の状況だけでなく精神面の状況把握に努めストレスの軽減やサポートを図りました。

- ・居室担当の役割と責任

個人記録への入力については職員の力量と意識の差がありました、ケアプラン前や月末入力そして入力が少ない職員についてはサブリーダーと共に入力状況を把握し必要な指導を行いました、記録を充実していく事の大切さを伝えていった事が、利用者様の心身の状況変化を他部署も含めて職員間で共通認識を持つことに役立ちました。

居室担当者からの発信が少なかった、自分の担当の居室については責任をもち環境整備や心身の情報発信など積極的に情報の発信をしていく事を課題とし、今後も担当利用者様の生活に責任を持ちます。

- ・人材育成

介護従事者としての自覚を求め、現場で必要とされる人間力を備えた専門性の高い職員の育成に取り組めました。また正しい事を指摘できる職員が多くなった事で早い段階で改善できる環境や仕事に対してのやりがいに繋げる事が出来ました。

新人職員には先輩職員が手本を示し、指導し教える場面も以前より増えているが根拠のある教え方や正しい基本動作を分かりやすく細かく伝えていく事も理解度に応じて変えていく必要があると感じました、今後は指導される側だけでなく指導する側の指導育成についても力をいれて行きたいと思いません。

正しい介護技術習得の為に、エルダーメンダー制度を活用し精神面も同時に支えながら指導を行う事が出来た。

- ・事故防止

様々な事柄についてヒアリーハットで報告しカンファレンスを迅速に開催する事で事故の原因と対策を検証し再発防止を図りました。

職員一人ひとりの事故への意識を高めた事と、技術面の見直しをそれぞれが行った事が事故予防に繋がりました。

安全面に配慮しすぎて利用者様の行動が制限され機能低下につながらないようにリスクも回避しつつその方らしさが失われないように配慮した対応策を講じていけるように職員間でも思いを共有していきけるように心がけて実施しました。

誤嚥について予防を図る為、各食前アイスマッサージを実施しました。

体調の変化時には多職種間と連携し、介助方法を速やかに見直し対応する事が出来た。

・非常災害の為の準備

フロア内BCP計画の周知を図り実施する事が出来た。

防災用品担当者、排泄用品担当者、感染予防グッズ担当者、環境整備担当者等担当者はそれぞれ年2回物品等の見直しを図り実施する事が出来た。

3 階 フロア

今だから出来る介護支援を考えアイデアを出し合い新しい生活様式を作ろうと取り組んできました。一年の中で二か月近くコロナを経験し利用者様も長い間居室での生活が続いていたため精神的に閉塞感や、身体的には機能低下、廃用症候群につながる諸症状が出現した。

そのため元の状態に徐々に戻しながら、新しい生活様式を作っていた。

●今期も予断を許さないコロナの状況下にあって「より良いチームワークで令和4年度の暮らしをつくる」と通常の介護だけではなく、全体の動きや一緒に働く職員の動きを考え画一的な側面だけをとらず柔軟に対応してきた。

また、その現状の中で出来る利用者様に寄り添ってできる介護を創出してきた。

・感染症対策

コロナ感染解除後では一挙に緩めるのではなく特に①空気の換気②手指消毒の徹底③使い捨てエプロンの使用④排泄時でのシャワーボトルの使用⑤排泄介助毎にビニール袋の使用等継続を行った⑥途中福生市の感染対応の専門看護師からの指導を受け、対策の見直しを行った。特に食事介助時の手袋使用をアルコール消毒に変更するなど行った。

定時における手すり・PC キーボード、ドアノブの消毒を実施。また、職員の職場を離れたプライベートでも注意するよう呼びかけた。出勤前の検温や、家族の健康状態管理・対応等にも協力を求めた。

●基本的には厚生労働省発布の感染対策の手引きとこれまでに積み重ねてきた対応をベースに実施してきた。新しい職員の増加から一人一人に繰り返し感染対応の教育を行った。後半は新型コロナ感染が有事となった為、現場が実践の舞台となり、そこでも繰り返しボードに重要事項を貼りだし知識の習得習を実践した。またインフルエンザ他の感染症も防止することができた。

職員の①「コロナにかからない」は残念ながら、新型コロナオミクロンの特性から、ほとんどの職員が感染してしまった。②「持ち込まない」は最後まで出来たかのように思われたが、感染経路が判明しないことから、確定できない結果となった。③「感染リスクを作らない」は先手を打つことで出来ることから実施することが出来た。

・安全で快適な暮らし

ディールーム使用の際は、感染リスクを考慮し多目的に使用空間として使用。順次人数制限を変更しながら利用者を入れ替える等実施した。

年間行事をフロアで行う際はディールームをメインに使用し楽しんで頂けるようにした。また、ユーチューブでの音楽、踊り、DVDの映画鑑賞も実施した。居室内でもできるレクを考案し一部実施した。

●オミクロン株の特性もある事から、換気、密を避けるためディールームの活用は十分ではなかった。その為一定の同じ利用者に限るのではなく入れ替わり利用して頂ける様にした。また、時間を設けては昭和時代の懐かしい映画のDVDを放映することが出来た。見覚えの俳優に声を出しながら回想すること

を楽しんで頂けることが出来た。

また、安定した時期には廊下に横に並んで頂きながら、懐かしい話や、歌など披露しながら和やかに過ごしていただくことが出来た。体を動かす事は生活の中のリハビリにとどまった事が多く、次回の課題としていく。新たな創出に繋げたい。

・居室担当者としての今後役割

居室での生活になってしまった場合でも、楽しんで頂ける空間を作ることに努力した。

読書・TV鑑賞の他、床頭台を中心に家族とのつながりの持てる写真装飾や、職員からのメッセージ性のあるものなどの演出。

- ・行動量の少ない状況下では、利用者の日々の変化に気づきを持てるように特に観察を重視した。
- ・軽度の褥瘡が何度か出来てしまったが、観察による早期発見で短期間に抑えることが出来た。
- 今期も居室で過ごされる事が多くあった。家族を繋げる重要な空間でもる事から床頭台のデザインにも工夫をした。家族疎遠の方には職員によるメッセージ性のある写真、プレゼントを提供する。またほかの方には絵本、雑誌・読み物を提供する。安全を重視することから、十分な引き出しは提供できない面は否めないが、例えば写真やイベントでの提供した物を綴る「思い出アルバム」等の作成等次回に繋げたい。

・口腔ケア

- ・使用する道具は全て個別に行い感染リスクを抑えた。
- ・歯科医からの助言や個別のデータから、フロア職員が情報を共有して取りくんだ。
- コロナ感染対応の期間もあり、十分な対応が出来ない期間も少しあった。しかし短期間のうちに通常時の対応に戻すことが出来た。感染対応あけでは、歯科衛生士、歯科医とコミュニケーションを取りながら、対応することが出来た。前回よりも丁寧な対応ができるようになった。

・認知症支援者としての理解と実践

- ・認知症に関わる実践の情報誌として紹介にあった記事の紹介を行いながら、フロア内の事例に学んだ。
 - 年間2度にわたる認知症の事例学習を題材に職員の啓発に取り組んだ。実例によることから具体的にわかりやすいとの声も多く聞くことが出来た。今後も多様な状況の違う利用者の実例を題材として取り組んでいけるようにする。
- #### ・事故防止・リスクマネジメント
- ・ヒヤリハットはその場ですぐに確認・検証した。対策も医務・リハビリ・相談員等が加わりその場で決定し、実施していけるように行った。職員の共有については、連絡ノート・PC確認し、重要性の高いものについては、フロア職員を集め徹底を図った。
 - 年間2度にわたる事故事例検討学習や毎月の事故対策委員会の材料をもとに若手や入社歴の浅い職員を中心に理解する機会を増やしていった。また、フロアでのヒヤリハットをフロア全員で共有するようにした。

・常に整理整頓

物品の管理についてはフロアリーダーが行い日直・正夜勤者が責任を持つ。

書類の管理、日常使用する物についても、明確化し、簡素化し職員がすっきり業務に打ち込めるようにした。

- 物品の管理は常にリーダー・サブリーダーが日常的に行い、常に状況に合わせて適切な管理状態にした。また、誰がみてもわかりやすいよう簡素化し見える化した。

・身体拘束

認知症フロアであることから、特にスピーチロック、不適切な言葉がなくなるように、都度注意し合うようにしたが、行き届かない所もあった。

- 常習的になりがちなスピーチロック等の言葉に対しては繰り返し同じ言葉を意識して、適切な言葉に置き換え、一つずつ修正していく取り組みをし、次期からシステム化していく。

・非常災害時の為の準備と体制

防災用品・防災グッズの点検を実施する。

火災訓練の実施。自然災害の訓練・コロナ感染の訓練を実施し、職員の非常時における意識を高める啓発が出来た。

- 非常時等必要となるグッズの点検を定期的に行う。非常時に直ぐ見て対応できる、一瞬にして見てわかるものが必要となる。非常訓練、仮想訓練を複数回実施する。多くの職員の参加を心掛ける。経験のない職員がいない様にする。

リハビリ

- ・理学療法時は検温を実施。開始、終了時は利用者様、手指消毒を実施した。
術者はフェイスシールド、マスク、グローブを着用して理学療法を行った。
また、使用した器具等の消毒も実施し、理学療法時だけでなく利用者様と接するときは、フェイスシールドを着用して感染症予防を行った。
- ・機能訓練を行った場合は記録入力をして情報共有を行った。
- ・ケアプラン会議に参加し、3か月ごとに機能訓練計画書の見直しを行い、利用者様には口頭、ご家族様には書面で説明、同意を得た。
- ・利用者様の状態変化に合わせて機能訓練計画書の変更、中止を行った。
- ・利用者様の状態変化に合わせて介護用具の変更等を行っているが即対応が出来ていない事があった。
- ・介護用具変更時は個人記録に入力して情報共有を行った。
- ・褥瘡予防のため、除圧、体交等努めたが褥瘡発生「0」とはならなかった。
- ・理学療法の訓練は歩行等の運動から拘縮予防の利用者様まで行ったが、コロナ期間は感染フロアの理学療法に入らなかったためADLの低下が見られた。
大きな変化が見られた方は以下の通りです。

(機能向上が見られた方)	6名
(機能維持が見られた方)	78名
(機能の低下が見られた方)	10名
- ・ケアプランの内容に沿って介助できているかの確認はケアプランの際に行う事が多く、それ以外での確認は多くは出来なかった。
- ・移乗方法の確認は定期的に行うことが出来た。
- ・生活リハビリの実施状況の漏れに注意し確認を行った。
- ・施設行事は企画、準備から関わりコロナ禍の中でも少しでも楽しんでいただけるようなものに出来るよう開催することが出来た。
- ・桜の季節や天気の良い日に散歩で外出が出来た。

- ・感染症、事故防止、虐待防止、身体拘束等の内部研修に参加し知識を深めていった。
- ・今年度は感染症が発生したが、その中でも施設を運営できるように関わった。
- ・車椅子、ベッドの故障等ある時は修理を行った。施設で修理できない場合は外部に依頼し、修理を行った。
- ・科学的介護推進体制加算について他職種連携して情報共有をし中心になって進めていった。
前年度よりベッドサイドでの理学療法を意識して入っていききました。介護用具の変更のタイミングが遅くなることが多く、自分から発信する機会が少なかったため、来年度は視野を広く持ち気づいたことを発信するように心がけていきたいです。

(福祉用具一覧表)

車椅子	109 台	
歩行器 (シルバーカー含む)	16 台	
杖 (T字杖、多点杖)	13 本	
ポータブルトイレ	6 台	
体圧分散マット (ジェルマット含む)	11	
エアマット	4	
センサー付きエアマット	16	
施設内のベッド数		
電動ベッド	95 台	
センサーベッド	10 台	総数 105 台

栄 養

- ・今年度の全体目標である「より良いチームワークで令和4年度の暮らしを作る」を実現できるよう厨房職員は利用者様を想い旬の食材を取り入れた季節感のあるメニューや家庭的で温かみのある食事内容・環境作り衛生面等に配慮し安心安全な食事を提供することを目標に令和4年度は業務に臨んできました。次年度も引き続き季節の食材を使用した献立、利用者様からの聞き取りで得られたご意見や要望に沿える献立の作成を行っていきます。調理方法や食材の硬さ、食べやすい大きさ等の情報を職員間でしっかりと共有し、器や盛り付け等、見た目からも「おいしそう」「食べたい」と思ってもらえるような食事提供を目標に業務に取り組んでいきます。また、調理の際は必ず2人以上で味見を行い、味付けや硬さ等の確認を行っています。
- ・食事を楽しんで召し上がって頂く為に、選択食や誕生日食・ラーメン(中華丼)の日の実施。
- ・季節に応じたおやつ提供、極細・ペースト食を召し上がる利用者様へ飲み込みがしやすく見やすいソフト食の提供も継続していきます。

■選択食等通常メニューと異なる食事提供の実施結果

選択食（ラーメン中華丼の選択も含む）	：月2回以上
誕生日食	：月1回
変わりご飯（丼・混ぜご飯）	：月2回以上
パン・麺の日	：月2回以上

■予算管理

- ・給食食材費の予算内運営を目標に、在庫管理の徹底や使用食材の見直しを行いました。
- ・次年度も食材ロスや使用頻度が多い食材の価格変動等に注意し予算内運営を目指します。

■利用者様の健康管理

- ・月に1度の体重測定結果や年に1度の健康診断時アルブミン値・血液データの管理、食事摂取量の把握で利用者様の栄養状態を確認しました。栄養状態に問題がある場合は、ケア会議や医務診察の際に提起し医師や多職種で話し合いを行い状態改善や維持・向上に努めました。

■感染症の予防

- ・手洗い・うがいの徹底、次亜塩素酸によるトイレの消毒、厨房内の衛生管理、厨房器具の消毒、体調チェックを行い、感染症予防に努め、厨房からの感染拡大に注意し取り組みました。また厨房内に感染症を持ち込ませないためにも、調理員は基本的に厨房から出ず、感染症予防に努めました。
 - ・利用者様の感染症が疑われる発熱の際には、使い捨ての弁当箱を使用し、厨房内に感染症を持ち込ませないよう努めました。また、フロア内のレッドゾーン対応の際には、フロア内の利用者様のお食事を使い捨てのお弁当箱を使用し、感染症を厨房内に持ち込ませないよう努めました。
- その結果、ノロウイルス等の感染症・食中毒の発症はありませんでした。

■ヒヤリハット件数

- ・前年度のヒヤリハット件数は合計で3件でした。内容は、配膳ミス：1件、その他：2件(異物混入・果実種混入)、今年度のヒヤリハット件数は配膳ミス：3件、調理ミス：3件、配膳時のミス1件、異物混入1件、その他2件（事故につながるもの）合計10件となりました。
- ・次年度も配膳ミスや怪我のないよう、お互いに声かけを行いながら、引き続き利用者様に安心安全な食事の提供ができるよう努力していきます。

職員外部研修参加状況

○外部研修への参加は、向上に役立ちますが、コロナ禍で外部への参加が少なかったです。

4月25日	秋川ブロック会	2名参加
7月25日	秋川ブロック会	2名参加
8月4日	多職種で学ぶLIFE加算マネジメント	3名参加
9月10日	介護報酬請求事務に関する研修会（基礎編）	1名参加
10月4日	栄養管理講習会	1名参加
10月14日	青梅・秋川生活相談員研修会	1名参加
10月21日	福生高校学校連絡運営協議会	1名参加
10月24日	東京都介護支援専門員専門研修Ⅱ	1名参加
11月12日	同上	1名参加
8月27日	社会福祉事業従事者人権研修	2名参加
9月16日	社会福祉事業従事者人権研修	1名参加

10月 5日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
11月10日	安全運転管理者講習会	1名参加
11月21日	東京都介護支援専門員専門研修Ⅱ	1名参加
11月30日	同上	1名参加
12月19日	BCP 計画ミーティング	3名参加
2月 3日	福生高校学校連絡運営協議会	1名参加
2月24日	適切なケアマネジメント手法について	2名参加

新卒職員は介護福祉士資格を有していましたが、サンシャインビラ介護学院で初任者研修をあらためて学び、学ぶ仲間との交流を図りました。

職員内部研修

職員としての心構え・基本理念・基本方針を正しく理解し、全職員の資質の向上に取り組みました。

・内部研修の開催実績

- 4月①「法人理念・ハラスメント対策」②「感染症」
- 5月①「事業継続 BCP 計画について」②「身体拘束の基礎知識」
- 6月①「看取り介護」②「褥瘡」
- 7月①「感染症及び食中毒及びまん延の防止の指針」②「虐待防止」③「褥瘡」
④「事故発生及び発生時対応の指針」⑤「個人情報保護の基礎知識」
⑥「認知症の基礎知識」
- 8月①「事故防止・2階事例検討」②「紙おむつの選び方使い方勉強会」
- 9月①「事故防止・1階事例検討」②「虐待防止の基礎知識」
- 10月①「事故防止・3階事例検討」②「感染症及び食中毒及びまん延の防止の指針」
③「排泄事例検討」
- 11月①「虐待・拘束」②「法人理念・職業倫理」
- 12月①「認知症事例検討」②「看取り介護」
- 1月①「褥瘡・廃用症候群」②「守秘義務・個人情報」
- 2月①「虐待防止」②「身体的拘束」③「褥瘡防止」④「事故防止事例検討」
⑤「介護課程」
- 3月①「サービスマナー」②「レクリエーション」

令和4年度の内部研修は、正職員・非常勤職員ともに多くの内容を学び合いました。

学んだ知識と技術を仕事に活かせるように取り組み、質の高いサービス提供が出来るように取り組みました。

新入職員には入職時のオリエンテーションを行い、エルダーメンター制度により指導担当者による指導と業務内で行うOJTの強化により、介護技術の習得に努めました。

指導にあたる側の先輩も指導を受ける側の後輩も、共に学び合うことで職員間の良好な人間関係が構築されました。

・新入職時のオリエンテーション内容

- 「統括施設長のお言葉」「新入職員オリエンテーション」
- 「BCP 計画」「介護職員の人材育成・人材育成新入職員」

「福祉の仕事と職業倫理」「看取り介護に関する指針・看取りのマニュアル」
「事故発生の防止及び発生時対応の指針」「身体的拘束適正化のための指針」
「褥瘡対策の指針」「感染症及び食中毒の予防及びまん延防止の指針」
「高齢者虐待防止に関する指針」「サービスマナーの指針」
「職場内の携帯電話の使用について」

・その他

4月に入職した新卒者は、初任者研修を受講して初任者研修の資格を取得しました。

苦 情 報 告

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延が続きました。

この施設でも年間を通して利用者様の生活や職員の勤務体制に影響が出ました。

利用者様、職員、職員の家族に感染症の可能性が生じた場合、利用者様か職員の所属する階は感染対応となり、移動が制限されました。

そのため、入浴や食事の方法も変更になり、行事やイベント、クラブ活動は縮小を余儀なくされました。

特に昨年11月末から、施設内で新型コロナウイルス感染症の感染拡大が生じました。別々の経路から階ごとに発生し、順次収束しましたが、最後の階が収束したのは今年1月末でした。

その期間、利用者様は体調面の心配とともに、様々な制限からくるストレスも感じておられたことと思います。私たち職員は、利用者様と関わる中で気持ちを引き出し、お考えを知ることにも努めました。言葉で伝えてくださる利用者様の苦情や要望を、貴重な意見と受け止め、言葉では伝えられない方たちの思いをも、慮るよう努めました。

例年に比べ、またコロナ禍にあった昨年と比べても、入浴や食事に関する不満や他利用者への苦情が多く聞かれました。

苦情や要望はその場で対応し、対応記録を残しました。主な事案を、月1回開催される苦情対策会議で取り上げ、その内容と対応を考察、介護の質の向上を図るよう努めました。

【苦情対策会議で取り上げた主な苦情・要望・意見その他】

- (1)利用者様より
 - 職員の態度・言葉遣いに対する苦情・不満・・・・・・・・3件
 - 職員の介助・業務に対する苦情・不満・・・・・・・・5件
 - 他利用者への苦情・不満・・・・・・・・7件
 - 生活環境・食事等に関する苦情・不満・・・・・・・・10件
 - 要望・希望・・・・・・・・9件
- (2)ご家族様より
 - 衣類の保管に関する苦情・・・・・・・・2件
 - 施設からの連絡に関する苦情・・・・・・・・1件
 - 評価・・・・・・・・1件

*その他とし、職員より利用者対応に関する意見やハラスメントについての意見が出されました。
内容を検討して問題点を話し合い、改善を図ることができました。

事故防止

施設内でヒヤリハット事例や事故が起こると、発見者が日中は日直（夜間は夜勤者）に報告し、看護職員、機能訓練指導員、生活相談員等に連絡、早い段階で多職種によるカンファレンスを行ってきました。時間を置かず原因を究明し、速やかに対策を立てることで、次のヒヤリハット、事故を防ぐことが目的でした。

報告とカンファレンスの内容は、パソコン画面で確認することができ、対策を周知徹底することができています。

週ごとに、施設顧問医師を中心に開かれる事故防止会議と、月1回の事故防止委員会で、重要事例を考察し、事故防止に取り組んできました。

加えて、事故防止委員会では、年度の後半より、事故報告の流れを検討してきました。

事例の分類を見直し、重要な事例に時間をかけるために、これまで2分類だったものを、「ヒヤリハット」「アクシデント」「事故」の3つに分類し、「アクシデント」と「事故」に関してのみ「カンファレンス」を行うこととしました。

令和4年度のヒヤリハット事例は合計212件でした。

内訳は転倒40件、転落34件、怪我（傷、内出血他）25件、誤食4件、誤嚥2件、誤薬2件、トラブル4件、徘徊1件、器物破損0件、盗難・紛失1件、その他58件です。

また、骨折事故は2件、

腕を骨折された方は病院を受診後施設に戻り、転倒によって足を骨折された方は入院され手術を受けてその後退院、現在はお二人とも回復され、施設で生活されています。いずれの事故も、行政に事故報告を行いました。

事故報告としては、昨年11月からの施設内感染拡大に関しても、福生市と感染された利用者様の保険者である区・市・町に感染症に関する事故報告書を提出しました。

排泄

排泄面の向上を目指し、プライバシーへの配慮と正しい排泄介助方法を学び合い、介護者としての心構えと、技術の習得に取り組みました。

業者の講師による排泄の勉強会は、実践に役立つ内容で排泄介助方法と排せつ用品や物品の選択に役立ちました。今年度は、コロナ感染症の施設内での発生により排泄用品の使用量が増加しました。

委員会報告

「よりよいチームワークで令和4年度の暮らしをつくる」という合言葉で、利用者サービスの質の向上を図り、各委員会を開催しました。

研修委員会

人材育成とサービスの質の向上に取り組みました。

エルダーメンター制度により、新人職員の指導にあたり、OJTを強化しました。

一般職員に対しては、毎月の全体会の時間と運営会議の時間を利用して内部研修を実施しました。

正職員も非常勤職員も介護職以外の職員も全員で内部研修に参加するように努め、参加することが

出来なかった職員へは参加した職員から資料等により説明をし、共通の認識を持てるように取り組みました。

褥瘡防止委員会

毎月委員会を行い、全職員に注意喚起できるように取り組みました。各部署の協力体制が出来て、皮膚の状態に心配がある利用者様に対して早期対応に努めました。

入所時に褥瘡を有していた方については一日も早く完治できるように各職種の連携で取り組み、横になる時間が長い利用者様については褥瘡予防具の使用等により褥瘡予防に努めました。

身体拘束廃止委員会

拘束は長期にわたり「0」です。拘束を行なうことの弊害を職員全員が理解して介護サービスを提供しています。今後も意識を高く持ち、拘束「0」の状態を維持して行きます。

コロナ陽性になった方には居室で過ごしていただかなければならない状況があり認知症の利用者様等状況の理解ができにくい方にとっては辛い状況になってしまったと思います。

排泄委員会

排泄の向上に取り組みました。利用者様に合わせた物品を使用するためにアセスメントするとともに、排泄用品の使用状況を確認もしてコスト意識を持ち、排泄の改善に取り組みました。

サービスマナー委員会

一人ひとりがサービスマナーの重要性を理解して施設全体のサービスマナーが向上するために活動しました。委員会メンバーで話し合い「標語」を作成し、各部署に掲示しました。

厨房委員会

利用者様の「食」に対する、希望を少しでも実現に近づけることが出来るように、各部署で協力し、検討や相談を委員会にてすすめました。利用者様の声を献立に反映できるようにしました。また、利用者様にとって食べにくさ等不都合の改善策と職員にとって介助上の不都合の改善策を委員会の中で検討と確認をして、実行に結び付けるようにしました。

活動責任者委員会

今年度は委員会としての活動はありませんでした。

来年度は、コロナ感染症に対する考え方にも変化があります。活動についてもコロナ発生前の状況に徐々に戻していくようになると思います。

忘年会活動報告書

新型コロナウイルス感染症の影響で福陽会合同忘年会は中止となりました。全職員が感染症の予防策とまん延の防止策に一丸となり取り組みを行い、コロナ感染症の収束を迎えることが出来ました。その関係性の中でチームワークが醸成され親睦も深まりました。

職員旅行活動報告書

忘年会同様、コロナの影響で職員旅行も中止となりました。

職員は私生活においても外出や会食を自粛して感染所の予防に努めました。

クラブ活動

コロナ禍のため感染予防を重視して工夫をしながらの実施となりました。「密を避け、小集団で」の実施のため参加希望の強い方や、心身の状況において気分転換が必要な方などが優先的に参加した形になりました。その分内容の濃い活動になったように思います。

茶 道

活動回数	1回	参加延人数	42名
活動報告	茶道クラブにとって、一番大きな活動の場である「文化祭」には、お茶をたててお菓子を召し上がっていただきました。 1階が17名、3階が19名、文化祭の会場で参加され、2階は感染症予防により2階フロアーで6名が参加されました。 お点前は職員が行いました。		

華 道

活動回数	2回	参加延人数	20名
活動報告	6月13日 10名、10月23日 10名の参加で活動を行いました。 コロナ感染症の影響で講師の先生が来園できませんでした。 文化祭には、職員とともに素敵なお花を活けることができました。 そんな中ですが、皆様たいへんに意欲的に取り組みました。 色とりどりのお花で文化祭の会場が華やかになりました。 活けた利用者様も、ご自分の作品に大満足の様子で、ご自分の活けた作品の前で写真を撮って飾りました。		

書 道

活動回数	5回	参加延人数	38名
活動報告	コロナ禍のため、ボランティアさんの来園は無く、職員が準備から片付けまでの期間と活動中の見守りをしながら利用者様に書いていただきました。 各フロアー単位で活動を行いました。 専門的な指導者はありませんでしたが、皆さん楽しく書道をされていました。 毎回の作品は展示し、それを眺めて、うれしそうでした。 文化祭には利用者様の作品とともに職員の作品も展示もしました。		

鑑 賞 会

活動回数	2回	参加延人数	41名
活動報告	感染予防策の実施中ということもあり頻繁な開催は困難でした。 2回の映画鑑賞会を行い、大変好評でした。		

ラジオ体操・テレビ体操

活動報告	年間を通してコロナ感染症の影響が大きくあり、感染予防の観点から集団での活動は困難でした。 ラジオ体操の音楽が掛かったり、テレビ体操の番組が始まったりすると自然に体を動かして下さる利用者様がありました。
------	---

手作りおやつ

活動回数	8回	参加延人数	637名												
活動報告	<p>利用者様に食べやすく美味しいおやつを手作りするという事を考えながらメニューを決めました。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">4月（あんみつ 68名参加）</td> <td style="width: 50%;">5月（ミニパフェ 85名参加）</td> </tr> <tr> <td>6月（ワッフル 85名参加）</td> <td>7月（中止）</td> </tr> <tr> <td>8月（どら焼き 74名参加）</td> <td>9月（中止）</td> </tr> <tr> <td>10月（白玉あん 68名参加）</td> <td>11月（カステラサンド 93名参加）</td> </tr> <tr> <td>12月（中止）</td> <td>1月（お汁粉 73名参加）</td> </tr> <tr> <td>2月（中止）</td> <td>3月（プリンアラモード 88名）</td> </tr> </table> <p>普段召し上がっている食事形態とは違う形態の物であってもゆっくりと余裕を持って介助させていただくことにより、希望する方には皆様に召し上がっていただくことが出来ました。</p> <p>誤嚥事故の防止に努めました。 コロナ感染予防の観点から、各フロアでの飲食といたしました。</p>			4月（あんみつ 68名参加）	5月（ミニパフェ 85名参加）	6月（ワッフル 85名参加）	7月（中止）	8月（どら焼き 74名参加）	9月（中止）	10月（白玉あん 68名参加）	11月（カステラサンド 93名参加）	12月（中止）	1月（お汁粉 73名参加）	2月（中止）	3月（プリンアラモード 88名）
4月（あんみつ 68名参加）	5月（ミニパフェ 85名参加）														
6月（ワッフル 85名参加）	7月（中止）														
8月（どら焼き 74名参加）	9月（中止）														
10月（白玉あん 68名参加）	11月（カステラサンド 93名参加）														
12月（中止）	1月（お汁粉 73名参加）														
2月（中止）	3月（プリンアラモード 88名）														

喫 茶

活動報告	2階ホールを喫茶店と見たてて開催する予定でしたが、コロナ感染症の予防策実施等により、集うことが難しく活動を行うことができませんでした。
------	---

音

音楽療法 ♪

活動報告	年間を通して、コロナ感染症の予防のために講師の先生は来園できませんでした。専門的な知識がない職員だけで音楽療法の実施は困難でした。そのため、活動機会がありませんでした。活動を楽しみにしている利用者様には申し訳ない状況でした。
------	--

外出の日

活動報告	<p>コロナ感染症の影響により、施設外に出かけることは困難な状況でした。季節や天候をみながら施設周辺の散歩や施設ベランダや施設内の庭での日光浴等で気分転換を図りました。</p> <p>感染状況を確認しながらドライブも行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩 2回 12名参加 ・ドライブ6回 43名参加
------	--

園芸

活動回数	8回	参加延人数	16名
活動報告	<p>コロナ感染症等の感染予防により活動に制限がありました。</p> <p>4/28 プランター用の土を購入</p> <p>5/4 野菜苗購入（ゴーヤ、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、シシトウ、すいか）</p> <p>5/5 野菜苗植え（利用者様6名参加）</p> <p>5/7 ゴーヤのネット設置</p> <p>6/9 きゅうりの収穫（利用者様4名参加）</p> <p>6/19 黄色スイカの受粉</p> <p>6/20 赤スイカの受粉</p> <p>7/7 作物収穫（利用者様6名参加）</p> <p>収穫時には、みんなで味見をするなど視覚と味覚の両方に働きかけることが出来ました。</p>		

製作

活動回数	15回	参加人数	102名
活動報告	<p>密にならないように座席の配置を考えてマスクをして参加していただきました。季節に合わせて身の周りの装飾品や季節感を感じられるような置物などの制作に取り組みました。</p> <p>納涼祭の前にはうちわの制作を行い、自分自身のためにオリジナル作品が出来上がりました。</p> <p>製作は出来る楽しみと満足感と達成感により、心身の状況には良い影響があったと思います。</p> <p>皆様、真剣に取り組まれました。</p>		

防 災

「突然大きな地震に襲われる」「火災が発生する」「不審者が侵入する」「感染症のクラスターが発生してしまった」等々を想定して今年度も訓練を行いました。

どのような状況であっても利用者様へのサービス提供を行うという私たちの使命を職員一人ひとりが自覚しながら職務にあたるように取り組みを行いました。

訓練の記録

- 4月22日（金） **火災想定(日勤帯)**にて実施し、消火訓練を行う。
初期消火により鎮火を報告する。
屋内消火栓と消火器の使い方の知識を得るように説明する。
- 7月20日（水） **消火訓練・通報訓練(夜勤帯)**5：00厨房より出火。各部署に通報、連絡するとともに消火器により初期消火により鎮火した。各部署の連携方法を学んだ。
- 9月 1日（木） **防災用品の一斉点検訓練**
各部署の避難用品と防災用品の内容を点検する。
- 10月 6日（木） **自然災害想定**、台風による水害のため厨房が使えなくなり災害用の「まかないくん」を使って非常備蓄品により炊き出し訓練を行い、利用者様100名と職員30名の昼食をまかなう。
- 10月13日（木） **令和4年度自衛消防訓練指導会に参加。**
- 1月31日（火） **地震想定(日勤帯)**おやつの時間で皆様がくつろいでいるところ、大きな揺れを感じた。揺れが収まり確認すると落下物があり、避難用有働を行う。
- 2月10日（金） **感染症に対する初動(夜勤帯)**利用者様1名に発熱があり、感染対応。
マニュアルに沿い、シミュレーション訓練を行う。
- 2月15日（水） **感染症の蔓延防止策としてのシミュレーション訓練**をマニュアルに沿い実施。
- 3月10日（金） **地震想定(夜勤帯)**午前2時、地震発生、揺れが収まり施設内の状況を確認すると洗濯場から出火、初期消火、消防署に通報、けが人1名あり応急処置等一連の動きを夜勤者の役割部分担で行う。
- 3月11日（金） **地震想定(日勤帯)**火災無しけが人なし。午後2時過ぎ（2011、3、11発生時間頃）施設内の利用者様、職員、環境等を確認し3、11を振り返る。
3月11日を忘れることなく、常に備えることが出来るようにという心構えの訓練を行った。
火災の発生無し、ケガ人無し。

使用物品等

日常的に使う使用物品の在庫が少なくなると事務所に連絡をして事務所で発注しました。

納品された物品は、介助員が所定の場所に片づけて管理をしました。

物品を持ち出したときに、物品を持ち出した職員が持ち出した記録を記入しました。かねてより記録の未記入による在庫数が合わないという問題がありますが、今年度においても同様な状況であり会議等で必ず記入をするようにと注意喚起しました。

シーツ等リネン類の発注管理

シーツ交換は、業者に委託しています。

リネン類の在庫等の数量管理も委託先の業者が行っています。

定期的なシーツ交換以外のシーツ交換は、介護職員が行い、利用者様の寝具類を心地よい状態に保っています。

環境整備・感染症予防・褥瘡予防・安眠・事故防止等に配慮して清潔保持を支援しました。

コロナウイルスの感染防止のために、リネン類の配送の業者さんが施設に入らずに玄関先で納品していただき、職員が片付けるという方法を継続しました。

コロナ感染症発生時は委託業者の方には施設内にお入りいただくせずに、職員がシーツ交換を行い清潔保持に努めました。

おむつ等管理

紙おむつ類の使用については、職員全員がコスト意識を持ち使用しましたが、コロナ感染症の発生により排泄用品の使用量が多くなり結果的にはコスト増となりました。

無駄な使い方をしないように注意し合って、排せつ介助を行っています。

在庫の管理をしながら発注して、過不足なく使用する事が出来ました。

年間行事の実施状況

行 事	実 施	内 訳	金 額	小 計
観桜会	4 月 1 0 日 (日)	模擬店食材 飲み物 その他	44,191 4,422 1,943	50,556
端午の節句	5 月 1 日 (日)	1階 (フロアー活動) 2階 (フロアー活動) 3階 (フロアー活動)	4,813 10,580 4,813	20,206
ゲーム大会	6 月 1 9 日 (日)	シュークリーム	10,800	10,800
納涼祭	7 月 2 4 日 (日)	模擬店食材 飲み物・西瓜	16,377 22,901	39,278
敬老会	9 月 1 9 日 (日)	花代 和菓子 その他	40,500 20,500 11,548	72,548
文化祭	10 月 1 7 日 (日)	模擬店食材 雑貨 茶道菓子等 飲み物 花	16,985 1,582 12,600 4,782 15,000	50,949
クリスマス	12月19日 (日)	クリスマス用装飾品 プレゼント代 ケーキとプリン	5,017 38,242 73,813	117,072
餅つき	12月28日 (火)	もち米と もち取り粉	6,250	6,250
新年式典	令和5年 1月1日 (日)	門松 お飾り等 花 その他	42,900 17,271 12,000 3,857	76,028
節分祭	2月3日 (金)	鬼打ち豆 その他	2,556 5,489	8,045
ひな祭り	2 月 2 7 日 (日)	花代 雛菓子	4,950 556	5,506

合計 356,349円

ボランティア受入状況

コロナ禍以前は、たくさんのボランティアさんに活動していただいていたのですが、感染予防の観点から施設内に外部の方がお入りいただくことを中止しました。

ボランティアさんは、地域の方が多く、利用者様の地域交流の機会になっていたのが残念でした。ボランティアさんに施設内にお入りいただくことは出来ませんでした。ご自宅で作った作品を届けて下さったりという個人ボランティアさんもありました。

実習生・研修生受入記録

コロナ感染症等の感染予防対策の一環として、令和4年度も外部からの受け入れに制限がありました。コロナの状況を見ながらではありましたが中学生の職場体験と介護福祉士養成校の生徒さんの実習を受け入れることができました。

地域交流参加等の状況

地域交流は重要なこととの認識のもと交流の機会を検討しましたが、感染予防を優先し直接の交流機会を持つことが出来ない結果となりました。

しかし、地域の方が作品を届けて下さったり、保育園の園児さんの作品を届けていただけたりという交流もありました。

また、マスクや消毒液等のご寄付を持って来て下さる方もあり、地域との関係を感じる事ができました。

令和4年度短期入所生活介護事業報告

1. 基本方針

福陽会の理念である「その方が、その方らしく生活できる環境づくり」をモットーに、利用者様が健康で笑顔あふれる日常を過ごせるよう目標を定める。

- ・利用者様の心身共に健康な生活を保持る。
- ・利用者様の個性を尊重した生活を配慮する。
- ・生活に希望と生きがいを持てるよう環境の整備と季節感のある行事を行う。

(1) 月別利用者様の延利用日数

4月	6日	5月	31日	6月	19日
7月	20日	8月	8日	9月	30日
10月	28日	11月	0日	12月	0日
1月	0日	2月	0日	3月	5日

1年間に、延べ日数で合計147日利用していただきその結果、稼働率は20、14%でした。

従来型多床室で個室がありませんので、コロナ感染症感染防止策により2床のベッドの二人部屋に1名の方が利用するという状況でしたが、11月以前においては順調にご利用いただけていました。

しかし特養で11月22日にコロナ感染症の発生があり、その後の短期入所の受け入れが困難になりました。

(2) 協力病院・地域の医療機関等と連携を図り、ご家族様とも協力し合い、健康管理を行いました。

2. 重点目標

理事長、統括施設長、施設顧問医師、副理事長よりの指導をいただき、職員一同力を合わせて感染予防策の徹底とサービスの質の向上に取り組みました。

- (1) 緊急な入れを行う環境を整えて準備しました。
- (2) 重度要介護者の受け入れ環境を整えて準備しました。
- (3) 内部研修とOJTを強化しました。
- (4) 各部署のチームワークで感染症の予防と拡大の防止策を徹底して行いましたが特養にコロナ感染症の発生があり、収束までの期間は短期入所生活介護の利用者様をお受けすることができませんでした。

生活の場として安全であるように環境を整えて、その方のご利用期間中を安心して安全に過ごしていただき、その後は安心して居宅生活へ戻っていただけますようにと考えて、支援いたしました。

2022年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

特別養護老人ホーム 第2サンシャインビラ
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

1. 事業報告（総括）

統括施設長指示のもと、「その人らしく生活できる環境づくり」の追求を深めて行く事により、利用者個々の充実した生活が送れるよう支援する事が出来た。新型コロナウイルスの影響により面会制限や活動自粛等をせざるを得ない状況が続いたが、コミュニケーションの増加やフロア毎の諸活動の企画及び実施により、日常生活を楽しんでもらう事が出来た。秋口には新型コロナ感染があったが、前年度の感染時とは異なり重症化する事なく、職員も落ち着いて対応できていた。

地域交流については、家族介護者教室の開催にて地域の家族介護者への支援を9月に、地元加美町会や福生市との合同防災訓練を3月後半に実施。又、地域包括との連動により認知症サポーター養成講座を1月と3月に実施し参加者からは好評の声が聞かれた。その他については前年度同様新型コロナの影響により交流する機会も減少した。

面会についてはオンライン及び特定の部屋を使用し窓越しの面会を実施。特に予約制での特定部屋内の面会については以前のような面会に近い形であった為、利用者様やご家族様から喜びの声やたくさん笑顔を見る事ができ、利用者個々の生活の安定に繋げる事ができた。

研修関係についても、施設開設以来変わる事の無い理事長・統括施設長・顧問医師・副理事長の福陽会の理念を職員個々に十分に理解・浸透させる事ができた。今年度も内部研修を中心に、研修委員等の熱意や創意工夫により定期研修会と合わせ、フロア毎の内部研修の継続。特に外部講師を招いての時間外研修会は参加者も多く、専門性のある講義内容にてスキルアップに繋げる事ができたように思える。

利用者の健康管理については、平均介護度4.0と重度化が継続している中、顧問医師の指導による日々の健康チェックと日常観察等を介護・看護職員が連動して行い、病気の早期発見・早期治療を実施する事ができ、精度の高い感染症対策や看取り介護の実践が継続できた。同時に顧問医師を中心に例年以上に充実した内容の感染症対策委員会を開催し、感染症に対する知識を深める事が出来た。

一方では、開設から27年が経過し、各設備の消耗や老朽化が更に進んでおり、クーリングタワーの入れ替え、換気扇交換修理、電話設備交換等の施設備品に加え、福生市から委託を受け地域包括支援センター関連の経費も加わった。修繕等については今後も消耗状況による各設備の入替え等、続いていく可能性が非常に高い為、施設全体の経費の見直し・削減を進めていき、効率的な施設運営を目指すと共に、利用者並びに施設職員が明るくそして幸福感や満足感を常に感じてもらえるような活気ある施設作りを強化並びに継続して行きたい。

【事業計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、年度中旬にコロナ感染症発症があったものの冒頭のとおり成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

2. 職 員 構 成 3月31日現在

担当職	職 名	職員	非常勤
統括施設長		1	
顧問医師			1
医師			1
副理事長		1	
産業医			1
施 設 長		1	
事 務 長		1	
事 務 員		1	2
生活相談員	主任生活相談員	0	
	生活相談員	4(3)	1
	介護長	0	
介護支援専門員		(3)	
介護職員		40	25
医 務	医 師		3
	看護主任	1	
	看護職員	5	2
	事務		0
機能訓練指導員	機能訓練指導員	2	
	P T		2
厨房	管理栄養士	1	
	調理員	9	0
保守管理・宿直	介助員	2	6

* 兼務職員は主たる職務に記載し、
兼務している職務では（ ）内に
記載

* 清掃・洗濯の
一部はシルバー人材より派遣

3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	回数 合計
相談員会議	13	11	8	13	10		12	9	14	11	8	8	11
栄養会議	13	11	8	13	10		12	9	14	11	8	8	11
行事計画委員会	12	6	3	8	12		13	10	8	12	9	9	11
苦情処理委員会				22					22		23		3
事故対策委員会		20					27			26			3
虐待・拘束廃止委員会			17			22						23	3
個人情報保護推進委員会	26				26								2
実習研修推進委員会	18	26	23	28	25	20	18		20		21	21	10
厨房会議			1		3		5		7	4			5
ケース会議	12	6	3	8	12		13	10	8	12	9	9	23
	26	20	17	22	26	22	27		21	26	23	23	
リーダー会議	13	4	1	6	15		5	2	26	23	27	27	11
広報委員会		11		20		14		9		11		8	6
施設内レクリエーション委員会	18	26	23	28	25	20	18		20		21	21	10
褥瘡予防委員会	12	6	3	8	12		13	10	8	12	9	9	11
衛生委員会	13	11	8	13	8	14	12	9	28	11	8	8	
感染症対策委員会	26	20	17	20・ 22	26	22	27		21	26	23	23	12
全体会議	13	11	8	13	10	14	12	9	14	11	8	8	12
利用者懇談会													
給食懇談会	4	2	6	4	1	5	3	7	5	9	6	7	12
法人合同会議	25	26	23	21	25	22	27	17	22	26	27	23	12
防火管理委員会													
その他会議													

4. 市区町村別入退所状況

	入 所		退 所		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
葛 飾	0	1	3	1	1	4
国 立	1	1	0	1	2	1
江 東	0	0	0	0	0	0
杉 並	0	0	1	3	0	4
世田谷	0	1	1	3	1	4
立 川	1	1	1	2	2	3
福 生	5	15	2	9	20	11
文 京	0	0	0	2	0	2
目 黒	0	0	0	0	0	0
その他	7	8	8	5	15	13
合計	14	27	16	26	41	42

5. 利用者外出・外泊・面会状況

	外出		外泊		面会		
	人数	延回数	人数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4					172	31	1.0
5					172	80	2.6
6					172	62	2.1
7					172	53	1.7
8					172	24	0.8
9					172	43	1.4
10					179	67	2.2
11					179	28	0.9
12					179	55	1.8
1					179	73	2.4
2					179	60	2.1
3					179	97	3.1
合計	0	0	0	0	2106	673	1.8

6. 処遇報告

1) 2F 事業報告・活動報告

【フローー目標】認知症の方の行動・症状を理解しその方に合った接し方、ケア、本人の尊厳を大事にして、出来ることをいかした生活が送れるよう支援していきます。

(1) 年間を通じて

前期目標を達成する為、利用者様の生活環境を整え、利用者様の体調を整え、体調の変化に気を配り、年間行事への参加や外出支援、フロア活動としての季節ごとに企画したレクリエーションを行う事が出来た。

後期目標に関しては、利用者様の体調管理に介護職員と医務との連携にて利用者様の体調の変化の早期発見とその後の対応を迅速に行えた。また、嘔吐処理などの感染対応のフロア研修日を設定し、フロア職員参加のもと周知し備えることができた。

感染症対策時期には外出支援ができないため、クリスマス、お正月、節分祭、ひな祭りなどを盛大にフロアレクリエーション充実したものにできた。

(2) 安全対策

夜間帯、センサー反応がよく、色分けされたものに変更した物を20機から24機と増設しても区別が付きやすく利用者の見守り精度が上がった。

(3) フロア活動報告

【利用者ショッピング】

新型コロナ感染症対策のため中止。

【フロア外出支援】

新型コロナ感染症対策のため中止

【フロアレクリエーション】

コロナ感染対策の為、外出、又外部からの慰問等も出来ない状況の中で、季節を感じられるレクリエーションを、利用者様と職員と一緒に楽しみ、職員の演芸会（和太鼓・ジャグリング・ピアノウクレレ・仮装）などは多くの利用者様の笑顔がみられとても楽しまれた。

全ての行事に多くの利用者様が参加して頂ける内容を考え取り組むことが出来た。

フロア内に、普段とは違う表情の笑顔の写真を多く撮ることが出来、フロア内に多くの写真を飾る事が出来た。

また、感染症対策としてABそれぞれのユニットで分散したかたちでのレクリエーション実施

【フロア研修会】研修委員主催

事故報告が出た場合、なるべく早くミーティングをするように心掛け、改善、再発防止に努め、フロア全体が把握、周知できるように取り組むことが出来た

2) 3F 事業報告・活動報告

① 利用者の個別ケアについて

ケアプランに基づいた個別ケアについて職員一人ひとり発信し、意見を出す等の情報共有、フロア全体での

実践・検証が定着している。情報共有についても昼のミーティングで当日の利用者の状況についての報告、確認を行い皆で把握することでその後のケアに活かせるような体制ができています。また、少しの状態変化も察知し易くなり、医務やリハビリへの相談や連携も以前より迅速に行われるようになった。今後もより適切で根拠のある個別ケアが実施されるよう継続していく。

ヒヤリハット、内出血の報告は前年度とほぼ変わらずの件数が上がっていたが、一人ひとりの危機意識は高まっている。些細な事でも報告し共有することが定着し迅速に対応することが出来ている。毎日行われているミーティングを活用し、情報の共有や小さな気付きを報告する事によって危険予測を立てることが出来き事故防止に繋がっていると思われる。今後も事故防止に努めると共に精度の高い効果的な改善案の作成や実施、一定期間経過後の評価を継続し、同様の事故を減少できるように努力していく。

新型コロナウイルスについては、引き続き緊張感をもって感染予防に努めた。

職員、利用者数名が感染する結果となってしまったが、日頃からの感染症に対する意識により迅速な対応が出来き、又専門家の指導によって改めて正しい知識を身に付け冷静に対応することで感染を最小限に収めることが出来た。利用者の体調観察や迅速なゾーニング、また職員一人ひとりが自己の体調やプライベートでの行動の管理や消毒の徹底などフロア一丸となって取り組み大きな波を乗り越えることが出来た。今後もスタンダードプリコーションを基本として徹底し、気を緩めることなく更なる感染症の理解と技術の向上を目指し、医務とも連携しながら感染予防に努めていく。

② フロアレクについて

感染症対策の継続でイベント事などの自粛ムードの中レク委員を中心にフロア内を季節ごとに飾り付け毎回利用者様からの評価も高くフロア独自の展示品として継続をしている。またクリスマスには職員によるギターの弾き語りやカラオケなど、職員と利用者が共に楽しめる様な企画を立て盛大な盛り上がりを見せた。ベランダの草花や季節の野菜の苗を植えて成長を楽しみにしたり天気の良い日は外気浴を実施するなど利用者にも楽しんで頂くよう努力した。

③ 個人の尊厳・認知症ケア

「尊厳」というものの意味を理解し、利用者一人ひとりと真摯に向き合い、個別のケアや利用者特性、認知症の理解については職員指導や研修会の参加などで理解を深めてきた。今後も利用者・家族が安心して施設での生活を送って頂けるよう努めていく。

④ ターミナルケア

終末期、居室を思い出の写真で飾り付けしたり、その人らしさを意識した安心、安楽な環境づくりに努めた。またコロナ禍でも、ご家族に感染対応をご理解頂いた上で面会を実施することにより、大切な時間を一緒に過ごして頂くことができ、ご家族からも感謝のお言葉やお手紙を頂くこともあった。

。排泄委員会（感染症委員会）

- ・利用者の状態変化に合わせた排泄材料の検討や褥瘡予防策の提案・実施。
- ・感染物品の管理や安全な排泄介助方法、ガウンテクニックの指導。

美化委員会

- ・感染予防の為に口腔ケアや整容などの物品管理や身の回り品等の整備。
- ・安全や清潔に配慮したフロア環境整備。

レク委員会

- ・季節感のあるフロア内外の装飾。
- ・感染予防に配慮した上でのフロアレクの企画・実行。

研修委員会

- ・より質の高い職員の育成につなげる研修の実施や資料作成等。

3) 4F 事業報告・活動報告

年間目標

常に尊敬の念を持ち、利用者一人一人と真摯に向きあうことで、『その人らしい生活感のある暮らし』『心身ともに健康な生活』『笑顔の絶えない楽しい生活』が送れるよう支援をしていきます。

重点項目

① 感染症対策

新型コロナウイルス感染症等の染症対策において、令和2年度のクラスターの経験から学んだ知識を源に、感染予防対策の習慣化だけでなく、さまざまな感染症に対する感染症予防対策の根拠を追求し、日々の利用者ケアの見直しを図ったことで日常的な感染予防対策としてのレベルアップに繋がった。

また、流行し続けている新型コロナ感染症には特に細心の注意を払い、職員個々が体調管理、プライベートでの行動制限を心掛けたが、あいにく家族間での感染は間逃れず、早期に疑い出勤を控えたが、職員、利用者共に感染してしまいう結果となりましたが、医務との連携を図ることにより短期間で終息することが出来た。今後もさらに医務との連携を図りながら感染予防に努めていく。

② 利用者個別ケア

利用者一人一人のケアプランをケース会議毎に、チェック方式で職員に周知することで、フロア職員皆が利用者一人一人の想いやニーズの把握や意見を出したりと情報共有することで、統一したケアを実施することが出来た。

その成果として、食種の変更や、車椅子から歩行器、オムツからトイレ誘導へと利用者の生活の質が向上した実績も得られている。

職員、利用者間の良好な交流が継続している中で、利用者同士の交流も引き続き多く見られており、外出や面会がままならない状況下でもフロア内で生き生きとした利用者の様子がうかがえた。

③ 認知症ケア・個人の尊厳

尊厳という意味を理解することで、フロア内での情報共有をもとに、認知症であっても「その人がその人らしく」生活できるよう、「その人そのもの」を理解しながら、引き続き周辺症状、中核症状へのアプローチを個別に工夫することで、利用者、職員共にゆとりを持ち、穏やかな関係性を築くことに努めてきた。

また、やむを得ず医師との相談により抗精神薬の処方となった利用者に対しては、投薬後の副作用を考える等の意識も高まっている。

④ 看取り介護（ターミナルケア）

コロナ過ではあるが、感染症対策にご協力頂きながら、ご家族との面会を安全に実施することが出来た。ご家族の写真や大切な物、自慢な物、好きな歌等、「その人らしさ」を尊重した環境を整えるだけでなく、ご家族が支援の手を差し伸べられる機会を提供することが出来、利用者、ご家族からの満足度が実感できた。

看取りケア実施中にも、様々な意見を出し合い思いを寄せ合うことで看取りケアの質を深める努力を継続している。

また、看取り後には、故人のご家族に向けた、「思い出のアルバム」を心込めて作成し、数々の嬉しいコメントを頂けている。

⑤ リスクマネジメント

ヒヤリハット、内出血に関しては、昨年度以上に発見、報告の意識付けと職員全体の目配り気配り等の意識を高めることが出来た為、昨年よりも些細なことも含めた件数が増える結果となった。このことにより職員間の情報共有に役立つことが出来た。

また、引き続き低床ベッドの活用、足元マットの設置や、センサーの有効利用したが、歩行器、車椅子自操の方が増加、出来る限り自由に生活して頂けるよう配慮した結果、尻もち、転倒、車椅子や椅子、ベッドからの転落、ずり落ちは前年度を上回る結果となってしまった。

骨折に関しては2件発生する結果となった。

⑥ 生活支援

天候の良い日は外気浴やチューリップ畑ドライブ（車内からの景色観賞）、お誕生日会のケーキ、

嗜好品や環境装飾等のレクリエーションを企画し、外出できないコロナ過でもストレス少なく、楽しみをもって過ごして頂けるよう努めた。

日常に於いても、利用者同士の麻雀を楽しむ姿や、職員と交わりながら楽しそうに笑っている利用者が多く見られていた。

また、利用者個人の趣味や生活歴等に応じた個別の動画鑑賞の提供も、利用者が楽しむ場面に有効であった。

4) 月間定例行事実施状況

行事 月	喫茶室	おやつ バイキング	ラーメン の日 冷し中華	うどん	希望食 の日	誕生日 会	理髪の 日	移 動 美容室	ひまわ り美容 室
4	19	6	6	20	13	27	30	33	10
5	10	17	4	18	11	25	35	38	11
6	21	7	1	15	8	29	42	17	10
7	19	5	6	20	13	27	30	29	8
8	16	2	3	17	10	31	33	17	12
9	20	6	7	21	14	28	52	19	7
10	18	4	5	19	12	26	21	26	15
11	15	-	2	16	9	30	0	0	8
12	20	6	7	21	14	28	58	35	15
1	24	17	5	1 8	11	25	21	20	8
2	21	7	1	15	8	22	29	24	15
3	21	7	22	15	8	29	31	16	10

5) 地域行事参加状況一覧表

年月日	行事名	人数
	新型コロナウイルスの影響にて	
	地域行事への参加は無し	

6) 施設見学者一覧表

年月日	見学者名	人数	時間帯	適応
4月13日	新卒選考会参加者	1	13:00~15:00	施設見学、採用選考
5月9日	新卒選考会参加者	1	13:00~15:00	施設見学、採用選考
5月19日	入職希望者	1	10:30~11:30	施設見学
6月8日	関係業者	1	10:00~11:00	施設見学、打ち合わせ
6月8日	新卒選考会参加者	1	12:00~13:30	施設見学、採用選考
6月20日	新卒選考会参加者	1	14:00~15:30	〃
7月4日	関係業者	2	14:00~15:00	施設見学、打ち合わせ
7月8日	多摩リハビリテーション	1	13:30~14:00	〃
7月18日	関係業者	1	10:00~11:00	〃
8月25日	新卒選考会参加者	1	10:30~12:00	施設見学、採用選考
9月5日	新卒選考会参加者	1	11:00~12:30	施設見学、採用選考
10月19日	新卒選考会参加者	1	11:00~12:30	〃
1月24日	入職希望者	1	10:00~11:00	施設見学、打ち合わせ
2月16日	関係業者	3	10:00~15:00	施設見学、利用者調査

※その他施設入所希望のご家族等 多数見学あり

7. 厨房事業報告

(1)実施内容「手作り三色寒天」 実施日 R5.02.12 (日)

目的

利用者様に喜んでいただけるように、普段食べられないようなおやつを手作りとして提供し、見た目や味の変化等を楽しんでいただくことを目標とし計画しました。

結果

食事形態が違って、同じ形態で全員の方に召し上がっていただけるようなものを提供し、「美味しい、また作って」と言っていただけ満足していただけた様子でした。少し固いとの声もあったので、次回は全員の方に美味しいと言っていただける様工夫したいと思います。

◎代替食実施状況

○青魚禁→白身魚で対応

2F 0名 3F 1名 4F 2名

○牛乳・乳製品禁→ジュース、果物等で対応

2F 0名 3F 3名 4F 6名

○うなぎ禁→丼物等中心で対応(牛丼等)

2F 0名 3F 2名 4F 3名

○麺類禁→主食を御飯・粥として副食をプラスし対応

2F 1名 3F 2名 4F 5名

○その他禁 カレー、納豆、長芋、卵(温泉卵)、えび、かに、揚げ物、ブロッコリー、オクラ、バナナ、キウイ、マンゴー等→他の食材もしくは調理法で対応

◎行事食等について

月	日		月	日		月	日	
4	6	ラーメンの日	9	7	冷やし中華		31	年越し
	27	誕生会		11	敬老の日	1	1	元旦祝膳
5	4	ラーメンの日		28	誕生会		4	ラーメン
	25	誕生会	10	5	ラーメンの日		7	七草粥
6	1	冷やし中華		20	文化祭(内部)		11	鏡開き
	29	誕生会		26	誕生会		25	誕生会
7	6	冷やし中華	11	2	ラーメンの日	2	1	ラーメンの日
	27	誕生会		30	誕生会		22	誕生会
	29	盆踊り大会(内部)	12	7	ラーメンの日	3	1	ひな祭り
8	3	冷やし中華		17	クリスマス会		22	ラーメンの日
	24	誕生会		28	誕生会		29	誕生会

うどん、そばの日 月 1回

希望食の日 月 1回 10月～6月は刺身 7月～9月はうなぎ蒲焼

◎給食懇談会実施状況

月	日	階	人数	議題	内容等
4	4	4F	5	食事について 感想、希望等	嗜好について比較的具体的な名称を 挙げて話していただくことができた
5	2	3F	5	〃	積極的に話して下さる方が多く たくさんの意見が出た
6	6	3F	5	希望食について等	食事の感想と併せ、来月から希望食が 鰻となる為、お好きか等伺った
7	4	3F	4	食事について 感想、希望等	嗜好から禁忌となっている食材を 好きだと話される方あり、その後解除
8	1	3F	4	〃	概ねよく召し上がっている様子、 おやつは喜ばれた
9	5	2F	5	〃	嗜好について比較的話していただけた 甘味はお好きな方多い様子
10	3	2F	5	行事食について等	積極的に話していただく方は少なかったが 比較的よく召し上がっている様子
11	7	2F	4	焼き芋大会に ついて等	あまり出ないので嬉しかった、 美味しかったとのことで好評であった
12	5	2F	4	食事について 感想、希望等	皆さん良く召し上がっている様子 甘味は好評であった
1	9	4F	5	〃	皆さん積極的に話してくださり 嗜好について伺うことができた
2	6	4F	3	〃	苦手な食材がある方もいたが、 普段の食事はよく召し上がっている様子
3	6	4F	5	希望食について等	ひな祭りの五目ちらし寿司について 改めて感想伺った

※毎月1回第1月曜日 PM2:30～3:00 までの短い時間ではありますが各階の利用者様が参加され、調理の現場からの出席もあり食事の感想や希望を伺い個人個人の嗜好を把握し、ADL や食事形態の変化を直接認識して、それを献立作成や実際の調理に反映させるための貴重な時間となっています。

8. 医務室利用者健康管理報告

1 利用者の安全で快適な生活を維持するための看護・医療面での一次・二次予防の推進 実施内容と方法

- ① 年一回の利用者健康診断を実施（胸部レントゲン・心電図・採血・尿検査）
- ② 新規入所者は入所の際にフルコース検査を実施（胸部レントゲン・頭部 CT・採血・尿検査・心電図・必要に応じて胸部 CT・心エコー・腹部エコー等）
- ③ 利用者健康診断及び新入所者のフルコース検査結果を速やかに医師に報告し、必要に応じて追加検査・投薬などの指示を仰ぎ健康管理に努めた。
- ④ 週に3回の医務診察を行い、健康維持に向けた管理を実施。
- ⑤ 医師による指示及び看護師の医療的な判断により、定期的にバイタルサイン測定を実施（体温・血圧・脈拍・SPO2 など）
- ⑥ 医務診察にて処方された内服・外用薬の管理
- ⑦ 毎月1回定期的に体重測定を実施し、栄養状態の指標として他部署との情報共有に努める。
- ⑧ 健康状態に変化が見られた場合、速やかに医師や御家族へ報告し必要に応じて他医療機関の受診を行う。
- ⑨ 加齢による変化や慢性疾患の進行などによる全身状態の悪化が見られる際は、医師より御家族へ説明をして頂き看取り介護開始の検討を行う。
- ⑩ 看取り介護実施の際は、利用者及び御家族の多様なニーズに対応出来る様多種職間との情報共有に努める。
- ⑪ 夜間オンコール体制の基、利用者の急変時等は介護職員との連携を図り対応を行う。

年間目標1に対して2022年度の取り組み①～⑪により、多くの疾病を抱える利用者の安定的な健康管理に繋がった。

今年度は44名の総退所者（死亡退所者：41名 通常退所：3名）があり、入院先での死亡者7名、急変等により死亡された方13名、ターミナル対応の末に亡くなった方21名であった。

亡くなられた方の半数以上が入院先と看取り介護（ターミナル）の実施が可能となったのは、異常の早期発見に努め医師との間で速やかに情報共有が出来たからと思われる。看取り介護を実施するにあたり、御家族へ医師より病状や今後の展開についての説明がなされる事で、家族の死に対する心の整理をつける事にも繋がった。

今後も他職種間との連携の強化に努め、利用者ならびに御家族の多様なニーズに対応出来る様努めることと前年比より多くの死亡退所者が出たことの考察も必要である。

感染症時期以外の夏場や季節の変わり目での感冒症状から状態が悪化することがあり、感染症に対して委員会の開催や研修を行い、対策を強化した。

2 感染症の発生及び蔓延防止（新型コロナウイルスも含む） 実施内容と方法

- ① 年2回以上の感染症予防及び発生時の対応方法について施設内とフロアでの職員研修を実施。
- ② 全体朝礼や申し送り等を活用し感染症に関する発生状況等の説明・報告を行い注意喚起に努める。
- ③ 通年を通し感染症予防の為、職員に出勤時の体温測定・マスクの着用を徹底。
- ④ 職員の手洗い、アルコール消毒施行の徹底。
- ⑤ 11月より3月末までの感染症が発生しやすい時期に合わせてフロア・居室内に加湿器（大型加湿器は各フロア1台）を設置し湿度調整を図る。
- ⑥ 利用者の食事摂取前に手指消毒を実施。
- ⑦ 対面面会を中止し窓越しやリモート面会を実施し感染症を持ち込まないよう徹底した取り組みを行った。
- ⑧ 体調の変化がある利用者には注意深い観察を行い、早期に医師へ報告し対応を検討する。
- ⑨ 職員及び利用者に対しインフルエンザの予防接種を実施。
- ⑩ 各部署連携し月に一度の感染症委員会を実施。
- ⑪ 新型コロナウイルスについて
 - ・毎月の感染症対策委員会と青山顧問医師をもとに臨時の感染症委員会を実施
 - ・厚労省や東京都からの通達や感染状況を踏まえ、面会制限や委託業者の中止・制限、また新規入所や短期や入所に対し個室隔離を実施し、外部からのウイルスの持ち込みを防止する
 - ・職員の更衣、昼食の場所など配慮し各部署やフロア毎に濃厚接触者にならないように努める
 - ・その他感染状況に応じて感染対策の強化や緩和を適宜行う
 - ・あきる台病院の協力のもと、利用者への新型コロナウイルスワクチン接種を適宜実施

* 4F 8月 11月 3F 11月 2F 11月 新型コロナウイルスクラスター発生

抗新型コロナウイルス内服薬を投与し、軽快される。

また、インフルエンザ1名・ノロウイルス0名であったがインフルエンザ1名は同室者などへ感染拡大せず、抗インフルエンザ治療薬を投与し軽快される。

突発的な下痢や嘔吐、発熱などが見られる利用者に対しては一貫した対応を行うと同時に、速やかに医師へ報告し適切な治療を早期に実施することができた。

次年度も新型コロナウイルスや他の感染症における感染対策について、令和2年度にお亡くなりになった利用者様の分まで今回の教訓や経験、また風化しないよう、感染症の予防及び蔓延防止の為の知識・技術の向上を図り繋いで行く。

3 褥瘡を含む皮膚トラブルの予防

実施と内容

- ① 入所時より定期的に利用者のADL・栄養状態などを分析、評価し褥瘡形成リスクをアセスメントする。
- ② 褥瘡形成リスクが高い場合は、個別予防計画を立案し実施する。
- ③ オムツ着用に伴う皮膚の糜爛が見られる方へは、介護職員との連携を図りオムツ交換回数・時間・方法を検討する。
- ④ 保湿クリームや安定的な食事・水分摂取に努め、皮膚のバリア機能を維持する。
- ⑤ 介護職員が褥瘡予防に対して一貫した対応が図れる様、マニュアルを作成し指導にあたる。
- ⑥ 褥瘡形成が確認された場合、毎月開催される褥瘡予防委員会にて発生理由・箇所・今後の対応方法などについて報告・相談する。
- ⑦ 褥瘡予防や対応方法について外部講師を交えての研修会を実施し知識と技術の向上に努める。

実施内容①から⑦の結果年間褥瘡保有率は0.54%、褥瘡新規発生者3名、発生率は1.76%となった。

次年度以降も褥瘡発生率0%を目標に施設内において、一貫した予防策を展開していくことが必要。

2023年3月31日現在の医療処置対応者

胃瘻による経管栄養施行者 7名

在宅酸素使用者 2名

褥瘡処置者 0名

血糖測定者 0名

経口摂取困難による点滴施行者 2名（ターミナル者 4名）

9. リハビリテーション事業報告

(1) 総括

令和4年度リハビリテーションにおいて、利用者の身体・精神面の特性・変化を把握し、看護・介護・リハビリテーションの各セクションが一体となり、個々に合った安全で無理のない訓練を施行する事に重点を置いた。慢性疾患や障害を持つ利用者に対しても運動機能を正しく評価し、その体力や残存能力から生活の場で発揮できる能力の予測とともに日常生活への適応にも努めた。

また、スタッフの主観や経験から判断することなく、利用者が訴えている言葉・動作・行為のひとつひとつを注意深く観察し、精神的な高揚につながるようアプローチも合わせて行った。

(2) 実施事項

- ① 理学療法士による評価・プログラム作成
- ② 関節可動域訓練・マッサージ
- ③ 温熱療法
- ④ 筋力強化、起居・移乗・移動動作訓練
- ⑤ 廃用性の機能低下防止

(3) 結果

- ・関節可動域の維持拡大、姿勢調整 28名
- ・起居・移乗・移動動作能力の維持向上 21名
- ・疼痛の軽減 7名

以上の結果が得られた。関節可動域制限の維持・拡大を主とした利用者の増加によりベットサイドでの訓練が多くを占めた。車椅子・歩行器使用者で日々の起居・移乗・移動動作能力の維持・向上を目標とした利用者の訓練の施行。また、体調不良により訓練中止となった利用者においても他部署との連携により早期再開を進め、廃用性の機能低下防止にも努めた。例として、パーキンソン病の利用者で機

能面に関しては起居動作から移乗・移動動作また、食事摂取動作など生活動作全てに介助を要していた利用者において、関節可動域訓練、筋力強化訓練、起居・移乗動作訓練を集中的に施行した結果、手すりにての起居・起立動作、方向転換などが可能となり、軽介助での移乗・トイレ使用が可能となった。加えて上肢の関節可動域拡大、筋力増強から自己にての食事摂取が可能となるなど、機能回復から生活の質の向上に繋がった利用者。また、歩行器にて移動を行っていた利用者が、転倒により大腿部頸部骨折を受傷し、車椅子、オムツ使用を余儀なくされた利用者においては、マッサージによる疼痛の軽減、関節可動域訓練、筋力強化訓練、起立・立位バランス訓練を集中して施行した結果、一部介助での移乗動作・トイレ使用が可能となり、生活の質の向上により利用者から感謝の言葉も頂けた。

アルツハイマー型認知症進行により四肢・体幹の関節可動域制限、筋緊張の高い症状のある利用者に関しては、入浴・排泄・更衣介助の中で非常に難しいレベルにあり車椅子座位も姿勢不良が目立っていたが、継続した関節可動域訓練、姿勢調整を施行した結果、排泄・更衣介助の介助量が軽減した利用者もあり大きな成果が得られた。その他、利用者個々の身体状況に合った車椅子・リハビリテーション機器の選定及び整備とともに、個々に合った生活リハビリ、日常生活に適応した動作訓練を取り入れるなど、残存能力の活用とともに潜在的能力の開発にも努めた。

令和4年8月・11月においての感染症によるフロア閉鎖により活動制限から多くの利用者に廃用性の機能低下がみられた。離床時間の減少から関節可動域制限進行により座位姿勢の不良、排泄介助への影響、筋力低下から起居・移乗・移動動作能力の低下など様々な日常生活動作能力の低下が認められた。その問題に対し早急に全ての利用者に対しての評価、問題点の把握に努め理学療法、生活リハビリを施行した結果、四肢・体幹の関節可動域の維持・拡大、起居・移乗・移動動作能力の回復など、概ね機能回復に繋げることが出来たと思われる。

(4) 反省点

- ① 車椅子座位の姿勢不良により、仙骨部剥離、関節可動域制限進行に繋がる問題において、各フロアへ事例とともに説明を行うが同様のケースが再発するため、各フロアを含めケアカンファレンス、施設内研修会、褥瘡予防会議等にも周知徹底し再発防止に努める。

リハビリ実施報告表

月	R.O.Mマッサージ			温熱療法			起立・バランス・歩行			理学療法士による評価			
	実施 日数	対象 者数	実 施 人数	実施 日数	対象 者数	実施 人数	月	実施 日数	対象 者数	実施人 数	実施 日数	対象 者数	実施評 価人数
4	26	21	292	26	0	0	4	26	22	259	3	26	12
5	26	20	239	26	0	0	5	26	21	213	3	25	12
6	26	20	262	26	0	0	6	26	20	241	3	24	12
7	26	22	269	26	0	0	7	26	23	255	3	26	14
8	27	25	272	27	0	0	8	27	24	230	3	29	12
9	26	25	223	26	0	0	9	26	24	181	3	29	11
10	26	23	300	26	0	0	10	26	22	251	3	27	13
11	13	23	126	13	0	0	11	13	22	102	2	27	9
12	27	23	285	27	0	0	12	27	23	255	1	27	4
1	24	24	259	24	0	0	1	24	23	246	3	28	13
2	24	24	292	24	0	0	2	24	24	274	3	28	12
3	27	24	279	27	0	0	3	27	23	279	3	28	15
計	298	274	3098	298	0	0	計	298	271	2786	33	324	139

10. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

『法人の基本理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を柱とし、ご家族および 他職種との連携により、利用者様一人一人が健康で生きがいを持って過ごしていただけるように支援します。』を柱として下記の通り努めました。

I. 利用者様の生活支援

- ・新規入所に当たっては、入所前の情報収集・事前面接等により利用者の状態像の把握に努め、入所判定会議に諮ります。入所判定会議については、基本的に毎週1回の定期開催とし、顧問医師青山先生に同席いただき、関係各部署と情報の共有を図るとともに、受入れの可否及び受け入れにあたっての注意事項などの情報共有に努めています。前年度と同様に、コロナ禍の影響により、事前面接が制限される中で電話での情報収集を積極的に行い、また、事前にご家族様とも相談を重ね、入所される利用者様が、環境の変化

に戸惑うことなく施設での生活に移行できるように支援に努めています。

- ・入所後の利用者様の生活支援にあたっては、利用者一人一人に適した施設サービス計画書（ケアプラン）の作成と、ケアの提供、モニタリングを繰り返し、各部署からの専門的な意見を重ね、より充実した生活を送っていただけるよう努めています。加齢や様々な疾患により、ADLに変化がみられる場合は、医師をはじめ各部署からの意見をまとめ、ご家族とも情報を共有し、改めて計画書を作成し、状態に合わせたケアの提供に努めています。
- ・ご家族様と綿密なコミュニケーションを心がけ情報共有を図ることで、利用者様の支援を一緒に行っていくよう努めています。またご家族様の意見要望に対して真摯に向き合い、利用者ケアの質の向上につなげられるよう努力しています。
- ・看取り介護（終末期ケア）においては、利用者様本人及びご家族様の意向を尊重し、また不安や悲しみに寄り添い、最期まで安心して過ごしていただけるよう努力しています。ご家族様の方から、心のこもった感謝のお言葉を頂戴し、また今後のケアに活かしていけるようにと考えています。

II. ベッド稼働率

- ・各部署との連携を強化し入所利用者の体調管理に努め、ベッド稼働の安定に努めました。
- ・早期の情報収集・事前面接・入所判定等により、新規利用者のスムーズな入所に努めました。
- ・2022年度は、第7波（8月ピーク）が9月に4階フロアにて、11月に2階フロアと3階フロアにて新型コロナウイルスの発生があった事ともあったことから稼働率の回復に時間がかかった部分は否めないものの、年度後半から回復傾向となり、2023年度は99%代の稼働率でスタートすることが出来ました。

11. クラブ活動実績報告

① クラブ活動について

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、クラブ活動の自粛から、講師の先生方の引退などもあり、今年度は、年度当初から全てのクラブ活動を中止している。しかしながら、利用者の生活感や生きがいを見つけ出して行く為にも、クラブ活動の継続は必要であるとする。今後、新型コロナウイルス感染症の流行収束に合わせて、新しいクラブ活動の体制づくりに努めていく事で、利用者の健康や笑顔を引き出せるよう努めていく。

⑤ 講師及び担当職員一覧表

クラブ名	講師及びボランティア名		
茶 道	井上先生	書 道	石井先生
華 道	佐野先生	陶 芸	川口先生
水彩画	職員 室賀		
手 芸	未定		

茶道クラブ活動報告

活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当	筒井 幸子
【活動報告】							
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。							
2) 新型コロナウイルス収束後再び皆さんで楽しんでいただける様準備していきます。							
【月別活動報告】							
月	内 容			月	内 容		
4月	新型コロナウイルス感染予防の為中止			10月	新型コロナウイルス感染予防の為中止		
5月	〃			11月	〃		
6月	〃			12月	〃		
7月	〃			1月	〃		
8月	〃			2月	〃		
9月	〃			3月	〃		

手芸クラブ活動報告

活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：
【活動報告】						
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。						

書道クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：
【活動報告】						
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	活動中止			10月	活動中止	
5月	活動中止			11月	活動中止	
6月	活動中止			12月	活動中止	
7月	活動中止			1月	活動中止	
8月	活動中止			2月	活動中止	
9月	活動中止			3月	活動中止	

華道クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	担当：
【活動報告】						
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	新型コロナ予防対応でクラブ中止。			10月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	
5月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			11月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	
6月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			12月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	
7月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			1月	新型コロナ対応でクラブ中止	
8月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			2月	新型コロナ対応でクラブ中止	
9月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			3月	新型コロナ予防対応でクラブ中止。	

水彩画クラブ活動報告						
活動回数	9回	参加延人数	73名	平均参加人員	8名	担当：室賀 こそえ
【活動報告】 季節を感じて頂けるよう題材を選んだ。 新型コロナウイルスの影響により一部活動を中止した。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	やまぶき・ちゅうりっぷ			10月	りんどう・桔梗	
5月	カーネーション			11月	ポットマム・こすもす	
6月	紫陽花			12月	ポインセチア	
7月	ひまわり			1月	一時活動中止	
8月	ばら・百日紅			2月	一時活動中止	
9月	彼岸花・ばら			3月	一時活動中止	

陶芸クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人員	0名	講師：川口 由美子
【活動報告】 新型コロナの影響により活動中止。						

12. 年間行事実施報告

月日	行事名	内容
4月28日	観桜会	5階にて模擬店及び職員余興を楽しむ。
5月 日	日帰りドライブ	新型コロナウイルスの関係で中止。
7月29日	納涼盆踊り大会	5階ホールにて模擬店及び職員の踊りを楽しむ。
9月24日	敬老会	午前統括施設長来園にて表彰。祝い膳を楽しむ。
10月20日	文化祭	5階にて模擬店及び職員余興を楽しむ。
11月1日	焼き芋大会	各フロアにて焼き芋を楽しむ。
12月17日	クリスマス会	昼食行事食。午後は各フロアにてケーキを楽しむ
1月1日	元旦祝膳	昼食は各フロアにて祝膳を楽しむ。午後は手作り神社へ初詣。
2月1日	節分祭	各フロアにて豆まきを実施。
3月3日	ひな祭り	昼食各フロアにて祝膳を楽しむ。余興はフロア毎に実施。

13. 固定資産物品購入・入替 報告

ファンコイル・エアコン入替 6式 全館送風機・換気扇入替工事
 非常用放送設備交換工事 送迎車両入替 1台 訪問車輛導入 1台
 屋上クリーニングタワー入替工事 ブレンダー・ロボクープ厨房機器入替
 行事用ポータルPA入替 全館電話交換工事 勤務打刻機増設
 簡易陰圧装置導入 10式 ノートPC増設・入替 3台 ガス給湯器入替工事
 通信カラオケ入替 地域包括支援センター事務所開設備品 電動自転車 2台

14. 事故報告. ヒヤリ・ハット報告

2階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折		1			1								2
転倒	3			2	2	2			3	1	2	2	17
転落(ベッド)			1	1	1								3
転落(車椅子・椅子)	1				1		2				2		6
ずり落ち(移乗失敗)	4									2	1		7
剥離・裂傷		3	4	2	3	2			2		1		17
内出血	13	8	7	8	4	7	6	5	1	2	13	5	79
誤嚥													0
異食(誤食)	2	1		1						1		1	6
尻もち		1		2		1					3	1	7
徘徊(施設外発見)													0
徘徊(施設内発見)													0
服薬ミス	5	2			1								8
その他													
合計	28	44	12	16	13	12	8	5	6	6	22	9	144
2階	ヒヤリハット						89件						

3階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折													0
転倒	2						1						3
転落(ベッド)		1							1		1		3
転落(車椅子・椅子)	1								1				2
ずり落ち(移乗失敗)									2	2	1		5
剥離・裂傷	1			1	1	2		2				3	10
内出血		5	7	5	4	2	11	1	2	5	5	9	56
誤嚥													
異食(誤食)										2			2
尻もち	4		2		1	1	3	1	1			4	17
徘徊(施設外発見)													
徘徊(施設内発見)													
服薬ミス		1											1
その他		2	1	1	2		2		1	1		1	11
合計	8	9	10	7	8	5	17	4	8	9	7	17	110
3階	ヒヤリハット						103件						

4階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折							1		1				2
転倒	1		2	3	1		2	2	5	9	2	1	28
転落（ベッド）			3	3	1	1	3	3			3		17
転落（車椅子・椅子）				1	1		1						3
ずり落ち（移乗失敗）	4	1	1	1			2	1			2	1	13
剥離・裂傷							1					1	2
内出血	9	6	11	6	7	4	17	7	3	10	16	10	106
誤嚥									1				1
異食（誤食）													
尻もち	1	1	1	1	1	4		3	3	10	3		28
徘徊（施設外発見）													
徘徊（施設内発見）								3					3
服薬ミス		3	1	1	1		1	2	1				10
その他			2	3	6		1	2	1	2			17
合計	15	11	21	19	18	9	29	23	15	31	26	13	230
4階	ヒヤリハット						180件						

15. 職員研修報告

【外部研修】

研修・出張内容	参加者
虐待対応研修	中川祥子
介護支援専門員専門研修課程	大谷・福島由美・井上守之・野元・鈴木敦子
地域包括支援センター職員研修	勝田幸恵
高齢者権利擁護研修	勝田幸恵 中川祥子
LIFEを学ぶ	新橋和枝
感染症指導者養成研修	小椋 潤
地域包括支援センター職員研修	中川祥子
高齢者虐待防止研修	新橋和枝
安全運転管理者講習	古谷康司
西多摩地区地域包括支援センター職種別連絡会	木下とも子
主任介護支援専門員更新研修	中川 祥子 小泉 宏登
防災管理者講習	出本 栄二
栄養管理講習会	水口恵子

【内部研修】

回	月 日	内 容	人数	講師	主 催
1	4月13日	アルコール手指消毒/呼吸筋	20	青山顧問医師	衛生委員会
2	4月18日	スタンダードプリコーション(感染症)	63	研修委員	実習研修推進委員会
3	5月16日	コロナワクチンと副反応	18	青山顧問医師	衛生委員会
4	5月26日	体交換 (褥瘡)	11	リハビリ主任	実習研修推進委員会
5	6月8日	食中毒 / 腰痛予防	20	青山医師	衛生委員会
6	6月10日	排泄ケアとスキントラブル予防(褥瘡)	9	2F 感染委員(フロア研修)	2F 研修委員
7	6月28日	ACP ～人生会議～(看取り)	35	川崎英夫氏	実習研修推進委員会
8	7月13日	オミクロン / 自律神経	20	青山顧問医師	2F 研修委員
9	7月28日	認知症 / ストレス / 接遇 / 倫理	資料	研修委員	実習研修推進委員会
10	8月25日	身体拘束 / 虐待	資料	研修委員	実習研修推進委員会
11	9月20日	おむつの当て方検証Ⅰ (褥瘡)	6	(株)リブドゥ	実習研修推進委員会
12	10月12日	インフルエンザ/幸せになる方法	21	青山顧問医師	衛生委員会
13	10月18日	グリーフサポート(看取り)	16	セレモア職員	実習研修推進委員会
14	11月9日	変異ウイルス / 換気 / 血糖負債	22	青山顧問医師	衛生委員会
15	11月15日	危険予知トレーニング(事故防止)	資料	研修委員	実習研修推進委員会
16	12月14日	身体拘束 / 虐待	22	佐々木施設長	実習研修推進委員会
17	12月18日	排泄に関する課題検証Ⅱ (褥瘡)	9	(株)リブドゥ	実習研修推進委員会
18	12月28日	コロナ抗体陽性率/冬の水分補給	23	青山顧問医師	衛生委員会
19	1月4、24日	嘔吐物の処理(感染症)	17	感染委員、研修委員	実習研修推進委員会
20	1月11日	コロナが感染しにくい温度/ストレス	18	青山顧問医師	衛生委員会
21	1月18日	記録	資料	研修委員	実習研修推進委員会
22	1月25日	嘔吐物の処理(2F)	16	感染委員、研修委員	実習研修推進委員会
23	2月8日	食生活 / コロナとインフルエンザ	20	青山顧問医師	衛生委員会
24	2月12日	嘔吐物の処理(3F)	13	感染委員、研修委員	実習研修推進委員会
25	2月21日	失語症/事故防止(認知症・事故防止)	資料	研修委員	実習研修推進委員会
26	3月8日	マスクの着用とワクチン	25	青山顧問医師	衛生委員会
27	3月21日	緊急時の対応 (AED)加美町会参加	26	福生消防署	実習研修推進委員会

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの新しい情報を衛生委員会の協力を仰ぎながら、迅速に取り入れることにより、職員や外部講師が交わる研修会に於いても状況に応じた感染予防対策の整備に努めることが出来た。また、施設内及び職員家族等の感染状況により集合型の研修が困難と判断した際も迅速に資料を配布し個人学習に努めた。

地域住民参加型研修では、感染症予防対策を掲げながらのチーム演習が実施できたことで、より深い交流にも繋げることが出来た。

感染症ばかりにとらわれずフロア毎に現状の利用者ケアを見つめ、課題に沿った研修を実施。特に時間外での研修会ではより多くの参加者を集い、専門家からの学に心打たれた職員の声が多く聞かれた。

16. ボランティア受入の状況

月	日	曜日	行事名	人数	業務内容	依頼先
4	14	木	介護補助	1	下膳、食器洗い等	個人
6	10	金	介護補助	1	下膳、食器洗い等	個人
6	28	火	介護補助	1	下膳、食器洗い等	個人
10	20	土	文化祭	1	配膳、下膳、片付け等	個人
12	21	水	介護補助	1	下膳、食器洗い等	個人
	22	木	介護補助	1	下膳、食器洗い等	個人
	23	金	介護補助	1	下膳、食器洗い等	個人
1	5	木	福祉車両業務補助	1	福祉車両操作、同乗	個人
	14	土	福祉車両業務補助	1	福祉車両操作、同乗	個人
2	1	水	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
	2	木	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
	3	金	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
	6	月	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
	7	火	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
	8	水	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
	9	木	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
	10	金	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
	13	月	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
	14	火	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
	15	水	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
	16	木	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
	17	金	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
	17	金	介護補助	1	下膳、食器洗い等	個人
	17	金	介護補助	1	下膳、食器洗い等	個人
	18	土	介護補助	1	下膳、食器洗い等	個人
	18	土	介護補助	1	下膳、食器洗い等	個人
	20	月	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
	21	火	洗濯場補助	1	洗濯たたみ等	個人
3	9	木	介護補助	1	下膳、食器洗い等	個人
	10	金	園外清掃	5	草むしり、掃き掃除等	FC GONA
	11	土	園外清掃	5	草むしり、掃き掃除等	FC GONA
	12	日	園外清掃	5	草むしり、掃き掃除等	FC GONA
	19	日	園外清掃	5	草むしり、掃き掃除等	FC GONA
	20	月	園外清掃	5	草むしり、掃き掃除等	FC GONA
	21	火	園外清掃	5	草むしり、掃き掃除等	FC GONA
	22	水	園外清掃	5	草むしり、掃き掃除等	FC GONA
	23	木	車椅子掃除	3	利用者車いす掃除	福生高校定時制ボランティア
	23	木	園外清掃	5	草むしり、掃き掃除等	FC GONA
	24	金	園外清掃	5	草むしり、掃き掃除等	FC GONA
	25	土	園外清掃	5	草むしり、掃き掃除等	FC GONA
	27	月	園外清掃	8	草むしり、掃き掃除等	FC GONA
	28	火	園外清掃	5	草むしり、掃き掃除等	FC GONA
	29	水	園外清掃	5	草むしり、掃き掃除等	FC GONA
	30	木	園外清掃	5	草むしり、掃き掃除等	FC GONA
	31	金	園外清掃	10	草むしり、掃き掃除等	FC GONA

17. 慰問受入状況

※ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染予防策として受け入れ中止。

月 日	慰問者名	人数	行事名等	内 容

18. 実習生及び職場体験生徒受入状況

月	期 間	実習依頼先	人 数	実習内容及び目的
R4. 5月	5/16 .. 5/17	東京西の森 歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
"	5/23 . 5/24	"	2	"
"	5/30 . 5/31	"	2	"
"	5/30~6/10(10日)	東京福祉大学	1	社会福祉
R4. 6月	6/6 . 6/7	"	2	"
"	6/13 . 6/14	"	2	"
"	6/20 . 6/21	"	2	"
R4. 8月	8/1~8/19(5日)	多摩リハビリテーション学院専門学校	2	介護福祉 1-I
"	8/15~9/22(23日)	武蔵野大学	1	社会福祉
"	8/1~9/8(23日)	東海大大学	1	社会福祉
R4.10月	10/4~1/31(30日)	東京福祉大学	1	社会福祉
R5. 1月	1/30~2/9(9日)	多摩リハビリテーション学院専門学校	2	介護福祉 1-III

19. 消防訓練実施結果

令和4年度は、新型コロナの影響によって訓練実施が厳しい状況であった。しかし福生市との協定による避難訓練が継続的に実施できた事は良かったと思われる。そうしたことで、施設全体に防災の意識付けが出来た。

令和4年度訓練内容

日 時	訓練種別	内 容
4 月	新型コロナ の為中止	
5 月 5 日	防火管理 委員会	避難確保計画についての説明及び協議。
6 月	新型コロナ の為中止	
7 月	消防審査会 説明会	新型コロナの為中止
8 月	消防審査会 参加訓練	新型コロナの為中止
9 月	新型コロナ の為中止	
10 月 18 日	総合訓練	自衛消防訓練効果確認。
11 月	新型コロナ の為中止	
12 月	新型コロナ の為中止	
1 月	新型コロナ の為中止	
2 月	新型コロナ の為中止	
3 月 21 日	総合訓練	加美町会との合同訓練として、消防署署員に来園並びに指導して頂き AED 実施体験訓練を行う。
3 月 24 日	避難訓練	首都直下地震が発生した想定で福生市との協定により当施設が福祉避難所に指定されている為、福生市と第2サンシャインビラ合同でパーテーション及び段ボールベットの設置訓練を実施しました。

20. ショートステイ事業報告

令和4年度は稼働率85%（13.6名/日）という目標を立てて運営努力した。

この目標に対し、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、年間稼働実績は60.59%（9.7名/日）という結果であった。令和5年3月からは、利用者数が順調に回復してきており、利用者獲得に向けさらに努力していきたい。

令和5年度も引き続き、稼働率85.0%、13.6名/日の目標設定をし、稼働率の安定と向上に努めたい。

人件費・直接介護支出・一般管理支出・施設管理費用は併設特養と按分しています。

【令和4年度ショートステイ事業活動実績報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	Total
利用者数	14	17	17	19	18	18	19	13	11	11	14	14	185
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	0	0	0	1	1	1	2	2	3	1	1	1	13
要介護度2	1	2	3	2	1	1	1	1	1	1	1	0	15
要介護度3	8	7	6	6	5	6	6	5	3	5	8	8	73
要介護度4	4	5	3	4	5	5	4	1	2	2	3	4	42
要介護度5	1	3	5	6	6	5	6	4	2	2	1	1	42
延利用日数	276	373	353	412	439	398	233	180	122	205	233	310	3,534
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	0	0	0	4	19	3	4	49	4	3	3	3	92
要介護度2	10	22	9	40	11	12	12	5	9	10	8	0	148
要介護度3	133	171	145	118	155	167	105	41	62	125	124	165	1511
要介護度4	103	115	90	91	105	97	63	17	12	23	70	111	897
要介護度5	30	65	109	159	149	119	49	68	35	44	28	31	886
平均ベッド稼働数	9.20	12.03	11.77	13.29	14.16	13.27	7.52	6.00	3.94	6.61	8.32	10.00	年平均 9.68

【ショートステイ利用日数状況調査（年間）】

	1日～2日	3日～5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	合計
4月	1	1	2	0	3	7	14
5月	0	1	2	2	2	10	17
6月	2	2	0	2	0	11	17
7月	0	1	3	1	3	10	18
8月	0	1	1	1	3	12	18
9月	0	3	0	3	1	11	18
10月	3	2	4	3	5	2	19
11月	1	2	2	3	3	2	13
12月	0	7	4	0	1	2	14
1月	1	2	1	1	1	5	11
2月	1	1	2	4	1	5	14
3月	1	1	1	1	2	8	14
合計	10	24	22	21	25	85	187
	5.3%	12.8%	11.8%	11.2%	13.4%	45.5%	100.0%

*前月から引き続いて入所されている場合は、入所月にカウントしています。

2022 年度

通所介護事業

(併設型通所介護事業)

(総合事業通所介護事業)

(高齢者生きがい活動支援デイサービス)

事業報告書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅サービスセンター加美

・通所事業（併設型通所介護事業・総合事業）

事業報告

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することを目指して活動してまいりました。

上半期は昨年を上回る利用者数で推移していましたが、下半期に入ると施設へ入所する利用者が増えた事もあり、利用率が下がってしまいました。年明けからは利用者が徐々に回復し、年間を通すと昨年度とほぼ同じ1日28人平均の利用状況となりました。

今年度は感染症の流行が少し落ち着いた事もあり、実習生の受け入れを再開し、5月と6月では東京西の森歯科衛生士専門学校から計12名を12日間、8月では多摩リハビリテーション学院専門学校から外国人を含む計3名を10日間の日程で実習を実施しました。実習生は皆とても積極的に利用者への声掛けを行っていた事もあり、利用者も大変喜んでおり、センター運営にとっても、とても大きな刺激となりました。

【事業計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができたが、目標の平均利用者数には届かず昨年度とほぼ同じ平均利用者数となった。引き続き利用者数増に向けて取り組んでいくものとする。

・職員配置（3月31日現在）

併設型通所介護 総合事業

職種	常勤		非常勤	
	人数	専任・兼務状況	人数	専任・兼務状況
管理者	1人	他事業を兼務		
生活相談員	2人	内1人は介護職兼務	2人	介護職を兼務
介護職員	2人	内1人は生活相談員兼務	13人	内2人は生活相談員兼務
看護職員	0人		3人	機能訓練指導員を兼務
機能訓練指導員	0人		3人	看護職員を兼務
調理員	必要数			
運転手	必要数		必要数	全利用日送迎時間帯に勤務
事務職員	1人	他事業を兼務		

併設型通所介護事業 月別延べ利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	584	628	642	699	676	670	694	702	725	615	589	673	7,897
今年度	710	699	697	677	712	696	705	665	645	604	629	730	8,169
要介護1	273	279	295	286	287	281	265	248	249	223	241	267	3,194
要介護2	166	154	164	151	182	177	187	193	180	172	193	187	2,106
要介護3	188	186	183	179	180	177	190	165	162	155	153	194	2,112
要介護4	44	47	44	41	42	43	46	41	36	28	22	59	493
要介護5	39	33	11	20	21	18	17	18	18	26	20	23	264
今年度-前年度	126	71	55	-22	36	26	11	-37	-80	-11	40	57	272

併設型通所介護 一日平均利用者数

単位：

人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
平均利用者数 ① ÷ ②	27.31	26.88	26.81	26.04	26.37	26.77	27.12	25.58	23.89	25.17	26.21	27.04	26.27
延べ利用者数 ①	710	699	697	677	712	696	705	665	645	604	629	730	8,169
開所日数 ②	26	26	26	26	27	26	26	26	27	24	24	27	311

日常生活支援総合事業 月別延べ利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	54	53	53	61	63	61	61	62	55	45	40	40	498
今年度	30	36	34	36	36	36	31	22	21	20	20	21	313
要支援 1	3	4	5	6	4	4	1	3	0	0	0	0	27
要支援 2	27	32	29	30	32	32	30	19	21	20	20	21	286
今年度-前年度	-24	-17	-19	-25	-27	-25	-30	-40	-34	-25	-20	-19	-185

日常生活支援総合事業 一日平均利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
平均利用者数 ① ÷ ②	1.15	1.38	1.31	1.38	1.33	1.38	1.19	0.85	0.78	0.83	0.83	0.78	1.10
延べ利用者数 ①	30	36	34	36	36	36	31	22	21	20	20	21	343
開所日数 ③	26	26	26	26	27	26	26	26	27	24	24	27	311

研修報告

東京都社会福祉協議会開催の研修、施設内研修等の参加を推進し介護職員のスキル向上を目指した。

研修実施記録については第2サンシャインビラ事業報告書を参照のこと。

【施設設備改善及び備品購入報告について】

- ① 物品購入実績 送迎車両1台入替
- ② 施設における共通経費は併設第2サンシャインビラと按分

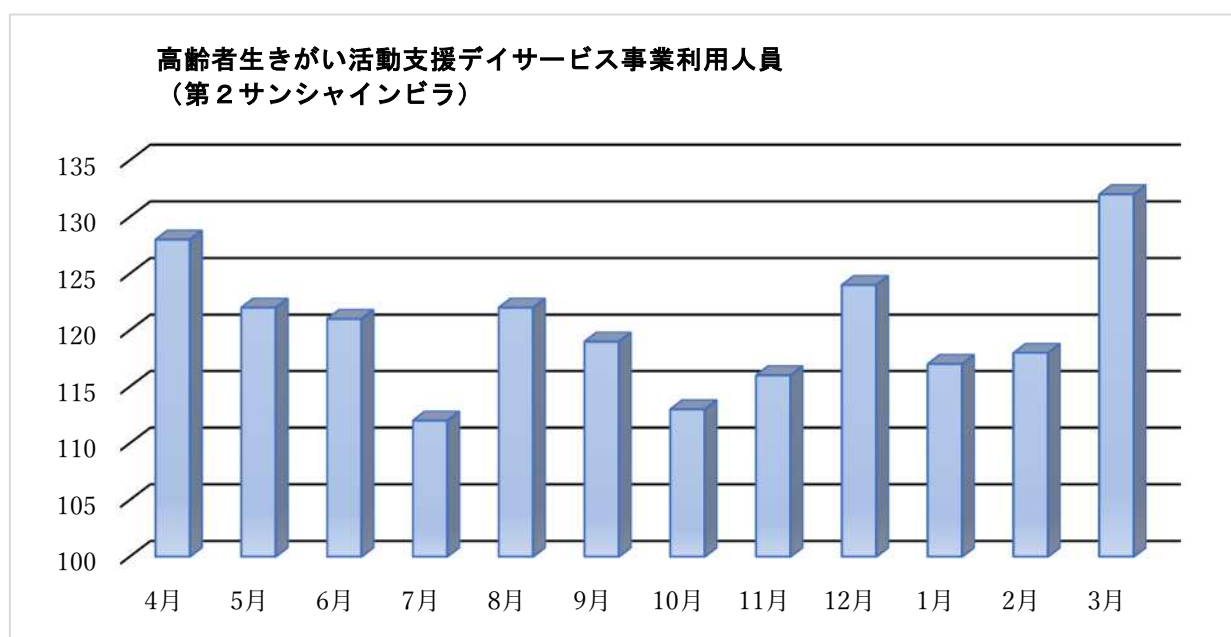
【高齢者生きがい活動支援デイサービス 事業報告】

福生市からの委託事業で、おおむね65歳以上の自立の高齢者を対象に、生きがいづくりや心身機能の維持向上、介護予防及び閉じこもり防止を目的として事業活動を行った。なお利用者数は前年対比で8.7%増、1ヶ月平均9人程の増加となった。

高齢者生きがい活動支援デイサービス延べ利用人員実績簿(第2サンシャインピラ)

単位：人

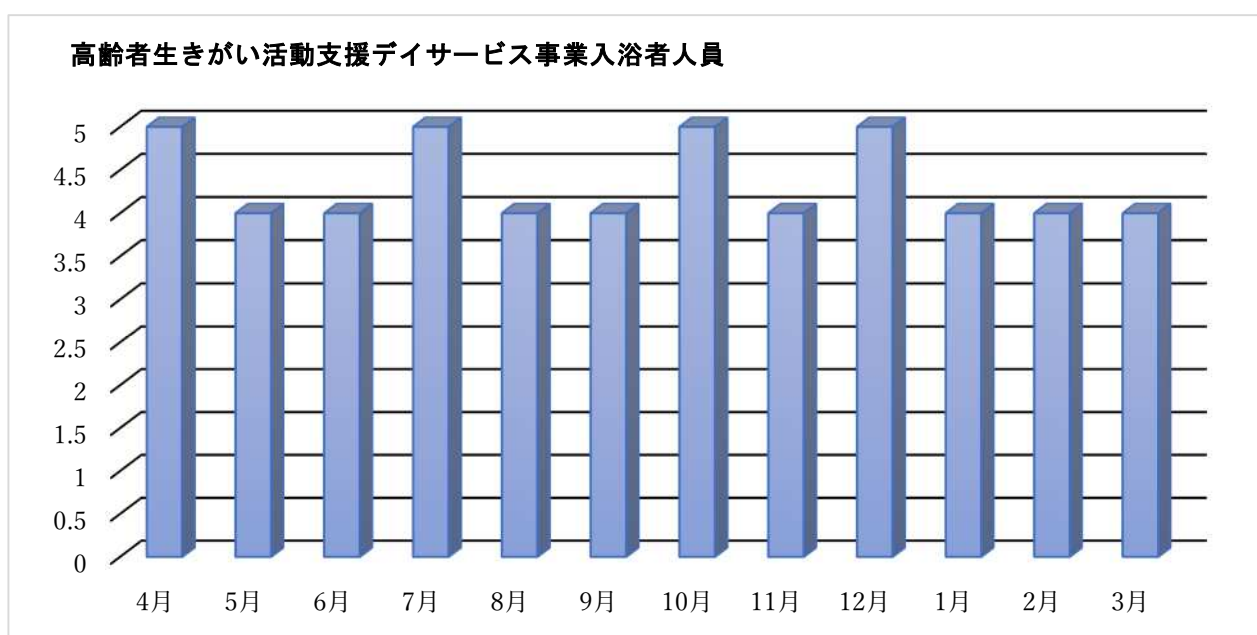
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	128	122	121	112	122	119	113	116	124	117	118	132	1,444



高齢者生きがい活動支援デイサービス入浴サービス(一般浴)延べ利用人員実績簿

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	5	4	4	5	4	4	5	4	5	4	4	4	52



ふれあい

令和4年 4月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
	春				1日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ カーリング	2日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み みんなで歌おう
3日	4日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 大砲玉入れ ドライブ	5日 数えてペグ挿し 魚釣りゲーム	6日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ゆらゆら傘 ドライブ	7日 ひまわり美容室 お手玉積み上げ 椅子玉乗せ ドライブ	8日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み CDカーリング ドライブ	9日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム みんなで歌おう
10日	11日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 後ろ向き玉入れ	12日 割りばしゲーム ピンポンゲーム 理髪の日	13日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し 大砲玉入れ	14日 輪投げピンゴ ゆらゆら傘	15日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム 椅子玉乗せ 水彩画	16日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム みんなで歌おう
17日	18日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム CDカーリング	19日 ロボお手玉 ペットボトル起こし 	20日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 魚釣りゲーム	21日 数えてペグ挿し 後ろ向き玉入れ 書道 誕生食	22日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ ピンポンゲーム 移動美容室 誕生食	23日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ みんなで歌おう 誕生食
24日	25日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ピンポンゲーム	26日 紙皿グラグラゲーム カーリング	27日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 後ろ向き玉入れ	28日 割りばしゲーム 親桜会	29日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し ペットボトル起こし	30日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ みんなで歌おう

卯月…春眠暁を覚えずと申します通り、心地よい季節になりました。

暖かい日が続きます☀️ 少しずつ身体を動かしていきましょう！！

★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。

★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。

★ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。

★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。

★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい 令和4年 5月 の予定
 在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ペットボトルボーリング	★5月3日★ 憲法記念日 ヤクルト山積み ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ピンポンゲーム みどりの日	田植えゲーム 後ろ向き玉入れ	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) 紙血グラグラゲーム みんなで歌おう
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 大砲玉入れ	数えてベグ挿し 椅子玉寄せ	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム CDカーリング	ヤクルト山積み ペットボトル起こし ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ スカット玉入れ	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム みんなで歌おう
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ カーリングゲーム	紙血グラグラゲーム 大砲ボーリング 理髪の日	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ペットボトルボーリング	数えてベグ挿し ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ピンポンゲーム 水彩画	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み みんなで歌おう
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 後ろ向き玉入れ 誕生食	田植えゲーム 魚釣りゲーム 誕生食	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 大砲玉入れ 誕生食	紙血グラグラゲーム 椅子玉寄せ 書道	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 CDカーリング 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し みんなで歌おう
29日	30日	31日	Mother's Day お母さん いつもありがとう 			
	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ペットボトル起こし	割りばしゲーム スカット玉入れ				

臯月
 八十八夜も過ぎ、いつの間にか夏が近づいてまいりました。

- ★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 新型コロナウイルス予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい

令和4年 6月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土	
			1日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ペットボトルボーリング	2日 ヤクルト山積み ゆらゆら傘	3日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ピンポンゲーム	4日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム みんなで歌おう	
5日		6日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 後ろ向き玉入れ	7日 紙皿グラグラゲーム 魚釣りゲーム	8日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 大砲玉入れ	9日 数えてペグ挿し 椅子玉寄せ ひまわり美容室	10日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム CDカーリング	11日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み みんなで歌おう
12日		13日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ペットボトル起こし	14日 田植えゲーム スカット玉入れ	15日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ カーリングゲーム	16日 紙皿グラグラゲーム 大砲ボーリング	17日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ペットボトルボーリング 水彩画	18日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し みんなで歌おう
19日		20日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ゆらゆら傘	21日 輪投げビンゴ ピンポンゲーム	22日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 後ろ向き玉入れ	23日 お手玉積み上げ 魚釣りゲーム 書道 誕生食	24日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム 大砲玉入れ 移動美容室 誕生食	25日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 みんなで歌おう 誕生食
26日	27日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し 椅子玉寄せ	28日 割りばしゲーム CDカーリング	29日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ペットボトル起こし	30日 輪投げビンゴ スカット玉入れ			

水無月

さわやかな初夏の季節となりました。



- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落したり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

ふれあい 令和4年 7月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
					1日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ゆらゆら傘	2日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み みんなで歌おう
3日	4日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ピンポンゲーム 書道	5日 田植えゲーム 後ろ向き玉入れ	6日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 魚釣りゲーム	7日 紙皿グラグラゲーム 七夕遊び	8日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 椅子玉寄せ	9日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し みんなで歌おう
10日	11日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム CDカーリング	12日 ヤクルト山積み ペットボトル起こし	13日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ スカット玉入れ	14日 田植えゲーム カーリングゲーム ひまわり美容室	15日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 大砲ボーリング 水彩画	16日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム みんなで歌おう
17日	18日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ペットボトルボーリング	19日 数えてペグ挿し ゆらゆら傘	20日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ピンポンゲーム	21日 ヤクルト山積み 後ろ向き玉入れ	22日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 魚釣りゲーム 移動美容室	23日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム みんなで歌おう
24日	25日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 大砲玉入れ 誕生日食	26日 紙皿グラグラゲーム 椅子玉寄せ 誕生日食	27日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 CDカーリング 誕生日食	28日 数えてペグ挿し ペットボトル起こし 書道	29日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 納涼盆踊り大会	30日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み みんなで歌おう
31日						

文月 いよいよ盛夏の季節になりました。
こまめに水分補給をして、暑い夏を乗り越えて行きましょう！！

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生日食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい

令和4年 8月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
	1日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ピンポンゲーム	2日 ヤクルト山積み みんなで歌おう	3日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ 後ろ向き玉入れ	4日 田植えゲーム 魚釣りゲーム ひまわり美容室	5日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 椅子玉寄せ	6日 展望風呂 (午前・午後) 紙血グラグラグゲーム CDカーリング
7日	8日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 みんなで歌おう 書道	9日 教えてベグ挿し ペットボトル起こし	10日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム スカット玉入れ	11日 ヤクルト山積み カーリングゲーム ドライブ	12日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ 大砲ボーリング ドライブ	13日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム ペットボトルボーリング ドライブ
14日	15日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ゆらゆら傘	16日 ヤクルト山積み 後ろ向き玉入れ	17日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ カーリングゲーム	18日 田植えゲーム ピンポンゲーム	19日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ みんなで歌おう 水彩画	20日 展望風呂 (午前・午後) 紙血グラグラグゲーム 魚釣りゲーム
21日	22日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 大砲玉入れ	23日 紙血グラグラグゲーム 椅子玉寄せ	24日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 CDカーリング	25日 教えてベグ挿し みんなで歌おう 書道 誕生食	26日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ペットボトル起こし 移動美容室 誕生食	27日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み スカット玉入れ 誕生食
28日	29日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ カーリングゲーム	30日 田植えゲーム 大砲ボーリング	31日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ みんなで歌おう	 <p>熱中症に注意しよう</p>		

葉月 暑い日が続きますが

熱中症やコロナに気を付けてご自愛下さい。

- ★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落したり汚れた場合、交換が出来ます。
- ★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

ふれあい

令和4年 9月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736



日	月	火	水	木	金	土
				1日	2日	3日
				紙皿グラグラゲーム 椅子玉乗せ	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み CDカーリング	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム ペットボトル起こし
4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ スカット玉入れ		展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し 大砲ボーリング	割りばしゲーム ペットボトルボーリング ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 後ろ向き玉入れ
11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム みんなで歌おう 書道	紙皿グラグラゲーム ピンポンゲーム	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み 魚釣りゲーム	串刺しゲーム 大砲玉入れ	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 椅子玉乗せ 水彩画	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 CDカーリング
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
	展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し ペットボトル起こし 敬老の日	割りばしゲーム スカット玉入れ	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 敬老会行事	輪投げビンゴ みんなで歌おう 書道	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 大砲ボーリング 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム ペットボトルボーリング
25日	26日	27日	28日	29日	30日	
	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み ゆらゆら傘 誕生食	串刺しゲーム 後ろ向き玉入れ 誕生食	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ ピンポンゲーム 誕生食	ロボお手玉 魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し 大砲玉入れ	

長月 天高く馬肥ゆる秋と申しますように、すがすがしい実りの季節を迎えております。

季節の変わり目は朝晩の寒暖差が大きい時期です。

しっかり睡眠や食事を摂り、軽い運動を行いながら身体を温めましょう。



☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。

☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。

☆ 新型コロナウイルス予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えてあります使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。

☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし汚れた場合、交換が出来ます。

☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



食欲の秋

ふれあい 令和4年 10月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
						1日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム CDカーリング
2日	3日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み ペットボトル起こし	4日 串刺しゲーム スカット玉入れ	5日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ カーリングゲーム	6日 ロボお手玉 大砲ボーリング	7日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し ペットボトルボーリング	8日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ゆらゆら傘
9日	10日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み みんなで歌おう スポーツの日 書道	11日 輪投げピンゴ 後ろ向き玉入れ	12日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム ビンポンゲーム	13日 紙皿グラグラゲーム 魚釣りゲーム ひまわり美容室	14日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み 大砲玉入れ	15日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム 椅子玉寄せ
16日	17日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ CDカーリング	18日 ロボお手玉 ペットボトル起こし	19日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し スカット玉入れ	20日 割りばしゲーム カーリングゲーム 文化祭	21日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み みんなで歌おう 水彩画	22日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ 大砲ボーリング
23日	24日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム ペットボトルボーリング	25日 紙皿グラグラゲーム ゆらゆら傘	26日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み 後ろ向き玉入れ	27日 串刺しゲーム みんなで歌おう 書道 誕生食	28日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 魚釣りゲーム 移動美容室 誕生食	29日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 大砲玉入れ 誕生食
30日	31日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し 椅子玉寄せ	スポーツの日 				

神無月 虫の音が鳴き通す秋の夜長の候となりました。

季節や体調に合わせた食生活を考える。旬の物を食べるのが最も理にかなっています。難しく考えず、まずは旬の物を知り、旬の時期に積極的に食べるようにしてみましょう。



- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元のお菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えてあります使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい

令和4年 11月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土	
		1日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み スカット玉入れ	2日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム カーリングゲーム	3日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 大砲ボーリング	4日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ペットボトルボーリング	5日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し ゆらゆら傘	
	6日	7日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 後ろ向き玉入れ	8日 ヤクルト山積み ピンポンゲーム	9日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ 魚釣りゲーム	10日 田植えゲーム 椅子玉乗せ ひまわり美容室	11日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム CDカーリング 水彩画	12日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み ペットボトル起こし
	13日	14日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム スカット玉入れ 書道	15日 お手玉積み上げ カーリングゲーム	16日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 大砲ボーリング	17日 数えてペグ挿し ペットボトルボーリング ドライブ	18日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム みんなで歌おう ドライブ	19日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 後ろ向き玉入れ ドライブ
20日	21日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ ゆらゆら傘	22日 田植えゲーム 魚釣りゲーム	23日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム 椅子玉乗せ	24日 タオル山積み CDカーリング 書道	25日 展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム ペットボトル起こし 移動美容室	26日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ ピンポンゲーム	
27日	28日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 魚釣りゲーム 誕生食	29日 数えてペグ挿し 椅子玉乗せ 誕生食	30日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム CDカーリング 誕生食				

霜月 秋も深まり、そろそろ暖房が恋しい季節となりました。

コロナウイルス以外にも

風邪症状、腸炎症状があればインフルエンザやノロウイルスを疑ってまずは受診をしましょう！！

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

ふれあい！ 令和4年 12月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
				1日	2日	3日
				ヤクルト山積み コップ投げゲーム	展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
	展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム ペットボトル起こし 書道	タオル山積み スカット玉入れ	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム カーリングゲーム	お手玉積み上げ 大砲ボーリング ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ペットボトルボーリング	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し 後ろ向き玉入れ
11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム みんなで歌おう	ヤクルト山積み ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ 魚釣りゲーム	田植えゲーム Xmas会 &お誕生日	展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム Xmas会 &お誕生日	展望風呂 (午前・午後) タオル山積み Xmas会 &お誕生日
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム コップ投げゲーム	お手玉積み上げ 椅子玉乗せ	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 CDカーリング	数えてペグ挿し みんなで歌おう	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ペットボトル起こし 水彩画 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み スカット玉入れ
25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ カーリングゲーム	田植えゲーム 大砲ボーリング	展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム ペットボトルボーリング	タオル山積み 後ろ向き玉入れ 書道	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 魚釣りゲーム

師走 いよいよ本格的な冬将軍の到来です。
 日頃の感染予防対策を継続しながら、こまめな水分補給と栄養たっぷりの食事睡眠、軽い運動を行いながら新しい年をお迎え下さい。

年明けは4日(水)から開所します。



- ★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 新型コロナウイルス予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし汚れた場合、交換が出来ます。
- ★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



ふれあい 令和5年 1月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
			展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 コップ投げゲーム	数えてペグ挿し お正月遊び	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 椅子玉乗せ	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み CDカーリング
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
	展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ ペットボトル起こし 書道	田植えゲーム スカット玉入れ	展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム カーリングゲーム	タオル山積み みんなで歌おう 水彩画 ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム 大砲ボーリング	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 後ろ向き玉入れ
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ペットボトルボーリング	数えてペグ挿し 魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ゆらゆら傘	ヤクルト山積み 椅子玉乗せ 書道	展望風呂 (午前・午後) 輪投げピンゴ コップ投げゲーム	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム ペットボトル起こし
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
	展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム CDカーリング 誕生食	タオル山積み 椅子玉乗せ 誕生食	展望風呂 (午前・午後) 串刺しゲーム ペットボトル起こし 誕生食	お手玉積み上げ スカット玉入れ	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 みんなで歌おう 水彩画 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し カーリングゲーム
29日	30日	31日	新年あけましておめでとうございます。 今年も宜しくお願い致します。 			
	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 大砲ボーリング	ヤクルト山積み 後ろ向き玉入れ				

手足の冷えは抹消まで温まりにくいことが特徴です。室温の管理だけでなく、入浴で体を温め血行を良くする、適度に日光を浴びて自律神経を整える、栄養のある食事を摂り熱の生産量を上げる、運動をして体を温めるなど普段の生活から対策していくことが重要です。

- 1/1～1/3までデイサービスはお休みです。
- ★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
 - ★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
 - ★ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
 - ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをパックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
 - ★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

ふれあい!

令和5年 2月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

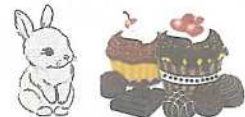


日	月	火	水	木	金	土			
			1日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し 椅子玉乗せ	2日 割りばしゲーム CDカーリング	3日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 節分行事	4日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ スカット玉入れ			
			5日	6日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム カーリングゲーム	7日 紙皿グラグラゲーム 大砲ボーリング	8日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み 後ろ向き玉入れ	9日 串刺しゲーム ペットボトルボーリング ひまわり美容室	10日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 魚釣りゲーム	11日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ゆらゆら傘
			12日	13日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し 椅子玉乗せ	14日 割りばしゲーム コップ投げゲーム	15日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ペットボトル起こし	16日 輪投げビンゴ CDカーリング	17日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 椅子玉乗せ	18日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿グラグラゲーム カーリングゲーム
			19日	20日 展望風呂 (午前・午後) タオル山積み スカット玉入れ	21日 串刺しゲーム カーリングゲーム	22日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 大砲ボーリング	23日 天皇誕生日 輪投げビンゴ ロボお手玉 後ろ向き玉入れ 誕生食	24日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ挿し ペットボトルボーリング 移動美容室 誕生食	25日 展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 魚釣りゲーム 誕生食
26日	27日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ゆらゆら傘	28日 輪投げビンゴ 椅子玉乗せ							

暦の上では立春を迎える2月。とはいえまだまだ真冬日を記録することもある、寒さ厳しい季節です。この時季に気をつけたいのが『ヒートショック』。ヒートショックとは、気温の低い屋外から暖かい部屋への移動や、暖かい部屋から寒い部屋への移動などによる急激な環境温度の変化によって、血圧が上下に大きく変動することにをきっかけとして起こる、健康被害の総称です。

★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。

★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおや地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。



★ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。

★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。

★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

ふれあい!

令和5年 3月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
			1日	2日	3日	4日
			展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
			割りばしゲーム	ヤクルト山積み	輪投げビンゴ	田植えゲーム
			スカット玉入れ	カーリングゲーム	ひな祭り行事	後ろ向き玉入れ
5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	紙皿グラグラゲーム	タオル山積み	串刺しゲーム	お手玉積み上げ	ロボお手玉	数えてペグ挿し
	ペットボトルボーリング	魚釣りゲーム	ゆらゆら傘	椅子玉乗せ	コップ投げゲーム	ペットボトル起こし
				ひまわり美容室		
12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	割りばしゲーム	ヤクルト山積み	輪投げビンゴ	田植えゲーム	紙皿グラグラゲーム	タオル山積み
	CDカーリング	椅子玉乗せ	カーリングゲーム	スカット玉入れ	カーリングゲーム	大砲ボーリング
19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日
	展望風呂 (午前・午後)	春分の日	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	展望風呂 (午前・午後)
	串刺しゲーム	お手玉積み上げ	ロボお手玉	数えてペグ挿し	割りばしゲーム	ヤクルト山積み
	後ろ向き玉入れ	ペットボトルボーリング	魚釣りゲーム	ゆらゆら傘	椅子玉乗せ	コップ投げゲーム
					移動美容室	
26日	27日	28日	29日	30日	31日	
	展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)		展望風呂 (午前・午後)	
	輪投げビンゴ	田植えゲーム	紙皿グラグラゲーム	タオル山積み	串刺しゲーム	
	ペットボトル起こし	CDカーリング	椅子玉乗せ	カーリングゲーム	スカット玉入れ	
	誕生食	誕生食	誕生食			

日ごとに春らしさを増し、暖かさが感じられるこの頃です。

令和5年3月13日からマスク着用は個人の判断が基本となりますが、高齢者など重症化リスクの高い方が多い
 デイサービスではマスク着用を引き続きお願いします。

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えてあります使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

2022年度

指定居宅介護支援事業
事業報告書

社会福祉法人福陽会

介護プランセンターサンシャインビラ

事業報告

- 本年度は年間延べ2,598件（前年度2,375件）のケアプラン作成業務を行った。
- 福生市等からの委託業務である介護予防ケアプラン作成受託業務等を積極的に行った。
- 併設事業である、訪問介護・通所介護・短期入所生活介護等への情報提供を積極的に行い、併設事業の人員確保に努めた。情報提供では連絡事項を文書化し、これにより適切かつ円滑な連絡につとめた。
- 利用者個別ファイルを作成し、契約～アセスメント～ケアプラン作成～モニタリングと一元管理を徹底した。
- よりよいケアプランを利用者に提供すべく、資質向上・情報収集のため、積極的に研修に参加した。
- 東京都介護支援専門員実務研修実施機関として登録し、実習生を受け入れた。

【事業計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたってきた。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

職員配置（3月31日現在）

職名	当センター職員配置人数と氏名（資格）
センター長	1名
管理者	1名（主任介護支援専門員 1名）
介護支援専門員	8名（1）（主任介護支援専門員 1名兼務） （介護支援専門員 7名）

ケアプラン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
ケアプラン作成	205	211	215	215	211	214	228	219	219	220	221	220	2,598

要支援受託

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 受託	21	21	21	21	21	21	21	18	16	15	16	15	227

認定調査実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定 調査	2	4	1	0	3	3	4	1	4	0	5	4	31

研修・会議等出席状況

月日	研修名称等	外部研修出席職員
4月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング7回・事業所内部研修「倫理綱領」・法人内研修	新橋・大谷・鈴木（俊）鳥巢・野元・江村・鈴木（敦）・下田
	第1回 福生市主任介護支援専門員連絡会	野元・江村
5月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング8回・事業所内部研修「プライバシー保護の取組に関する研修」・厚労省主催「感染対策に関する研修」 サービス事業所見学	新橋・大谷・鳥巢・江村・野元・鈴木（俊）・鈴木（敦） 江村・野元
6月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング8回・福生市介護保険事業者連絡協議会主催、介護支援専門員研修・第2回 福生市主任介護支援専門員連絡会・事業所内研修「ハラスメント」	新橋・野元・日下・江村・大谷
	法人内研修 福祉用具事業者により試乗研修 施設見学、説明会	大谷・鈴木（敦） 大谷・野元・江村 日下、鈴木（敦）
7月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング10回・福生市介護保険事業者連絡協議会主催、介護支援専門員研修	新橋・野元・江村・日下
	業務改善会議	田村・新橋
8月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング10回・厚労省主催 感染症のための実地研修	新橋・大谷・鳥巢・江村・日下・野元・鈴木（敦）
	第3回 福生市主任介護支援専門員連絡会 zoom	新橋・大谷・野元・江村・日下
	福生市介護保険事業者連絡協議会主催、介護支援専門員研修	新橋・日下
9月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング6回・福生市地域包括支援センター 熊川主催 研修会	新橋・大谷・鳥巢・野元・江村・日下・鈴木（俊）・鈴木（敦）
	福生市介護保険事業者連絡協議会主催、介護支援専門員研修	新橋・大谷・日下
10月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング7回・事業所内部研修「認知症及び認知症ケアに関する研修」・法人内研修・福生市介護保険事業者連絡協議会主催、介護支援専門員研修	新橋・大谷・野元・江村・日下・鳥巢・鈴木（俊）・鈴木（敦）
	第4回 福生市主任介護支援専門員連絡会、事例検討会 新規オープン施設の施設見学2ヶ所	新橋・大谷・江村・日下 江村・野元・日下・鈴木（俊）
11月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング9回・福生市地域包括支援センター加美主催 研修会	新橋・大谷・江村・日下・野元
	西多摩保健所主催「ALS（筋委縮性側索硬化症）研修」	大谷・鳥巢・江村
	東京都福祉保健財団主催「高齢者虐待防止」研修 事業所内部研修「高齢者虐待防止研修」	新橋 大谷・江村・野元・江村・日下・大谷・鈴木（俊）
12月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング8回	新橋・大谷・鳥巢・江村・日下・鈴木（俊）・野元・久米田
	第5回 福生市主任介護支援専門員連絡会、福生市地域包括支援センター熊川主催研修会 福生市地域包括支援センター社会福祉連絡会	大谷・江村・久米田 野元・日下・江村
	福生市介護保険事業者連絡協議会主催、介護支援専門員研修	新橋・久米田・江村・鳥巢
1月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング8回・事業所内部研修「成年後見制度について」 研修	新橋・鈴木・大谷・鳥巢・江村・野元・日下・久米田
	福生市介護保険事業者連絡協議会主催研修	新橋・鈴木・大谷・鳥巢・江村・日下
	福生市地域包括支援センター加美主催「認知症サポーター養成研修」	日下
	厚労省主催「ケアブランデータ連携説明会」研修・東京都医師会主催「在宅療養に関わる医療介護従事者に対するハラスメント対策について」研修	新橋
2月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング5回	佐々木・新橋・小泉・中川・下田・鈴木・大谷・鳥巢
	東京都福祉保健局主催「認定調査新規研修」	日下
	第6回 福生市主任介護支援専門員連絡会・事例検討会	江村・日下
3月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング7回	佐々木・新橋・小泉・中川・下田・鈴木・大谷・鳥巢
	法人内研修 福祉施設避難所	新橋・江村・大谷・日下
	法人内研修 防災訓練 法人内研修 「AEDの使い方」	野元・江村 鳥巢・日下・野元
	株式会社日本総研研究所主催「適切なケアマネジメント手法」研修	日下・江村

※新人、介護支援専門員入職時研修実施（4月・6月・10月）
 ※介護支援専門員に対する継続的な個別研修を実施
 ※東京都介護支援専門員研修課程Ⅰ・Ⅱ
 ※新規認定調査員研修 ※他法人との共同研修
 ※介護支援専門員実務研修における実習生の受け入れなど

令和4年度

福生市地域包括支援センター加美
高齢者見守りステーション

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

【配置職員】

センター長	1名
主任介護支援専門員	1名
社会福祉士	1名
経験のある看護師兼認知症地域支援推進員	1名
第2層生活支援コーディネーター兼事務員	1名

令和4年度は、福生市の高齢者支援係からのご指導・ご支援を受けながら、引き継いだ利用者様方や新規のご相談者への包括的支援や介護予防支援業務などを行った。常に高齢者支援係との連携を密にとりながら、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することができるよう努めた。そして、障害や生活困窮・権利擁護については各関係機関と情報共有や連携を図り多面的支援が図れるよう努めた。

また、市内の他の包括支援センターとも情報共有を行い、連携を図り活動を行っている。

【事業内容】

包括的支援事業

○ ・介護予防リーダー関係

実施日	内容	会場
4月	なし	
5月	なし	
6月	なし	
7月	なし	
8月	なし	
9月	なし	
10/3	介護予防リーダー養成講座	もくせい会館
11月	なし	
12月	なし	
1月	なし	
2月	なし	
3月	なし	

・地域での啓発活動/出前講座

実施日	内容	会場	参加者数
4月	なし		
5月	なし		
6月	なし		
7月	なし		
8月	なし		
9/23	家族介護者教室	第2サンシャインビル5F	4
10/20	認知症カフェ	第2サンシャインビル 5F	1
11月	なし		
12月	なし		
1月	なし		
2月	なし		
3/21	防災訓練、AEDの使い方（加美町会	第2サンシャインビル 5F	30名

・その他参加した地域活動

実施日	内容	会場	参加者数
4/1	小地域活動 いきいきサークル	加美平集会所	15名
5月なし			
6月なし			
7月なし			
8月なし			
9月なし			
10/22	健康祭り	福社会館 B1	1
11/26	介護予防教室	もくせい会館	1
12/6	認知症ステップアップ講座	もくせい会館 301	24名
12/8	「生活支援協議体」内部研修	もくせい会館 301	20名
1月	なし		
2/25	介護予防後援会	もくせい会館301. 302	76人
3/28	加美地区民生委員へ包括の説明と 質疑応答	永田クラブ	25名

・ 認知症サポーター養成講座

実施日	会場	参加職員名
4月	なし	
5月	なし	
6月	なし	
7月	なし	
8月	なし	
9月	なし	
10/29	包括武蔵野	1（見学）
11月	なし	
12月	なし	
1/26	わかぎり会館	6名
2月	なし	
3/10	福生市立第2中学校	120名

① 総合相談・支援事業

・開所日・相談実人数

4月	開所日数	25 (単位：日)
	相談実人数	99 (単位：人)
5月	開所日数	23 (単位：日)
	相談実人数	65 (単位：人)
6月	開所日数	26 (単位：日)
	相談実人数	68 (単位：人)
7月	開所日数	25 (単位：日)
	相談実人数	78 (単位：人)
8月	開所日数	26 (単位：日)
	相談実人数	96 (単位：人)
9月	開所日数	(単位：26日)
	相談実人数	(単位：192人)
10月	開所日数	(単位：26日)
	相談実人数	(単位：171人)
11月	開所日数	(単位：26日)
	相談実人数	(単位：205人)
12月	開所日数	23日 (単位：日)
	相談実人数	(単位：人)
1月	開所日数	23 (単位：日)
	相談実人数	91 (単位：人)
2月	開所日数	22 (単位：日)
	相談実人数	74 (単位：人)
3月	開所日数	26 (単位：日)
	相談実人数	83 (単位：人)

・連絡会

地域包括支援センター連絡会	4/22
地域包括支援センター連絡会	5/27
地域包括支援センター連絡会	6/24
地域包括支援センター連絡会	7/29
地域包括支援センター連絡会	8/26
地域包括支援センター連絡会	9/30
オレンジカフェ運営連絡会	
地域包括支援センター連絡会	10/28
オレンジカフェ運営連絡会	
地域包括支援センター連絡会	11/25
オレンジカフェ運営連絡会	
地域包括支援センター連絡会	12/28
地域包括支援センター連絡会	1/27
オレンジカフェ運営連絡会	
地域包括支援センター連絡会	2/24
オレンジカフェ運営連絡会	2/8
地域包括支援センター連絡会	3/24
オレンジカフェ運営連絡会	

・専門職連絡会

保健師連絡会	4/21	
主任介護支援専門員連絡会	4/21	
社会福祉士連絡会	4/20	
保健師連絡会	5/19	
主任介護支援専門員連絡会	5/19	
社会福祉士連絡会	5/24	
保健師連絡会	6/16	
主任介護支援専門員連絡会	6/16	
社会福祉士連絡会	6/21	
保健師連絡会	7/14	
主任介護支援専門員連絡会	7/21	
社会福祉士連絡会	7/26	
保健師連絡会	8/18	
主任介護支援専門員連絡会	8/19	
社会福祉士連絡会	8/23	
保健師連絡会		
主任介護支援専門員連絡会		
社会福祉士連絡会	9/27	
生活コーディネーター連絡会	9/28	
保健師連絡会	10/25 (西多摩保健所連絡会)	
主任介護支援専門員連絡会	10/18	
社会福祉士連絡会	10/27	
生活コーディネーター連絡会	10/26	
保健師連絡会	11/10	
主任介護支援専門員連絡会	11/15	
社会福祉士連絡会	11/24 欠席	
生活コーディネーター連絡会	11/16	
保健師連絡会	12/2, 12/8	
主任介護支援専門員連絡会	12/13	
社会福祉士連絡会	12/20	
生活コーディネーター連絡会	12/14	
保健師連絡会	1/12	
主任介護支援専門員連絡会	1/19	
社会福祉士連絡会	1/24	
生活コーディネーター連絡会	1/31	

保健師連絡会	2/9
主任介護支援専門員連絡会	不参加
社会福祉士連絡会	不参加
生活コーディネーター連絡会	2/15
保健師連絡会	3/27
主任介護支援専門員連絡会	欠席
社会福祉士連絡会	3/28
生活コーディネーター連絡会	3/15

② 権利擁護事業

実施日	内容	会場	参加者数
4月	なし		
5月	なし		
6月	なし		
7月	なし		
8月	なし		
9月	なし		
10月	なし		
11月	なし		
12月	なし		
1月	なし		
2月	なし		
3/23	高齢者虐待防止連絡会	もくせい会館202会議室	20名

③ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

・短期集中通所型サービス(通所型サービスC)

実施日	事業所	利用者数
8/4.11.18.25	羽村三慶病院	3名(包括)

・市内主任介護支援専門員連絡会

実施日	内容	会場	参加者数
4/22	今年度計画内容の検討・決定	福祉センター	18名
5月	なし		
6/24	居宅支援事業所の運営について	福祉センター2階	22名
7月	なし		
8/26	居宅介護支援事業所の運営に関する情報交換等	Zoomミーティング	17名
9月	なし		
10/28	認知症コーディネーター、生活支援コーディネーターの行う事業の説明、ケース検討会、情報交換会、ケアプラン相談会	福祉センター2F理学療法室	2
11/22	主マネ研修会「アンガーマネジメント」	福祉センター2Fホール	1
12/16	熱中症の予防と冬の脱水症	社会福祉センター2F研修室	16名
1月	なし		
2/24	不参加		
3月	なし		

・地域ケア会議A・B

地域ケア会議A	4月なし
地域ケア会議B	4月なし
地域ケア会議A	5月なし
地域ケア会議B	5月なし
地域ケア会議	6月なし
地域ケア会議	7月なし
地域ケア会議	8月なし
地域ケア会議	9月なし
地域ケア会議	10月なし
地域ケア会議	11月なし
地域ケア会議	12月なし
地域ケア会議	1月なし
地域ケア会議	2月なし
地域ケア会議	3月なし

・個別地域ケア会議

実施日	内容	会場	参加者数
4月なし			
5/26	精神疾患の女性高齢者の支援について～関係機関との連携方法について～	扶桑会館	17名
6月なし			
7月なし			
8月なし			
9/28		もくせい2F	4
10月なし			
11月なし			
12月なし			
1月なし			
2月なし			
3月なし			

・市内他機関とのネットワークの構築

実施日	内容	会場	参加者数
4月なし			
5/27	ふくふくネット	zoom	1名
6月なし			
7月なし			
8月なし			
9月なし			
10/17.18	地域包括現認者研修	ZOOM、新宿	1
10/19・20	要介護者による高齢者虐待研修応用編	健康プラザハイジア	1
11/14	甲州市より包括見学	包括加美	5
12/20	西多摩保健所との連絡会	もくせい会館	8名
1月	なし		
2/14	高齢者福祉施設協議会 青梅・秋川ブロックセンター連絡会	日の出ホーム 会議室	17名
3/17	認知症対応力向上のための集い	地域連携型認知症患者療 センター福生クリニック	中川
3/22	西多摩保健所に事例相談	西多摩保健所	勝田・中川

○ その他

・職員研修参加

実施日	内容	会場	参加職員名
4月なし			
5/17・24・25	高齢者権利擁護	Zoom あいおい同和損保新宿ビル地下1階ホール	1名
6/16・17・22・23	令和4年度東京都包括支援センター職員研修（初任者）	WEB	勝田、中川
6/28	アドバンスケアプランニング	特別養護老人ホーム第二サンシャインピラ	勝田
7/21・22	令和4年度東京都包括支援センター職員研修（初任者）	WEB	小泉
7/15・29	生活支援コーディネーター初任者研修	WEB	勝田
8月なし			
9/13	支援記録の書き方	ZOOM	1
9/1・15・16	擁護者による高齢者虐待対応研修基礎編	ZOOM	1
10月なし			
11/17	地域包括職員研修（現認者）1日目	オンライン	1
12月なし			
1/17	ご利用者本人からの視点から学ぶ 終活、相続、遺言、後見制度	社会福祉センター2階	勝田、柳川、 中川
2/1.2/17 2/10 2/15・2/23	主任介護支援専門員更新研修（演習） 主任介護支援専門員更新研修（講義）	事業所内（ZOOM） 事業所内（ユーチューブ）	中川
3/17	介護保険法改正はこう変わる	Web参加	木下

・会議への出席

実施日	内容	会場	参加職員名
4/14	生活困窮者自立支援調整会議	市役所二棟第三会議室	小泉宏登
5/19	生活困窮者自立支援調整会議	市役所二棟第三会議室	中川祥子
6/2	生活困窮者自立支援調整会議	市役所二棟第三会議室	勝田
7/21	生活困窮者自立支援調整会議	市役所二棟第三会議室	中川
8/18	生活困窮者自立支援調整会議	市役所一階二棟第三会議室	小泉
9月	なし		
10月	なし		
11月	なし		
12/23	「訪問看護の利用事例とケアマネジャーとの連携を目指して！」	福生市福祉センター地下研修室	2名
1月	なし		
2/15	地域包括支援センター運営委員会	福生市役所 4階協議室	勝田、木下、 中川
2/10	元気塾会議	ZOOM	勝田、中川
3月	なし		

高齢者見守りステーション

【配置職員】

相談員 小泉 宏登
相談員（非常勤） 鈴木 敦子

高齢者見守りステーションは、福生市全域の概ね 65 歳以上の一人暮らし世帯・高齢者のみで構成する世帯に属する者・日中独居及び心配情報のあった高齢者について、福生市から委託を受け以下の業務について運営した。

令和 4 年度は、令和 4 年 1 0 月 3 日の事業開始にむけ、福生市、各包括支援センターと協議し、準備を行った。

在宅高齢者の生活実態の把握と見守りの為、戸別訪問を主とし実施。

又、福生市役所、各包括支援センター、民生委員等、相互の情報連携をとり、見守りネットワークの構築を図った。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
戸別訪問等 実績							250	286	364	325	323	365	1913
うち連携数							7	12	16	15	22	35	107

2022 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム 第3サンシャインビル
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

事業報告目次

項 目	ページ
事業報告	
1. 事業報告(総括)	1-2
2. 職員構成	2
3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書	2-4
4. 処遇報告	4-5
1) 2F 事業報告・活動報告	
2) 3F 事業報告・活動報告	
3) 4F 事業報告・活動報告	
4) 移動理美容	
5. 厨房事業報告	6-7
6. 医務室利用者健康管理報告	8-9
7. リハビリテーション報告	10
8. 生活相談員・介護支援専門員	11-12
9. クラブ活動実績報告	13-14
10. 年間行事実施報告	15
11. 固定資産物品購入・入替報告	15
12. 事故報告・ヒヤリ・ハット報告	16
13. 職員研修報告	17
14. ボランティア・慰問 受け入れ状況報告	18
15. 消防訓練実施結果	18
16. ショートステイ事業報告	18

1. 事業報告（総括）

1. 中長期経営計画

(1) 福陽会の基本理念を毎朝唱和することで全職員が基本理念を理解し、理念に沿ったサービス提供に努めた。利用者様を始め、ご家族様、地域の皆様と共に大きな家族として「こころある介護」を行うことができた。

(2) 中期基本方針

①利用者様、ご家族様、地域の方々から評価して頂けるサービス提供ができるよう、他部署とも連携を取り、風通しの良い関係性が構築できた。「こころある介護」を提供する事で、利用者様の笑顔を多く引き出す事ができた。

②業務検討委員会にて毎月の稼働率の報告を行い、各部署の所属長が経営に対する意識を持ち業務を行う事ができた。

2. 基本目標

福陽会の基本理念については、毎日基本理念の唱和を行うと共に、理事長、統括施設長、施設顧問医師、副理事長に来園頂き、職員に対し理念、法人としての考えを伝えて頂く事で福陽会の職員としての意識向上を図った。新入職員については、入職時に統括施設長の思いが書かれた文章から福陽会基本理念について説明を行う事で基本理念の浸透に努めた結果、新人であっても理念に共感でき、それを基としてケアを行う職員が増えている。

3. 基本方針について

加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排泄、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理、その他の医療を要する方等について、これらの利用者様が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るよう、施設顧問医師指導の下、各部署連携し必要な介護サービスを提供し、地域福祉の増進を図る事を目的として事業を行った。

(1) 利用者様の健康状態、身体状況を充分考慮に入れ、各部署の職員による情報の共有と連絡、相談を密に行い、職員1人1人が利用者様を良く観察し、介助が必要な利用者様が最低限度の援助で快適な生活が送れる為の環境作りに努めた。

4. 2022年度の重点目標

法人理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を念頭に、理事長、統括施設長、施設顧問医師、副理事長のご指導の下、ご利用者様、ご家族様に「第3サンシャインビラに来て良かった」と思っただけの施設を目指し取り組みを行っています。

令和4年度は特養稼働率99%、ショートステイ稼働率80%を目標としましたが、特養稼働率98.14%、ショートステイ稼働率35.59%、平均介護度は4.1となり、稼働率の目標値を下回ってしまいました。原因としては新型コロナウイルス感染症の蔓延に加え、先を見越した営業活動の初動が遅れてしまったことが反省点として挙げられます。新型コロナウイルス感染症により、ショートステイを利用される方がさらに減少したため、ショートステイベッド10床中5床を特養に変換できるよう日の出町と東京都に申請し、令和5年度より認可されました。令和5年度は、先を見越した対応を行い、目標稼働率を達成できるよう努めて参ります。

新型コロナウイルス感染症については、施設内での感染が蔓延してしまいましたが、施設顧問医師のご指導をいただきながら、収束に向け取り組みました。年間を通して感染対策を実施していた為、職員の感染に対する意識、知識の向上に繋がりました。また、今年度も様々な季節に合わせた行事を実施しました。すべての行事は感染対応を徹底した上で行いました。制限ある生活の中でもご利用者様に楽しんでいただくことができました。

看取り介護については年間13名の方の看取り介護をさせていただきました。施設顧問医師のご指導の下、職員が一丸となり、ご利用者様、ご家族様からのご意向、趣味等を聞き取り、カンファレンスを通して職員間で情報共有を行いました。お一人お一人の状況に合わせた看取り介護を行い、ご家族様より感謝のお言葉を多くいただくことができました。

地域に根差した施設の構築に関しては、新型コロナウイルス感染症により、外部との関わりが思うようには行えませんでした。その中でも定期的にボランティアの方と連絡を取り、傾聴ボランティアの受け入れを再開しました。ご利用者様も地域の方と接することで、地域の一員と感じていただくことができました。

職員の定着に関しては、業務検討委員会を通して各部署意見交換を行い、風通しの良い職場づくりに努めました。例年に比べ退職者も少なく、職員の定着にも繋がりました。

新型コロナウイルス感染症対応も緩和しつつあります。引き続き感染対応に気をつけながら、以前の日常を取り戻し、ご利用者様の笑顔を多く引き出せるよう努めて参ります。

2. 職 員 構 成 3月31日現在

担当職	職 名	職員	非常勤
施設長		1	
顧問医師			1
産業医			1
事務長		1	
事務員		1	2
生活相談員		3(2)	
介護支援専門員		2(2)	1
介護職員		25	32
医務	医師		3
	看護主任	1	
	看護職員	3	2
機能訓練指導員	機能訓練指導員	1	
	P T		1
厨房	管理栄養士	1	
	調理員	4	4
保守管理・宿直	介助員	1	4

* 兼務職員は主たる職務に記載し、兼務している職務では（ ）内に記載

3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

委員会

会議は毎月第2木曜日とし開催した。施設顧問医師、副理事長の指導、助言のもと、各部署が連携し委員会活動を円滑に行うことができた。

1) 業務検討委員会

法人の基本理念を基盤に、経営、人事、業務内容等、各部署から議題を出し、改善に向け話しあった。各部署の状況を知ることでお互いの理解を深め、業務を円滑に行うことができた。

2) 全体会

1回/月開催し、施設運営の状況や各部署からの情報を共有した。施設顧問医師による衛生委員会・感染症委員会も同時開催とした。施設全体で同じ認識を持ち業務にあたるよう努めた。

3) 入所判定会議

入所申込があった際には家族やケアマネなどから聞き取りを行い、速やかに判定会議が進められるよう準備を行った。申込者の状態を考慮しつつ施設顧問医師に意見を仰ぎ、判定を行った。

4) 看取り介護委員会

看取り介護宣言のあった利用者様とご家族が安心して生活できるよう、聞き取りや適宜カンファレンスを行い、最善のケアが提供できるよう努めた。ご家族様からは多数、感謝の言葉をいただくことができた。

5) 衛生委員会

職員の定期健康診断を実施した。また、産業医の指導のもと労働者の健康管理の維持に努めた。衛生管理者等による施設内巡回を定期的実施し、労働災害になりかねない箇所を検証し、職員が働きやすい環境整備を行った。また、職員のストレスチェックを実施し、従業員のメンタルヘルス不調を未然に防止した。

6) 感染症委員会

フロアごとに、感染対応を牽引できるスタッフを養成し、感染症の予防と拡大防止に努めた。基本的な感染症対策及び食中毒の内部研修、感染症発生時のマニュアルに沿った演習を行い、スタッフの知識向上と迅速な対応が出来るよう努めた。感染症発生時には各部署でカンファレンスを開催し、対応を検討し施行した。また、適宜フロア内の状況を確認し修正していくように努めた。

7) 事故防止委員会

施設内で起きたヒヤリハット・アクシデント・事故についての事例検討を行い、施設全体に周知するよう努めた。また、使用しているセンサーの必要性を検討し、不必要なセンサーを撤去した。転倒や滑落の施設内アクシデント件数は前年度と比較し減少しており、意識の向上に繋がったと考えられる。

8) 栄養会議

体重測定の結果や食事摂取状況について情報の共有を行い、個々の食行動の問題や低栄養のリスクがある利用者様のケアの方法を話し合い、対応の検討を行った。

9) ケース会議

利用者様から聞き取りを行い、その方のニーズや生活上・介護上の問題点、身心の状態を把握し、その情報をもとにケアプランを作成した。ケアプランに沿ったサービスを提供し、利用者様がより快適に生活できるよう努めた。

10) リーダー会議

月に一度、各ユニットより問題点や相談などを提議し、話し合いを行った。ユニットの現状や人員配置にも目を向け、各ユニット連携してご利用者様へより良いサービスを提供出来るよう努めた。また、リーダー同士意見交換を行い、ユニットリーダーとしての質の向上にも努めた。

11) 行事計画委員会

新型コロナウイルス感染症対策のため、ユニット単位で行事を行った。三人行事の際にはおやつとして普段と違った食事の提供を行った。職員が催し物を企画、実行し各ユニットの特色を活かした行事を行うことができた。ユニット単位で行事を行ったことで職員、利用者様共に楽しみ有意義な時間を過ごすことができた。次年度もユニット単位でのレク活動に力を入れつつ、感染対策緩和に合わせた行事を実施する。

12) 内部研修委員会

今年度は介護職で委員を構成した。学びたい事を介護職から聞き取り、介護職目線からの研修内容とした。新型コロナウイルス感染症により集まって研修が行えず、資料配布のみの研修となったこともあったが、充実した内容の研修を行う事が出来た。

13) 褥瘡予防委員会

褥瘡アセスメント評価表を用いて、利用者様の皮膚トラブルリスクの程度を計り、皮膚トラブルの予防に努め、高リスク者に対しては機能訓練指導員とカンファレンスを開催しエアマットの使用も検討した。褥瘡、皮膚トラブル発生時にはカンファレンスを開催し、随時対応策を検討した。また、個別計画書を各部署へ配布して情報共有に努め、管理栄養士と共に栄養摂取への対応策も検討した。機能訓練指導員による褥瘡予防の内部研修を行い、基本的なケアの内容やポジショニングについての知識向上を図った。

14) 虐待防止委員会

虐待アンケートを定期的実施し、その結果を評価した。評価した結果を施設全体で共有し、改善できるように努めた。苦情・拘束委員と連携を取り、上がって来た苦情が虐待に当たらないか検討し、全職員に発信して虐待防止への注意喚起に努めた。スピーチロックに関するポスターを配布し、虐待の前兆である不適切ケアの予防に努め、施設全体で意識を高めるよう努めた。また、内部研修委員とも連携を取り、勉強会を開き虐待ゼロに向け、ケアの改善に努めた。

15) 苦情・拘束委員会

毎月、意見箱の意見、ご利用者様やご家族様等から直接聞いた苦情に関して話し合い、今後の対応について検討した。話し合った内容については、職員に周知徹底した。身体拘束に関しては、拘

束することなくご利用様が安全に生活することができるよう話し合い、身体拘束ゼロを目指した。また委員会の中で研修を行い、身体拘束について勉強する機会を増やした。何気ない行動も、身体拘束にあたるかもしれないと考えながらケアをすることで、より良いケアに繋ぐことができた。

16) 防災管理委員会

日勤帯の災害で、ガスや水道が使えない場合を想定した非常食の提供を行った。また夜間帯の災害を想定した緊急連絡網によるシュミレーションを行った。今後も繰り返し訓練を行い、非常時にも冷静に対応できる体制を整える。

17) ボランティア委員会

新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティアの新規受入れや施設職員との交流を図るための交流会は中止とした。リモート、パネル越しでの傾聴ボランティア受け入れを再開し、利用者様に少しでも楽しんでいただける時間を作った。今後も感染症の動向を見ながら少しずつ活動を増やしていきたい。

18) 厨房会議

適宜会議を開催し、献立や業務内容を検討した。会議を開催することでチームワークと意識の向上につながった。

19) 利用者懇談会

利用者様から施設に対する要望や希望などの聞き取りを行った。様々な意見や要望を聞くことができ、待遇の向上に繋げることができた。

20) 給食懇談会

月に1回実施し、献立の感想や食べ物の固さ、食べたい物など要望をお聞きし、献立や調理に反映させた。

21) 接遇委員会

年間目標として「言葉遣い」について接遇を行う。朝礼時に「挨拶」「法人理念」を唱和し、積極的に声を出す取り組みを行う。取り組みを通し、利用者様、職員間でのコミュニケーションを円滑に行えるようになり、施設全体で接遇の意識向上と改善を図れた。更に接遇意識を強化し、施設全体で取り組んでいく。

22) 排泄委員会

利用者様のADLに合った介護用品と介助方法を委員会で話し合い、検討した。より安全で快適に、利用者様の意向に沿ったケアをすることができた。

排泄ケアの知識や技術の向上のため、オンライン講座を受講し、その内容を施設全体に発信した。

排泄ケアのマニュアルの見直しを行い、内容を都度更新した。また、介護用品の見直しもを行いコスト削減に取り組んだ。

4. 処 遇 報 告

1) 2F 事業報告・活動報告

(1) あやめユニット

利用者様の情報を職員間で共有し、ご本人の意向に沿ったケアを心掛け、その人らしく生活できるよう支援した。利用者様同士の関係づくりや生活の活性化を図るため、リハビリ体操や季節の行事、様々なレクリエーションを行った。細目に声掛けを行い、安心して生活していただけるよう努めた。

(2) さゆりユニット

利用者様の生活リズムなどを把握し、自宅と同じように生活できるよう支援した。

利用者様の希望を聞き取り、ニーズに合わせたケアを行った。利用者様の心身の状態の把握に努め、常に適切なケアを提供できるよう見直しを行った。活発にレクリエーション活動を行う事が出来た。ユニットミーティングを行い、職員間で意見交換をして日々のケアや業務の改善に努めた。

(3) さくらユニット

日々のコミュニケーションから、利用者様の思っていることを傾聴し、ニーズに合わせたケアを行う事ができた。リハビリ体操、レクリエーションを積極的に実施し、利用者様に笑顔で楽しんでいただくことができた。利用者様の整容、フロア内の整理整頓、美化に努め、快適に過ごしていただけるよう努めた。

(4) みもぎユニット

日々のコミュニケーションから利用者様の心身の状態を把握することで、個別的なケアを行う事ができた。季節の行事やレクリエーションをユニット単位で行った。ユニットに合わせた内容を計画し、全員に参加してもらい楽しんでいただくことができた。今後も職員間で連携を図り、利用者様の生活しやすい環境づくりを行う。

2) 3F 事業報告・活動報告

(1) すみれユニット

利用者様とコミュニケーションを取ることを心掛け、利用者様のペースに合わせた支援を行った。活気ある生活が送れるよう、リハビリ体操や季節ごとの行事を開催し、利用者様に楽しんでいただくことができた。利用者様の整容、居室内の整理整頓を行い、清々しく生活していただけるよう努めた。

(2) つばきユニット

利用者様と密にコミュニケーションをとることを心がけた。状態観察を行い利用者様一人一人のニーズを把握することで、個々に沿った支援を行うことが出来た。毎月レクリエーションを企画し、実行した。毎回全利用者様が参加出来るよう声かけを行い、楽しんで頂くことが出来た。今後も利用者様の意向に沿ったレクリエーションを開催できるよう努める。毎朝ショートミーティングを行い、業務についての相談を小まめに行った。それにより業務を円滑に行うことができ、働きやすい職場環境をつくる事が出来た。

(3) つつじユニット

利用者様の状態把握に努め、変化があった際には他部署とも連携しながら日々のケアを行った。毎月担当者がレクリエーションを計画し、開催した。利用者様に楽しんでいただくことができ、信頼関係を気付くことにも繋がった。ユニットの整理整頓、清潔保持に努め、利用者様が生活しやすい環境の整備に努めた。

(4) あじさいユニット

日々の声掛けやレクリエーション、月ごとにユニットで行事を行い、利用者様に楽しんでいただくことができた。利用者様の希望や意向を聞き取り、個々のニーズに合わせたケアを行った。言葉にできない利用者様とも表情から意向を汲み取るよう努め、信頼関係を気付くことができた。

ユニットの清掃や季節感のある装飾を行い、明るく生活しやすい環境づくりに努めた。

職員間のチームワークを大切にし、情報共有に努めた。

3) 4F 事業報告・活動報告

(1) ひまわりユニット

レクリエーションとして毎日体操を行い、体を動かすことの喜びや大切さを感じていただくことができた。カラオケでは若いころを思い出して歌い、楽しんでいただくことができた。

利用者様とコミュニケーションをとり、信頼関係を気付き安心して生活していただけるよう努めた。

職員間で報告、連絡、相談を行い、ケアの統一を徹底した。

(2) コスモスユニット

利用者様の個性、ニーズに合わせたケアを行う事が出来た。

利用者様の心身の変化に早期対応できるよう、他職種とも連携をとりながら日々のケアを行った。様々なレクリエーションを行い、利用者様に大変喜んでいただくことができた。

4) 移動理美容

理容が第4月曜日の月1回、美容が第1金曜日の月1回行っている。

利用者様、ご家族様の希望により、理容・美容を選択していただき、利用して頂いている。

5. 厨房事業報告

《衛生管理》

- ・衛生マニュアルに従って業務を行い、利用者様に安全で衛生的な食事を提供した。
- ・手指の洗浄・消毒や衣服の清潔保持、厨房内の衛生管理を衛生マニュアルに従って確実に実施した。
- ・体調不良時や感染症発生時に備えた連絡経路のマニュアルの周知の徹底を行った。
- ・衛生マニュアルに従った業務、非加熱食材の取扱方法、加熱温度と時間の徹底を行い、安全な食事を利用者様に提供した。
- ・掃除チェック表の活用と毎日全員で清掃する時間を設定し、厨房衛生に対する意識の向上を図った。
- ・新型コロナウイルス発生時のマニュアルの見直しと周知の徹底を行い、感染対策実施時でも円滑な食事提供に努めた。
- ・コロナウィルス感染者の食事提供には使い捨て食器で行った。

《食事提供》

- ・調理マニュアルの見直しを随時行い、味や食材の形態、嚥下調整食の統一を図った。
- ・食事時間のフロアラウンドと聞き取り、嗜好調査を行い、利用者様のニーズに出来る限り対応した食事を提供した。
- ・食事満足度向上の為にユニットと協力して食事に関するイベントを開催し、喫食満足度の向上に努めた。
- ・新しい献立の取入れを随時行い、満足度や喫食率の向上に努めた。
- ・水分ゼリーの味のバリエーションを多くし、水分摂取も楽しめるように工夫した。

《行事食・麺の日・出前の日・喫茶の日・誕生日会・選択おやつ・希望おやつ

・手作りおやつ実施内容》

- ・行事食：月1回(正月は三が日)実施。カード装飾や、旬な食材を使用した季節感の取り入れ、食欲が増すようなきれいな盛り付けを行う等工夫を凝らした。月に1度の行事食は利用者様に特に喜んで頂くことが出来た。今後もバリエーションを増やし、さらに利用者様のニーズに応じていく。
- ・麺の日：きつねうどんやそば、月見うどんやそば、てんぷらそば、カレーうどん、けんちんうどん、煮込みうどん、ほうとう風うどん、讃岐風うどん、醤油ラーメン、味噌ラーメン、冷やし中華、長崎ちゃんぽん、そうめん、スパゲティミートソース、ナポリタン、焼きそばなどを実施した。
- ・出前の日：鰻…形態に合わせて食べやすい大きさに調整して提供した。
寿司…原則として米飯の方は握り寿司、粥の方には刺身、粥、極菜・ペーストの方は刺身を細かく刻んでたたきにして提供した。生ものが苦手な方には、助六での提供も行った。
- ・喫茶の日：毎月第4日曜日に実施。デザートとコーヒーを提供した。
- ・誕生日会：毎月第3水曜日に実施。誕生月の利用者様には手作りケーキを提供した。
- ・選択おやつ：月に2回を目安に実施。複数のおやつを準備し、利用者様1人1人に食べたいものを選んで頂き、提供を行った。
- ・希望おやつ：月に2回を目安に実施。利用者様から食べたいおやつを伺い、希望に沿った提供を行った。
- ・手作りおやつ：利用者様の聞き取りの際に出た希望をフロア職員と協力し、随時提供を行った。

《代替食実施状況》

魚・青魚・鯖・鶏・ハンバーグ・納豆・牛乳 カレーライス・ハヤシライス・麺・パン・生物 揚げもの・貝類・太刀魚・エビ・カニ・レーズン	他の料理で対応
---	---------

《希望・手作りおやつ実施内容》

4月	イチゴムース、焼き芋 餃子、チーズケーキ	10月	パフェ、アップルパイ 焼き芋、どら焼き、ティラミス
5月	ショートケーキ、ケーキ プリンアラモード、ケーキ	11月	焼き芋、お団子 焼き芋
6月	プリン、水まんじゅう ティラミス、たこ焼き 梅・らっきょうの漬物	12月	餃子
7月	バナナケーキ ナスの漬物	1月	甘酒、ホットケーキ 甘酒、甘酒
8月	ケーキ、葛饅頭 葛饅頭、葛切り	2月	どらやき、焼き芋、 パフェ、キャラメルプリン
9月	スイートポテト、茶巾絞り タルト、南瓜プリン	3月	

《給食懇談会・厨房会議・嗜好調査アンケート結果》

- ・毎月各ユニットにて給食懇談会を実施し、食事についての意見・要望や食べやすさ(形状・硬さ等)、食べたい献立についてのご意見をいただいた。
- ・厨房会議を毎月必ず行い、その月に発生した取り組み課題をまとめ、部署全体での問題解決に努めた。業務の検討や反省・意見交換を行い、意識の統一を図った。
- ・嗜好調査アンケート結果からリクエスト献立として積極的に人気メニューの提供を行い、喫食率向上に努めた。

《療養食・栄養ケアマネジメント実施状況》

- ・医師の指示のもと、療養食が必要な利用者様に提供を行った。献立や調理を工夫し、なるべく常食と差異を感じずに、おいしくお食事が提供できるよう努めた。
- ・ミールラウンドを多く行い、ミールラウンドの結果をアセスメント、モニタリングに反映することが出来た。
- ・利用者様ひとりひとりの状態を把握し、多職種と連携して問題の解決に努めた。

6. 医務室利用者健康管理報告

総括

状態異常時、スムーズに医師へ上申し早期に医療介入を行った。そして、ご家族様に状態の報告を行い相談員とともにご家族様の希望に添えるようケアを行った。また、ターミナルケア中の QOL を上げるため、ご家族様の思いを抽出し、他部署と連携してケアに反映させた。医療の介入は生活を阻害する側面も持っている為、ご利用者様が何を望むのか考え、その人らしい生活の中で最期を看取れるような看護を実践していくことを今後の目標とする。

フロアナース制を施行し 3 年が経過。その成果か担当ナースの持つ情報も個別性が増すようになってきている。情報をもとに個別性のある、個人の生活にあったケアを形成させていくことを、引き続き今後の目標としたい。

<医務目標>

1.生活を第一に考え、寄り添いながら健康状態を把握していく。

フロアナース制も 3 年目にて、フロアの特色や知識の向上もみられ、前年度に比べ個別性のあるケアを行う事ができた。引き続き情報をより細かく収集し、個別性をケアに繋げられるよう努めていく。

2. ご利用者様の生活をサポートするため、ご家族様との関りを大切にしていく。

状態異常時、提携先病院の医師の指示をもとに相談員へ報告し、現状態をご家族様へ連絡できるよう努めた。ターミナル中の利用者様は、相談員が抽出した情報をもとにご利用者様のケアに反映できるよう努めた。

3. 多職種連携を図るため報告、連絡、相談を密に行っていく。

各々の部署で利用者様へのケアの視点は違うことから、情報の統合とケアの統一性を調整していく必要性を感じた。包括的に利用者様を看ていくために、も各部署一貫性のある方法論を構築できるよう努める。

4. 状態の変化や異常を早期発見し安定した生活をサポートしていく。

状態異常時は早期に提携病院へ上申を行い、指示を仰いでいった。緊急を要さない場合でもご家族様の意向も抽出し、適宜、往診医に報告し利用者様の健康維持に努めていった。

5. 専門職として日々新しい知識を学び、看護の質の向上を図る。

ケアの方法論などは医務内でカンファレンスを行いより良い方法論を検討していった。今後も、コロナ渦で日々変わる情報があるなか、新しい知識と情報を持てるよう互いに啓発していき、各部署への発信源になれるよう努めていく。

通院・入院履歴

	通院	入院	退院
4月	5名	3名	0名
5月	9名	1名	4名
6月	10名	1名	0名
7月	5名	1名	1名
8月	3名	1名	1名
9月	6名	2名	0名
10月	5名	5名	1名
11月	6名	5名	1名
12月	7名	2名	0名
1月	5名	0名	1名
2月	6名	3名	0名
3月	13名	5名	1名
	年間通院者数 80名	年間入院者数 29名	年間退院者数 17名

3月31日現在の医療ケア介入必要者

胃瘻からの経管栄養実施者	2名
点滴施行者	0名
血糖測定者	0名
在宅酸素使用者数	1名
常時、口腔・鼻腔内からの喀痰吸引が必要となる利用者	3名
褥瘡処置施行者	1名
褥瘡以外の皮膚処置施行者	16名
ターミナルケア対応者	7名
合計	30名

2022年度死亡退所者

入院先での死亡者	3名
施設内での死亡者	7名
施設内ターミナルケア対応 死亡者	13名
合計	23名

7. リハビリテーション報告

(1) 総括

令和4年度のリハビリにおいて利用者様の身体状況の把握、状況に合わせたリハビリの介入を心掛けた。また、利用者様の「笑顔」を大切に、コミュニケーションをとりながらより多く笑顔を引き出していけるように努めた。寝たきりの利用者様には声掛けをこまめに行いながら発語を引き出していけるように心掛けた。

他職種との連携を行い、利用者様のニーズに合わせたリハビリを行っていけるように努めた。

顧問医師、理学療法士の指導の下、利用者様の身体状況、日常生活におけるニーズなどを考慮し、個別的で実効性のある訓練計画の策定を目指した。

感染症の蔓延予防として利用者様が使用される物品の消毒、リハビリ介入時の感染対策を考慮しながら機能訓練に努めた。

(2) 実施事項

- ①機能訓練計画書の作成・生活リハビリの作成
- ②関節可動域訓練
- ③筋力訓練・歩行訓練
- ④体位交換や除圧方法の検討
- ⑤利用者様とのコミュニケーション
- ⑥靴の選定
- ⑦センサー・エアーマットの管理
- ⑧LIFE 情報管理

(3) 結果

細目に声掛けを行いながらリハビリを行うことで、発語や笑顔を引き出すことができた。

コミュニケーションを取りながら行うことで利用者様との良好な関係性を築き、リハビリの意欲が向上された利用者様も見受けられた。また、その日の状況に合わせてリハビリ内容を調整し、利用者様の負担にならないように考慮して行うことができた。

日常生活をリハビリの場とし、利用者様ごとの生活リハビリを設定し介護職員と連携しながら実施に努めることができた。ADL の大幅な低下なく機能を維持出来ている為、今後も継続して行っていく。

褥瘡の早期改善に向け各部署連携することができた。

(4) 課題

褥瘡の発生後、各部署連携し早期改善に努めることが出来たが、褥瘡が発生しないように対応を検討していく必要があった。新型コロナウイルスでの感染対応後、利用者様の活動性が低下されている方が目立った。感染対策を行いながらリハビリ介入し、感染対応時の廃用症候群の予防に努める。今後は外部への研修を受講しながら、さらにリハビリ知識を身につけ、他部署への情報共有を行っていく。

8. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

・生活相談員報告

1、利用者様支援、多職種連携の調整役

福陽会の基本理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を常に考えながら、各階に相談員を配置している。日頃から利用者様の状態などを把握するために、介護現場職員をはじめ、医務・リハビリ・栄養等各部署と細目に情報共有をしている。またご家族からも利用者様の情報を集めて、各部署へ発信し、お一人おひとり利用者様の環境を整えていくよう努めた。生活相談員がユニット内を回り、利用者様への声掛けや職員から情報をもらい利用者様のご様子を確認して、ご本人のニーズを把握する。その情報を多職種でアプローチできるように調整を行い、解決できるよう支援を行った。また、利用者懇談会を適宜実施して、利用者様の生活への良い点や悩みや要望等の意見を聞く機会を設けていたが、コロナ禍の感染対応が多く、中々開催に至らなかった。今後は対応に追われずに、きちんと聞き取りを行っていききたい。引き続きターミナルケアにより細かく、多職種で話し合いをしてケアに当たっていくように努めた。利用者様はもちろんのこと、ご家族様のケアにも重点を置いて取り組んでいった。コーヒーが大好きだった利用者様のターミナルケアでは、居室でドリップコーヒーを淹れて香りだけでも楽しむことが出来るように、各部署が取り組み、面会時にご家族様にそのコーヒーを飲んでいただいたり、ご家族様も看取りに対する心の準備が出来たと思う。今年度も生活相談員が調整役となり、情報の伝達・共有をうまく行い、利用者様、そしてご家族様へのチームケアができるように心がけていく。また、医療面でのご利用者様の状態に関するご家族様への連絡は看護職員と生活相談員で行っており、職種間でより多くの連携の必要性を感じた。今後も『報告・連絡・相談』を多職種間で徹底をして、より良い多職種連携のシステムを作っていきたい。

2、ご家族様、施設間調整

施設とご利用者様ご家族様との橋渡し役と考え動いてきた。ご利用者様のご様子を都度お伝えし、ご家族様との関係調整役として動いたことで、それぞれのご家族様より安心してご利用者様を任せていただけた。コロナ禍ということもあり、面会に関して窓越し面会やリモート面会での対応となっている中でも、細目に連絡をするなどして情報共有することで、信頼関係を今まで以上に築くことが出来たのではないかと思います。今後もご家族様への連絡等をしっかり行い、安心していただけるよう努めていく。医療面でのご家族様への連絡は担当看護職員と生活相談員の二名で行う体制をとっているため、ご家族様も安心されている様子である。今後も細かく連携していきたい。

3、利用者様の入所前、入所時の支援について

入所を希望する方が相談にいらした時に、その方にとって当施設が提供するサービスを本当に必要としている方なのかどうか、まずその人のニーズは何かを見極めて情報提供を行った。また、利用者様入所時にはご本人、ご家族より聞き取りを行い、これまでの生活歴、趣味、嗜好等々ご本人の情報を収集して各部署へ共有してケアができるようにした。

ご利用者様が施設へ入所する前の事前面接を今後も可能な限り、相談員と多職種にて実施していき、入所前の情報共有を進めていく。

4、介護職員へのスーパーバイズについて

各ユニットリーダーの現場指導とは別に各フロアの相談員が職員のスーパーバイザーとなり、フロアをラウンドする際等に利用者様に対するケアや対人への対応等の確認を行い、指導、評価を行った。職員の職場環境の変化や日頃の様子等にも目を向けて、ストレスやメンタルの面での職員の相談役としても担えた。

5、営業について

コロナ禍で稼働が落ち込み、営業活動の重要性を改めて感じた。今まで電話での営業活動は行っていたが、少しずつ直接訪問する営業活動を再開した。あきる野市を始めとして、福生市、羽村市、昭島市、立川市など、近隣の事業所に伺っている。また世田谷区の病院や老健などからの問い合わせが増えたため、世田谷区にも営業活動を再開している。営業を行うことで『西多摩特養ガイド』

より、問い合わせや見学、申し込みも増えてきて、対応させていただいている。資料請求の方に対しては、分かりやすいように料金表に一言付け加え、施設見学などはリモート見学を随時承り、施設の温かさをアピールすることに努めた。その結果、「温かい言葉に嬉しくなりました」「他の施設ではここまでしてくれなかった」等の声をご家族様よりいただき、好評な様子だった。今後もひと手間を惜しまずに、ご家族様に寄り添った相談を行って、施設をアピールしていきたい。

*介護支援専門員報告

①入所前の情報収集について

入所前に、生活環境を聞き取り把握することで、リロケーションダメージを最小限に抑え、施設での生活に移行できるように、支援を続けた。24時間シート作成も継続して行い、注意点などを指摘し、他職種に発信して情報を共有出来るように努め、新規ご利用者様の支援をしていった。把握しきれない事もあるため、入所後も継続して情報収集を行い、その人にあった支援を出来るように努めた。

②ケアプラン作成について

聞き取りを行った情報を元に、施設サービス計画書を暫定に作成し、ご家族様・ご本人様に説明・同意をしていただいた。そして1か月後に初回カンファレンスを開催し、その人らしい生活が送ることが出来るよう、新規プランを作成した。またADLの変化が著明に表れた時には、緊急カンファレンスを開催し、状態に応じたプランを作成すると共に支援できるように努めた。また、目標に関してはより具体的な言葉で、その利用者様のことを考えながら作成するよう努めた。

新規プランに関しては、ADLに変化がなかった場合には3か月、更新に関しては6か月と設定。ADLに変化があった場合には期間は3か月とするも、その都度様子を観察し作成した。

ターミナルケアに入った方に関しては、状況把握に努め3か月に1度の見直しを行い、計画書を作成することになった。

③モニタリングについて

1か月ごとに支援経過としてモニタリングを行い、ご利用者様の状態を把握していた。介護職員は『ケアカルテ』の中にある支援経過に記入をしている。また介護支援専門員は『ケアカルテ』のモニタリング用紙に3か月後・6か月後の2回行い、項目に合わせて観察事項を記入して、継続するか変更するか資料とした。またターミナルケアの方については、3か月ごとのモニタリングを行い、より細かに観察を行っていった。

④ケース会議について

毎月第2火曜日・第3火曜日・第4火曜日の午後に開催予定とし、ケース会議を行った。職種間調整が難しい場合には、介護支援専門員による聞き取りを行ったが、基本的には調整をして、ケース会議を開催。職種間の情報共有にて、利用者様の状況を把握。プラン作成に繋げた。ご家族様のご意向は、各担当相談員が事前に聞き取りを行い、ケース会議で発信することで、ご家族も含めたケアプラン作りができた。またケース会議のコーディネート・進行して、各職種の専門性を尊重するようにまとめるよう努めた。今後も多職種で情報を共有して、ケアに繋げていきたい。

⑤介護職員へのスーパービジョンの展開

施設サービス計画書についての内部研修や、モニタリング時に介護職員に対し、施設サービス計画書の必要性についてスーパービジョンを展開した。記録の書き方や観察の注意点などを都度介護職員に伝え、利用者のニーズに沿えるように注意を払っていった。

今後も引き続きスーパービジョンの展開を図り、意識を向上していくよう努めて行きたい。

⑥アセスメントについて

居室担当制を強化している中で、アセスメントの向上も図れているように感じる。提出されたアセスメント表を、介護支援専門員が確認、添削をすることで、ご利用者様を見つめ直す機会が増えたように感じる。今後も確認、添削を行うことで、アセスメント力の向上を図り、より良くご利用者様を知るようにしていきたい。

9. クラブ活動実績報告

① クラブ活動について

新型コロナウイルス感染症の影響により華道クラブのみ、職員を中心にユニットごとに活動を行った。

② クラブ活動名と講師名

クラブ名	講師名
華道	根守 和子先生
茶道	大野先生・森田先生
書道	石井 亮子先生
音楽	澤田 康次先生

華道クラブ活動報告						
活動回数	2回	参加延人数	34名	平均参加人数	17名	担当：井上
【活動報告】 1. 施設職員が講師となり、活動を行った。 2. 四季折々の花を自由に生け、素晴らしい作品を作ることができた。 3. 久しぶりの活動で、利用者様に大変喜んでいただいた。						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4月	感染症対応のため、活動なし		10月	文化祭用の作品・フラワーアレンジメント		
5月	〃		11月	感染症対応の為、活動なし		
6月	〃		12月	お正月用の作品		
7月	〃		1月	感染症対応の為、活動なし		
8月	〃		2月	〃		
9月	〃		3月	〃		
職員担当フロア：各フロア職員						

茶道クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人数	0名	担当：柴田
【活動報告】 1. 感染症対応のため、活動はすべて中止となった						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4月	感染症対応の為、活動なし		10月	感染症対応の為、活動なし		
5月	〃		11月	〃		
6月	〃		12月	〃		
7月	〃		1月	〃		
8月	〃		2月	〃		
9月	〃		3月	〃		
職員担当フロア：3F東						

書道クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人数	0名	担当：清水
【活動報告】 1. 感染症対応の為、活動はすべて中止となった						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4月	感染症対応の為、活動なし		10月	感染症対応の為、活動なし		
5月	〃		11月	〃		
6月	〃		12月	〃		
7月	〃		1月	〃		
8月	〃		2月	〃		
9月	〃		3月	〃		
職員担当フロア：2F東						

音楽クラブ活動報告						
活動回数	0回	参加延人数	0名	平均参加人数	0名	担当：清水
【活動報告】 1. 感染症対応の為、活動はすべて中止となった。						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4月	感染症対応の為、活動なし		10月	感染症対応の為、活動なし		
5月	〃		11月	〃		
6月	〃		12月	〃		
7月	〃		1月	〃		
8月	〃		2月	〃		
9月	〃		3月	〃		
職員担当フロア：2F西						

フラサークル

- ・感染症対応の為、活動は中止となった。

10. 年間行事実施報告

第3サンシャインビル 2022年度「年間行事計画実施表」

日 時	曜 日	行 事 名	内 容
4月16日	土	観桜会	軽食の提供を行い、ユニット単位で催し物を実施。
5月		運動会	ユニット単位で運動会を企画・実施。
7月		納涼祭	ユニット単位で納涼祭を実施。すいか割りや盆踊りを行う。
8月27日		夕涼み会	おやつにアイスを提供。ユニット単位で催し物を企画・実施。
9月10日	土	敬老会	ユニット単位で敬老会を実施。各ユニットでお祝いを行う。
9月25日	日	八幡神社例大祭	新型コロナウイルス対策の為中止。
9月・10月中		ドライブレク	新型コロナウイルス対策の為中止。
10月中		日の出町敬老会	新型コロナウイルス対策の為中止。
10月29日	土	文化祭	地域交流室にご利用者様の作品を展示。おやつに軽食の提供を行う。ユニット単位で催し物を企画・実施。
11月中		日の出文化祭	新型コロナウイルス対策の為中止。
12月		クリスマス会	ユニット単位でクリスマス会を実施。職員が催し物を行う。
1月2日	月	元旦式典	ユニット単位で元旦式典を実施。各ユニットにて新年の挨拶を行う。
1月1・2・3日		初詣	新型コロナウイルス対策の為中止。
1月18日	水	餅つき	各ユニットにて餅つきを行う。
2月3日	金	節分	ユニット単位で節分を行う。職員が鬼に変装し、豆まきを行う。
3月		ひな祭り	ユニット単位でひな祭りを行う。各ユニットでひな人形等の装飾品を作って飾り、おやつ作りを行う。

11. 固定資産物品購入・入替報告

○簡易陰圧装置導入5式

○ノートPC増設1台

12. 事故報告・ヒヤリ・ハット報告

自治体への事故報告

	転倒	転落	その他	計
4月			1	1
5月				
6月				
7月	1		4	5
8月			4	4
9月				
10月			1	1
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				
合計	1	0	10	11

アクシデント報告

	転倒・転落	誤飲・誤食	誤薬・未薬	その他	計
4月	1	0	0	8	9
5月	1	2	0	12	15
6月	1	0	0	13	14
7月	2	0	0	1	3
8月	3	2	0	5	10
9月	3	0	0	4	7
10月	2	0	0	5	7
11月	4	0	0	3	7
12月	2	0	0	5	7
11月	0	0	0	3	3
2月	1	0	0	4	5
3月	0	0	0	7	7
合計	20	4	0	70	94

ヒヤリハット報告

4月	25
5月	20
6月	11
7月	21
8月	15
9月	10
10月	14
11月	24
12月	27
11月	23
2月	19
3月	19
合計	228

13. 職員研修報告

【外部研修】

研修日	研修内容
5月27日	令和4年度 第2回栄養管理講習会
6月3日	財務マネジメント初級研修
6月22日	はじめて社会福祉を学ぶ福祉職員のためのスタートアップ研修
7月1日	はじめて社会福祉を学ぶ福祉職員のためのスタートアップ研修
7月10日	みて、聴いて、触れて感じる認知症の人の「その人らしさ」
7月13日	第3回 業務に活かせる！排泄ケアの実践「現場で活かせる排泄知識～おしっこ編」
7月26日	第4回 業務に活かせる！排泄ケアの実践「現場で活かせる排泄知識～うんち編」
9月2日	慢性期医療機関における排泄ケアの問題とラクチュロースを活用してみる
9月15日	これで解決！嚥下障害と誤嚥性肺炎
11月1日	防火管理者講習
12月12日	ケアプラン作成とライフ加算マネジメント
12月13日	2022年度各種加算のとり方
12月28日	高齢者の嚥下課題と嚥下食
2月6日	第10回 JDA-DAT/TOKYO スタッフ育成&フォロー アップ研修会

【内部研修】

開催月	研修内容
随時	新人教育研修
随時	感染対応のシミュレーション
4月	褥瘡予防について
5月	身体拘束について
5月	食事について
6月	看取り介護について
6月	入浴について
7月	事故防止・緊急時の対応について
7月	感染症について
8月	ケアプランについて
9月	身体拘束・人権擁護について
10月	感染症について
11月	認知症について
11月	口腔ケアについて
12月	虐待について
1月	事故防止・身体拘束について
1月	排泄について
2月	プライバシーについて
2月	看取り介護について
3月	メンタルヘルスについて
3月	接遇マナーについて

※毎月 福陽会理念に対する研修を行う

14. ボランティア・慰問 受け入れ状況報告

2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、リモートを活用した傾聴ボランティアでの交流を図った。今後も利用者様に楽しんで頂けるよう、出来ることから準備をしていきたい。

- ・2021年度新規ボランティア活動登録者
なし

15. 消防訓練実施結果

2022年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、職員が集まって行う訓練を極力控えた。その中でも、職員の接触のない訓練を実施し、防災意識の向上に努めた。

【2022年度訓練内容】

実施日	訓練種別	内容
4月～ 2月		新型コロナウイルス感染防止のため中止。
3月	その他訓練	日勤帯に震度5強の地震が発生し、ガス・電気設備が使用できないことを想定し、非常食の調理を実施し、利用者および職員に提供した。
3月	その他訓練	夜間帯に地震による火災が発生したことを想定し、緊急連絡網による連絡訓練を行い、全員に連絡が行き届くまでの所要時間を計測した。

16. ショートステイ事業報告

★短期入所生活介護・短期入所介護予防生活介護

コロナ禍でショートステイの稼働率が全く伸びなかった。受け入れに関しては今までと同様、土日・祝日問わずに受け入れ態勢を整え、夕食後の送迎、事前にご自宅へ訪問して面接・契約などを行い、ご家族様の負担軽減を図るように努めた。ご家族様やケアマネからは、使い勝手が良いと好評だったが、稼働率に反映しなかった。繰り返し利用して下さる利用者様の獲得は出来ているが、3日間の居室隔離対応などと感染予防対策を実施しているため、中々利用するまでに至らないケースが多かった。特養の利用者様の入院やご逝去なども多く、特養入所を見据えた利用者様が特養に移行してしまったケースが多く見られていた。特養入所を見据えた利用者様確保をして、稼働を大幅に戻していきたい。今後も施設の『使いやすさ＝売り』をアピールできるよう居宅介護支援事業所等への営業活動を増やし、ケアマネジャーとのつながり・連携を強めていきたい。

令和3年度稼働率

4月	5月	6月	7月	8月	9月
19%	25%	53%	60%	73%	58%
10月	11月	12月	1月	2月	3月
55%	18%	11%	18%	18%	18%

2022年度

指定訪問介護事業
指定介護予防訪問介護事業
指定居宅介護(障害者自立支援法)
指定重度訪問介護(障害者自立支援法)
事業報告書

社会福祉法人福陽会
ヘルパーステーション サンシャインビラ

ヘルパーステーションサンシャインビラでは「人がその人らしく生活できる環境づくり」をモットーに利用者が健康で生活感あふれる日常を過ごせるよう援助することを基本目標とし、事業活動を行ないました。

サービス提供時間数は本年度延べ 21,066 時間（前年度 23013.3 時間）、派遣回数延べ 27,483 回（前年度 29960 回）、月平均にすると 1755.5 時間（前年度 1917.7 時間）、2290.2 回（前年度 2496 回）の訪問介護サービスを提供しました。利用者数は延べ 1131 人（サービス終了分を含む。3 月 31 日現在実利用者数 95 名）となっています。

障害者自立支援法に基づく指定居宅介護は延べ 355 時間、派遣回数延べ 641 回、月平均にすると 29.6 時間、54 回のサービス提供でありました。重度訪問介護のサービス提供は本年度はありませんでした。

なお、市区町村の支援事業として実施している移動支援事業のサービス提供時間数は本年度延べ 102 時間、派遣回数は延べ 148 回、月平均では 8.5 時間、訪問回数は 12.4 回、利用者数は現在 1 名です。

重点を置いた活動内容として、利用者や家族に対するコミュニケーションの重要性とサービスに対する満足度の調査、ヘルパーの援助方法の向上を目的とし、利用者宅への頻繁な訪問を心掛けました。

利用者の「自立支援」をいかに提供し、また、利用者に満足していただけるサービスをいかに提供するかを、ヘルパー個人への指導、教育、そして基本理念の十分な理解と心のこもった暖かい対応を通してすすめていきました。

同時に経験の少ないヘルパーや、資格を得て間もないヘルパーに対し、技術面での具体的な研修や、精神的な援助の方法、コミュニケーションの回り方の相談を行うことで、フォローやバックアップの体制を築いていき、利用者への満足度の増加と危険性の減少、そしてヘルパーの不安解消、実力向上に努めました。

新型コロナウイルス感染防止のため、全体ミーティングは最小限とし、随時個別指導を行ないました。

来年度以降も新規利用者の獲得とサービス提供時間数を増やすことを目標とし、また登録ヘルパー全体での研修やチームミーティング等も積極的に取り入れ、ヘルパー個人の対応能力を幅広く持てるようにし、より良いサービスの提供に尽力していきます。

(1) 中期経営計画(2018 年度～2022 年度)の達成について

- I 利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活←“ヘルパーの利用”に変更に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかってきた。
- II 中期基本方針に基づき、利用者に満足してもらえる質の高いサービスが提供できた。
またサービス向上への取り組み、職員教育にも力を注いだ。正職員の採用を増やすことにより、安定したサービス量の提供を目指した。←追記
- III 安定した介護報酬収入を目指し、新規利用者獲得へ向け努力した。

研修実施報告書

今年度実施した研修について以下のとおり報告する。

開催日	研修内容	参加者 (人数)
4月26-29日	新人職員研修(随時) 新型コロナウイルス感染症と食中毒について 訪問先への責任者同行実施研	47
5月24-27日	新人職員研修(随時) 薬について	48
6月27-29日	熱中症対策について	48
7月26-29日	高齢者虐待について	49
8月23-26日	認知症について 事例検討	49
9月27-29日	医療との連携について 介護の専門用語 事例検討	50
10月26-28日	事故発生・再発防止に関する研修 ヒヤリハット事例検討	46
11月28-30日	プライバシー保護の取り組み 高齢者虐待について	45
12月22-24日	災害時・緊急時の対応 ヒヤリハット事例検討	44
1月18-20日	介護職員のコミュニケーションスキル枠 接遇マナーについて 事例検討	44
2月24-26日	認知症について 口腔ケア・排泄介助について ハラスメント研修 事例検討	44
3月23-25日	職員倫理 法令遵守 令和4年度を振り返り 自己反省・自己評価	44

職員配置

(2023年3月31日現在)

職種	人数	常勤 非常勤	専任・兼務状況
管理者	1	常勤	サービス提供責任者・訪問介護員を兼務
サービス提供責任者	5	常勤	管理者・訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
訪問介護員	39	(常勤兼務5名) 常勤10名 非常勤29名	

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

サンシャインビラ介護学院
〈介護職員初任者研修事業〉

事業報告書 目次

事業報告(総括)	1
地域別受講人数一覧表	2
教育課程の実施報告	3～4

事業報告

令和 4 年度の「介護職員初任者研修講座」は、コロナウイルス感染症の動向を確認しながら、2 回の実施となった。

受講理由は家族の介護に役立てるため、今後の高齢化社会に貢献するため等様々であったが、研修の終盤には資格取得後すぐに介護の現場で仕事をしてみたい、と希望する受講生がみられた。

また、高齢者の事故や介護に関する報道を見聞きして、超高齢化社会における様々な問題に深い関心を持つ受講生が多かった。

修了評価試験の導入により座学の講義中も緊張感が漂い、各自が工夫してメモやノートを作成するなど、グループワークの際も積極的に発言する様子が見え、活気に満ちた研修内容であった。

講師を務めた当法人の職員は、研修カリキュラムを基に如何にして受講生に解り易い講義・演習を実施できるかを課題とし、各自の創意工夫により受講生からの評価も高く充実した研修であった。

令和 4 年度の研修において、高齢者福祉の人材育成という地域社会のニーズに貢献するとともに、法人職員は講師を担当することを通じて、福祉介護に対する更なる知識と技術の向上とモチベーションを高めることにもつながった。

令和4年度 地域・年齢別受講人数一覧表

\	第2回 4/23～9/24	第3回 10/8～12/20	合計
福生市	2	3	5
羽村市	0	0	0
国立市	0	1	1
あきる野市	3	0	3
昭島市	2	1	3
瑞穂町	0	1	1
武蔵村山市	0	3	3
奥多摩町	1	0	1
日の出町	1	0	1
他県	1	0	1
合 計	10(2)	9(0)	19(2)

※()内は男性

教育課程の実施報告

(募集手続き)

募集手続きは次の通りとした。

- (1) 当法人指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。
ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
- (2) 当法人は書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 当法人は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 当法人は、受講申し込み時または受講日初日、公的証明書にて本人確認を実施する。

(科目の免除)

科目の免除についてはこれを認めない。

(修了の認定)

修了の認定は、すべてのカリキュラムを履修し、次の修了評価を行った上、修了認定会議において基準に達したと認められた者に対して行う。

- (1) 修了評価は、担当講師が科目ごとに行い、その評価をまとめて項目全体の評価を行う。
- (2) 修了評価は、筆記試験により行う。ただし、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価については、併せて実技試験も行う。
- (3) 認定基準は、次の通り、理解度の高い順に A、B、C、D の 4 区分で評価した上で、C 以上の評価の受講者を、評価基準を満たしたものとして認定する。

評価基準に達しない場合には、必要に応じて補講等を行い、基準に達するまで再評価を行う。

認定基準（100点を満点とする）

A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、

D=70点未満

（公表する情報の項目）

東京都介護職員初任者研修事業実施要綱8に規定する情報の公表に基づき、当法人ホームページ（URL：<https://fukuyokai.or.jp/>）において開示する内容は、以下の通りとする。

（1）研修機関情報

法人情報（法人格、法人名称、住所、電話番号、代表者名）

研修機関情報（事業所名称・住所、理念、学則、研修施設、設備、在籍講師数（専任・兼任別））

（2）研修事業情報

研修の概要（対象、研修スケジュール（期間、日程、時間数）、定員、実習の有無、研修受講までの流れ（募集方法、申込方法等）、費用（受講料、テキスト代）、留意事項、研修担当責任者、研修の特色）研修カリキュラム（科目別シラバス（科目別学習計画）、担当講師一覧）

実習（協力実習機関の名称・住所等、実習プログラム内容、プログラムの特色、協力実習機関における延べ実習人数）

修了評価（修了評価の方法、評価者、再履修等の基準）

実績情報（過去の研修実施回数（年度ごと）、研修修了者数（年度ごと）、

過去の研修延べ参加人数、卒業後の相談・支援）

連絡先等（申し込み・資料請求先、法人の苦情対応者名・役職・連絡先、事業所の苦情対応者名・役職・連絡先）

質を向上させるための取り組み（実習の質の向上のための取り組み、研修機関と実習機関との連携）

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

サンシャインビラ介護学院
〈介護福祉士実務者研修事業〉

事業報告書 目次

事業報告(総括)	1
地域受講人数一覧表	2
教育課程の実施報告	3～6

事業報告

令和4年度の「介護福祉士実務者研修講座」は、コロナウイルス感染症の動向を確認しながら計画通りに4回実施した。

介護福祉士国家試験は、実務経験3年以上であることに加え、実務者研修の修了という受験要件であるため、限られた期間で受講を完了させようという受講生の強い意気込みを感じた。

各科目の講師は、一定時間の教員講習会を修了した介護福祉士、並びに医療的ケア講習会を修了した正看護師が担当し、念入りな授業案の作成、最新介護技術の導入、評価の方法を研究する等工夫を凝らした結果、充実した研修内容となった。

そして、今回4回目となった受験対策直前講座は、内容の多くが試験活用でき、担当いただいた外部講師の評判もよく、参加して良かったと大変好評だった。特に職員は無料とした事で、多数の合格者輩出や職場のスキルアップに大きく貢献することができた。

また、昨年度は新たな試みとして受講生対象に福陽会の会社説明会を開催した。3名という小人数ではあったが、うち1名当法人の就職につながった。今年度も実施を予定する。

サンシャインビラ介護学院における実務者研修は、今後ますます高まる高齢者福祉の人材育成という大きな地域社会ニーズに貢献するとともに、講師を担当する法人職員の情報交換・研修の活性化により、高齢者介護に対する知識・技術の向上に寄与することができた。

令和4年度 地域・男女別受講人数一覧表

\	第1回 4/4-9/5	第2回 4/28-10/13	第3回 8/29-12/12	第4回 5/1/19-6/22	合計
福生市	1	3	1	1	6
羽村市	1	0	1	0	2
青梅市	3	1	1	3	8
あきる野市	3	3	5	0	11
昭島市	0	2	1	3	6
立川市	1	0	1	2	4
瑞穂町	0	0	1	0	1
武蔵村山市	0	1	1	1	3
東大和市	0	0	0	0	0
東村山市	0	0	0	0	0
八王子市	0	0	0	0	0
日の出町	0	0	0	0	0
府中市	0	0	0	0	0
奥多摩町	0	0	0	0	0
その他	0	2	0	0	2
合 計	9(0)	12(2)	12(0)	10(2)	43(4)

※()は男性

教育課程の実施報告

○実務者研修に係る授業時数及び履修認定については以下の通り実施した。

研修科目	時間数	無資格	訪問介護員研修			介護職員 初任者研修	介護職員 基礎研修	認知症 実践者研修	喀痰吸引 等研修
			1級	2級	3級				
人間の尊厳と自立	5	○						○	○
社会の理解Ⅰ	5	○						○	○
社会の理解Ⅱ	30	○		○	○	○		○	○
介護の基本Ⅰ	10	○			○			○	○
介護の基本Ⅱ	20	○			○	○		○	○
コミュニケーション技術	20	○		○	○	○		○	○
生活支援技術Ⅰ	20	○						○	○
生活支援技術Ⅱ	30	○			○			○	○
介護過程Ⅰ	20	○			○			○	○
介護過程Ⅱ	25	○		○	○	○		○	○
介護過程Ⅲ（スクーリング）	45 8日間	○	○	○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅰ	10	○		○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
認知症の理解Ⅰ	10	○		○	○				○
認知症の理解Ⅱ	20	○		○	○	○			○
障害の理解Ⅰ	10	○		○	○			○	○
障害の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
こころとからだの しくみⅠ	20	○			○			○	○
こころとからだの しくみⅡ	60	○		○	○	○		○	○
医療的ケア	50	○	○	○	○	○	○	○	
医療的ケア（スクーリング）	12 2日間	○	○	○	○	○	○	○	○
合計受講時間数	462	462	107	332	432	332	62	432	412

※○印は受講必須科目

○教職員組織

本学院の教職員組織は、以下の通りで実施した。

- (1) 教 員 24名
- (2) 事務員 1名

○入所資格、入所選考、入所手続、休学、受講の取り消し、補講、修了認定は、以下の通りで実施した。

(入所資格)

多様化する高齢者等のニーズに対応した専門的な知識、技術を有する介護福祉士の資格取得を目指す、東京都内及び東京都近郊在住・在勤で通学可能な者。

(入所選考、入所手続)

- (1) 本学院の入所選考については、書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (2) 本学院の入所手続は、指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 本学院は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 本学院は、受講申し込み時または開講日初日、以下の公的証明書の提示または提出により、本人確認を実施する。なお、本人確認ができない場合は、入所を拒否できることとする。
 - ・運転免許証の提示 ・健康保険証の提示 ・パスポートの提示
 - ・年金手帳の提示 ・住民基本台帳カードの提示 ・在留カード等の提示
 - ・戸籍謄本、戸籍抄本または住民票の提出 等

(研修欠席者の扱い)

理由の如何にかかわらず、研修開始から5分以上遅刻した場合は欠席とする。

また、やむを得ず欠席する場合には必ず「欠席届」を提出する。

(休学について)

やむを得ない事情があり休学する場合の期間は、最長で6ヶ月とする。

(受講の取り消し)

次に該当する者は、受講を取り消すことができる。

- (1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者
- (2) 研修の秩序を乱し、受講者としての本分に反した者
- (3) 法令違反等、社会通念上、受講者として相応しくない者

(補講の取扱い)

研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、当該課程教科時間数の概ね1割を上限とし、本学院主催の他のクラスにて同科目の振替受講をすることにより、科目の履行を完了とする。

なお、振替受講は事前の申し出を原則とする。その際の受講料は無料とする。

(修了の認定)

修了の認定は、第9条の教育課程の定めるところにより、科目ごとに修了認定を行う。ただし、各科目の出席時間数が本学院の規定に定める時間数の3分の2に満たない者については、修了の認定をしない事とする。

認定方法については、以下の通りである。

- (1) 添削科目については、科目ごとにレポート(課題)を提出し、課題の理解度及び記述の的確性・論理性に応じて、担当講師が添削指導、評価を行う。

修了認定基準は、理解度の高い順にA、B、C、Dの4区分で評価した上で、C以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は、必要に応じて添削指導、評価を再度行う。

認定基準（100点を満点とする）

A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、

D=70点未満

- (2) 介護過程Ⅲについては、講義・演習で小テストやチェックシート等を用いて、総合的評価を行う。
- (3) 医療的ケアについては、下記の通りとする。
- ・基本研修（講義）：講義終了後、筆記試験を実施する。認定基準Aを合格として、認定基準に満たない者については追試を行う。
 - ・基本研修（演習）：省令で定める実施回数以上の演習を実施後、技能習得判定を行う。演習評価基準で示す手順通りに実施できれば修了を認めることとする。なお、演習の修了が認められない者については、演習評価基準に達するまで演習を継続し、再度技能習得判定を行う。

（使用教材）

研修に使用する教材は、以下の通りである。

『実務者研修テキスト』 中央法規出版株式会社 全8巻セット

（修了者管理の方法）

修了者管理については、次により行う。

- (1) 修了者を修了者台帳に記載し永久保存する。
- (2) 修了証明書の紛失等があった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。

（その他事項）

研修事業の実施に当たり、次の通り必要な措置を講じることとする。

- (1) 研修に関して下記の苦情等の窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情及び事故が生じた場合には迅速に対応する。
- (2) 事業実施により知り得た受講者等の個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しない。
- (3) 受講者等が実習等で知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用することのないよう受講者の指導を行う。

2022年度

サービス付き高齢者向け住宅
高齢者マンションサンシャインビラ
事業報告書

社会福祉法人福陽会

地域の高齢者に良好な居住環境を備えた高齢者向けの賃貸住宅の供給を提供し、併せて高齢者に適した良好な居住環境が確保され高齢者が安定的に居住することができる賃貸住宅について提供することで、福祉の増進に寄与することを目指し、事業展開を行った。

職員配置（3月31日現在）

職名	職員配置	
管 理 者	1	常勤
事 務 員	1	常勤
調 理 員	9	非常勤
夜間待機職員	8	非常勤
介護スタッフ	8	非常勤若干名

【入居者入退去状況一覧】

(人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規入居者		3		1	1				2	3	1	1	12
退去者		3			1	2		1	2		1		10

【入居年数分布】

(人数)

1年未満	1年～2年	2年～5年	5年～7年	7年以上
11	6	8	4	8

【退去先】

(人数)

サンシャインビラ入所	
第2サンシャインビラ入所	2
第3サンシャインビラ入所	
転居・入院	5
死亡	4

【入居者の状況】 (3.31現在)

介護度

(人数)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
		2	9	11	6	6	3	37

男・女 年齢分布

(人数)

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上
男		2	1	6	1
女				13	14
合計		2	1	19	15

【年間行事実績】

催し	日程
マンションエントランス前で すいか割り	8/2
ソフトクリームの日 (居室へお届け)	8/15
講師を招いてのレクとお茶会	11/1
福生第2小学校2年生の町探検でマンションに来られる	11/18
短時間レク ホール蹴りと体操 (B1食堂にて)	4/1, 8, 15, 22, 29 5/6, 20, 27 6/3, 7, 14, 17, 21, 24 7/1, 5, 19 8/2, 16, 20 9/16, 20, 23, 27 10/3, 7, 11, 18, 21, 25, 28 11/1, 4, 15, 22, 25 12/23 1/3, 6, 10, 13, 17, 20, 24, 27, 31 2/3, 7, 10, 14, 17, 21, 24, 28 3/3, 7, 10, 14, 21, 31
お花見会 (マンションエントランス前にて)	3/28
消防訓練及び火災通報装置の説明他	4/11 10/5

【クラブ活動】新型コロナウイルス感染症の予防のため中止

毎週木曜日	体操
第2、第4火曜日	書道
第1、第3金曜日	手芸
第1、第3火曜日	折紙